

「市民による市政評価」

(平成19年度施策・事業に対する第一次評価)

結果報告書

平成19年 9 月

企画部総合政策課

目 次

I	調査の概要	-----	1
	1. 調査の目的	-----	1
	2. 調査の方法	-----	1
	3. 回収の状況	-----	1
II	結果の分析方法	-----	2
	1. 集計方法	-----	2
	2. 満足度、有効性の判定	-----	2
III	評価の結果	-----	4
	1. 「市民による市政評価」の結果	-----	4
	2. 年齢別、地区別の状況及び記述意見	-----	2 2
	【1】現状の満足度について	-----	2 2
	【2】事業別の有効性について	-----	4 4
IV	まとめ	-----	7 1
	1. 現状の満足度について	-----	7 1
	2. 事業別の有効性について	-----	7 8
	3. 今後の課題と活用について	-----	7 9

I. 調査の概要

1. 調査の目的

施策が市民の日常的な問題意識に合致しているかを検証し、またその結果を今後の事業遂行に反映させることを目的とし、各分野の22施策における「市民の現状に対する満足度」と本年度の主要事業のうちから新規、拡充を含む27事業について、「事業の有効性（期待度）」に対する市民評価を行いました。

2. 調査の方法

- (1) 調査の対象 20歳から74歳までの市民1,000人及び希望者6人
- (2) 抽出方法 無作為抽出
- (3) 調査方法 郵送アンケート（原則、記名回答）
- (4) 調査時期 平成19年5月21日（発送）～6月8日（回収期限）
- (5) 二次調査 記名回答者（249人）に対し、翌年度に二次評価を実施

3. 回収の状況

1,006人への発送に対し回収数は369人であり、回収率は36.7%でありました。なお、地域別、年代別の状況は次の表のとおりです。

(表1)地域別の回収状況

	発送数 (人)	回収数 (人)	回収率 (%)	
全 体	1,006	369	36.7	
内 訳	1. 大曲	150	36.4	
	2. 神岡	24	37.5	
	3. 西仙北	38	34.5	
	4. 中仙	43	36.4	
	5. 協和	34	39.1	
	6. 南外	14	29.8	
	7. 仙北	28	31.8	
	8. 太田	36	45.0	
	0. 無記入		2	

(表2)年代別の回収状況

	発送数 (人)	回収数 (人)	回収率 (%)	
全 体	1,006	369	36.7	
内 訳	1. 20代	33	22.9	
	2. 30代	52	34.4	
	3. 40代	51	29.0	
	4. 50代	88	37.6	
	5. 60代	86	45.7	
	6. 70代	53	46.9	
	0. 無記入		6	

Ⅱ. 結果の分析方法

1. 集計方法

本調査の目的は、

- (1) 各分野に対する市民の満足度、各事業に対する市民から見た有効性を判定すること
- (2) その判定をもとに改善を図ること

であります。

回収した調査票は、「満足」「やや満足」等のそれぞれの選択肢を選択した人数について、回答者全体、年代別、地域別の3通りの方法で集計しました。

上記(1)のためには、より分かりやすい満足度(期待度)の表示が必要であり、そのため、回答者全体の集計による加重平均を利用しました。

また(2)のためには、それぞれの事業について、

- ①年代別の肯定的評価、否定的評価の割合
- ②地区別の肯定的評価、否定的評価の割合
- ③自由記載欄に記述された内容

をもとに、評価の傾向を調査することとしました。なお、肯定的評価とは、「満足(有効)」「やや満足(やや有効)」を選択した場合、否定的評価とは、「やや不満(あまり有効でない)」「不満(有効でない)」を選択した場合を示します。

2. 満足度、有効性の判定

「市民による市政評価」のそれぞれの選択肢に重みを付け、その選択肢の回答者人数により加重平均を行い、満足度、有効性を3区分に分けたアルファベットで表記します。

(1) 選択肢の重み

有効(満足)	5点
やや有効(やや満足)	4点
どちらでもない	3点
あまり有効でない(やや不満)	2点
有効でない(不満)	1点

(2) 算式

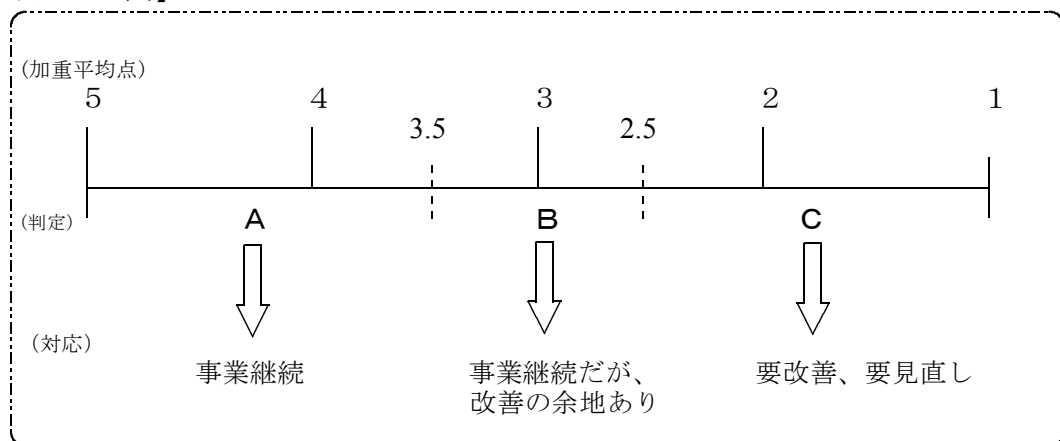
$$\text{加重平均点} = \left[\frac{\text{「有効」を選択した人数} \times 5 + \text{「やや有効」を選択した人数} \times 4 + \text{「どちらでもない」を選択した人数} \times 3 + \text{「あまり有効でない」を選択した人数} \times 2 + \text{「有効でない」を選択した人数} \times 1}{\text{総回答者数} - \text{未記入者数}} \right]$$

(小数点以下3位まで)

(3) 満足度、期待度の判定とそれに対する対応

加重平均点の範囲	判定	判定に対する対応
$5.000 \geq \text{加重平均点} > 3.500$	A	事業を継続します
$3.500 \geq \text{加重平均点} > 2.500$	B	基本的に継続だが、改善の余地があります
$2.500 \geq \text{加重平均点} \geq 1.000$	C	改善が必要、又は事業の再構築を含め見直しが必要です

【イメージ図】



Ⅲ. 評価の結果

1. 「市民による市政評価」の結果

その1. 安心して健やかに暮らせるまちづくりを進める(健康福祉分野)

1-1. 保健・医療の充実

■市の取り組み状況について

市民の健康増進、健康維持のため「健康大仙21計画」を推進し、健康教育や生活習慣の改善を支援しています。

また、病気の予防・早期発見・早期治療のため基本健診や各種がん検診、肝炎ウィルス検診、骨粗鬆症検診、歯周疾患検診のほか、39歳以下の血液検査を実施し、早期から生活習慣病の予防を支援しています。

○この分野について、どうお考えでしょうか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	未記入	計
実数	131	145	58	21	10	4	369
構成比	35.5	39.3	15.7	5.7	2.7	1.1	100

加重平均点
4.003

判定
A

■このうち健康づくり推進事業では、本年度は次のような取り組みを行います。

これまでの取り組みである食による健康づくり（栄養改善・講習の開催、食生活改善事業）や運動による健康づくり、生活習慣の改善による健康づくりなどに加え、新たに心の健康づくり（人材の有効活用による声かけや情報収集、広報を活用した情報提供）とフッ素洗口事業（むし歯予防のため、幼稚園と保育園の5歳児・小学校児童を対象とする事業）を実施します。

事業費と財源内訳 (単位:千円)	予算額	国や県のお金	市の借金	その他	市のお金
	11,864			4,512	7,352

○本年度の取り組みは、目的に対して有効だと考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	未記入	計
実数	117	134	68	30	10	10	369
構成比	31.7	36.3	18.4	8.1	2.7	2.7	100

加重平均点
3.886

判定
A

1-2. 子育て支援の充実

■市の取り組み状況について

県の福祉医療制度を拡大し、0歳から小学生までと難病者を対象に医療費の自己負担を全額助成する医療給付扶助事業や、満2歳未満の子どもを養育する保護者に対し月額1万円を支給するすこやか子育て手当支給事業（所得制限有り）を実施し、子育ての経済負担の軽減に努めています。

また、就労等により両親が日中家庭にいない児童を対象とした放課後児童クラブの実施（19年度は全地域16か所で実施）、さらに、妊婦健診や乳幼児健診を行い、安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくりに努めています。

○この分野について、どうお考えでしょうか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	未記入	計
実数	121	145	47	30	19	7	369
構成比	32.8	39.3	12.7	8.1	5.1	1.9	100

加重平均点
3.881

判定
A

■このうち母子保健事業では、本年度は次のような取り組みを行います。

妊婦健診は無料化を継続し、妊婦の保健管理と経済的負担軽減を図ります。(県補助の4回の健診を含め13回の健診を実施し、全てを無料とします。秋田県の取り組みは全国でも高いレベルですが、中でも大仙市は最も充実した内容となっています。)

このほか、妊婦歯科健診や母子手帳の交付(平成16年度は601人、平成17年度は614人が出生)、出産前後小児保健指導(産婦人科医と小児科医の連携による育児指導や育児相談。県内では大仙市のみ)などを実施します。

事業費と財源内訳 (単位:千円)	予算額	国や県のお金	市の借金	その他	市のお金
	41,425	5,760			35,665

○本年度の取り組みは、目的に対して有効だと考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	未記入	計
実数	170	126	45	15	8	5	369
構成比	46.1	34.1	12.2	4.1	2.2	1.4	100

加重平均点
4.195

判定
A

1-3. 社会福祉の充実

■市の取り組み状況について

地域福祉活動の充実(民生児童委員や社会福祉協議会補助、ボランティア活動支援など)、母子・父子福祉の充実(母子自立支援員や家庭児童相談員の設置、ひとり親家庭の生活安定支援など)、障害(身体・知的・精神)児・者福祉の充実(相談・情報提供事業、各種福祉サービス、雇用・就労の促進、経済負担の軽減、社会参加促進事業など)を図り、福祉の充実したまちづくりを進めています。

○この分野について、どうお考えでしょうか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	未記入	計
実数	83	142	86	39	15	4	369
構成比	22.5	38.5	23.3	10.6	4.1	1.1	100

加重平均点
3.655

判定
A

■このうち父子手当支給事業では、本年度は次のような取り組みを行います。

父子家庭に対する国等の支援がないため、市の単独事業として義務教育終了前(0歳~15歳)までの児童を養育している父に年額1万円の父子手当を支給してきましたが、19年度からは月額5千円(年額6万円。ただし所得制限有り)に拡大します。

事業費と財源内訳 (単位:千円)	予算額	国や県のお金	市の借金	その他	市のお金
	7,200				7,200

○本年度の取り組みは、目的に対して有効だと考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	未記入	計
実数	100	117	79	42	22	9	369
構成比	27.1	31.7	21.4	11.4	6.0	2.4	100

加重平均点
3.642

判定
A

1-4. 高齢者福祉の充実

■市の取り組み状況について

長寿を喜び、健康で生きがいを持って幸せに暮らせるよう、生きがい対策の充実（敬老の日事業、老人クラブ補助など）、経済負担の軽減（温泉ふれあい入浴サービス事業、はり・灸・マッサージ施術費助成事業など）、各種介護サービス事業や介護予防事業など総合的に高齢者福祉の充実に努めています。

○この分野について、どうお考えでしょうか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	未記入	計
実数	89	141	80	38	17	4	369
構成比	24.1	38.2	21.7	10.3	4.6	1.1	100

加重平均点
3.677

判定
A

■このうち市単独介護サービス事業では、本年度は次のような取り組みを行います。

要介護状態にならないための介護予防サービス、生活支援サービス又は家族介護支援サービスとして、12のサービス事業を実施します。

①寝具類乾燥消毒サービス事業、②軽度生活援助事業、③緊急通報体制等整備事業、④家族介護者ヘルパー受講支援事業、⑤配食サービス事業、⑥外出支援サービス事業、⑦介護予防デイサービス事業、⑧高齢者等相談支援事業、⑨生きがい活動支援通所事業、⑩家族介護用品支給事業、⑪家族介護慰労金支給事業、⑫福祉用具利用継続支援事業（新規）

事業費と財源内訳 (単位:千円)	予算額	国や県のお金	市の借金	その他	市のお金
	80,598			9,877	70,721

○本年度の取り組みは、目的に対して有効だと考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	未記入	計
実数	117	151	68	16	7	10	369
構成比	31.7	40.9	18.4	4.3	1.9	2.7	100

加重平均点
3.989

判定
A

■このうち敬老の日事業では、本年度は次のような取り組みを行います。

敬老の日事業では、敬老会の開催と長寿祝金の給付を行います。このうち、敬老会は対象年齢を75歳から76歳に1歳引き上げて実施します。また、長寿祝金は年度内88歳（敬老会時に2万円）と100歳（誕生日に50万円）の高齢者に支給します。なお、これまでの77歳、80歳、99歳、101歳以上の祝金は廃止します。

事業費と財源内訳 (単位:千円)	予算額	国や県のお金	市の借金	その他	市のお金
	47,504				47,504

○本年度の取り組みは、目的に対して有効だと考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	未記入	計
実数	74	107	116	35	30	7	369
構成比	20.1	29.0	31.4	9.5	8.1	1.9	100

加重平均点
3.442

判定
B

その2. 未来(あす)を創り心豊かな人を育むまちづくりを進める(教育分野)

2-1. 学校教育の充実

■市の取り組み状況について

児童生徒が自ら学び考える学習指導を推進するとともに教育環境の整備に努めています。また、通常学級に在籍する障害のある児童生徒の支援や情報学習支援、複式学級支援、日本語指導支援、外国語指導助手招致事業や体験的学習時間支援事業、小中学校芸術鑑賞事業など児童生徒の育成を図るとともに時代に対応した教育の充実に努めています。

○この分野について、どうお考えでしょうか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	未記入	計
実数	91	157	75	22	14	10	369
構成比	24.7	42.5	20.3	6.0	3.8	2.7	100

加重平均点
3.805

判定
A

■このうち学習定着度調査事業では、本年度は次のような取り組みを行います。

この事業は新規事業として、小学校4年生から中学校2年生までを対象に学習定着状況調査を実施し、児童・生徒の学力を把握し、今後の指導に生かすことにより学力の定着・向上をめざすものです。小学校4年生は3教科、5・6年生は4教科、中学生は5教科について、基礎・基本の定着状況を調査します。

事業費と財源内訳 (単位:千円)	予算額	国や県のお金	市の借金	その他	市のお金
	1,894				1,894

○本年度の取り組みは、目的に対して有効だと考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	未記入	計
実数	104	130	89	25	11	10	369
構成比	28.2	35.2	24.1	6.8	3.0	2.7	100

加重平均点
3.811

判定
A

■このうち普通建設事業では、本年度は次のような取り組みを行います。

学校関係の主な普通建設事業は次の4事業です。

- (1) **協和統合小学校建築工事**(平成17年度～20年度、総事業費は約17億円)
現荒川小学校敷地に校舎、屋内体育館、プール、屋外運動場、野球場などを整備します。
- (2) **市内小学校冷房化工事**
16校の職員室、保健室、パソコン室等に設置します。18年度は中学校8校と幼稚園3園に設置しました。
- (3) **大曲中学校屋内体育館改築工事**(平成19年度～22年度、総事業費は約6億5千万円)
平成19年度は基本設計と地質調査を予定しています。
- (4) **神岡地域幼稚園保育園一体型施設建設工事**(平成18年度～21年度、総事業費は約6億9千6百万円)
平成19・20年度で建設工事を行います。

※4事業の合計額です。

事業費と財源内訳 (単位:千円)	予算額	国や県のお金	市の借金	その他	市のお金
	1,222,077	345,006	818,900	28,000	30,171

○本年度の取り組みは、目的に対して有効だと考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	未記入	計
実数	98	120	100	23	17	11	369
構成比	26.6	32.5	27.1	6.2	4.6	3.0	100

加重平均点
3.723

判定
A

2-2. 生涯学習の推進

■市の取り組み状況について

市民の要求や課題に応える学習機会の拡充（各種講座・教室など）や情報社会への対応、指導者の育成、公民館や図書館、市民会館等学習施設の整備・充実に努めています。
また、平成18年度に「生涯学習推進計画」を策定し、本年度から推進していくことにしています。

○この分野について、どうお考えでしょうか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	未記入	計
実数	76	132	111	27	12	11	369
構成比	20.6	35.8	30.1	7.3	3.3	3.0	100

加重平均点
3.651

判定
A

■このうち放課後子ども教室推進事業では、本年度は次のような取り組みを行います。

全小学校区において、地域住民の参画を得ながら子どもたちと共に勉強やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動を行う「放課後子ども教室推進事業」を新規事業として実施します。
主な内容は、放課後体験教室（朗読、読み聞かせ、囲碁教室等）、週末体験教室（国際理解、科学体験、芸術体験、スポーツ体験等）、安全安心な居場所・自由なあそび場の提供等です。

事業費と財源内訳 (単位:千円)	予算額	国や県のお金	市の借金	その他	市のお金
	3,122	2,000			1,122

○本年度の取り組みは、目的に対して有効だと考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	未記入	計
実数	114	147	66	23	10	9	369
構成比	30.9	39.8	17.9	6.2	2.7	2.4	100

加重平均点
3.922

判定
A

2-5. 世界平和の希求

■市の取り組み状況について

「非核平和都市」を宣言するとともに、平和を願う精神を後世へ受け継ぐことを目的に、小中学生とその家族等を対象に映写会を実施しています。

○この分野について、どうお考えでしょうか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	未記入	計
実数	124	109	103	17	9	7	369
構成比	33.6	29.5	27.9	4.6	2.4	1.9	100

加重平均点
3.890

判定
A

■このうち非核平和都市宣言事業では、本年度は次のような取り組みを行います。

これまでの映写会に加え、平和レポーター派遣事業（中高生による爆心地広島での現地学習）を新規に実施します。なお、映写会では現地学習結果の発表と戦争と平和に関する映画作品の上映を行います。

事業費と財源内訳 (単位:千円)	予算額	国や県のお金	市の借金	その他	市のお金
	509				509

○本年度の取り組みは、目的に対して有効だと考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点	未記入	計
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない		
実数	102	119	95	28	14	11	369
構成比	27.6	32.2	25.7	7.6	3.8	3.0	100

加重平均点
3.746

判定
A

その3. 生き活きと希望を持って活躍できるまちづくりを進める(産業・雇用分野)

3-1. 農林水産業の振興

■市の取り組み状況について

「大仙市農業振興計画」を推進し、稲作をはじめ複合作物や地場産品の生産拡大（産地づくり推進事業、畑作園芸振興事業等）により農作物供給基地と自立できる農業の構築をめざしています。あわせて、担い手農家の育成・確保や集落営農・法人化を推進しているほか、生産基盤（ほ場整備等）や農村環境の整備に努めています。また、家畜の予防接種支援や肉用牛の優良基礎牛、肥育牛導入・保留助成ほか低コスト生産体制の強化に努めています。

林業については「大仙市森林整備計画」を推進するほか、林道や作業道の開設等効率的な生産体制の整備を推進しています。

このほか、鮭資源等確保活用事業など内水面漁業の振興・維持に努めています。

○この分野について、どうお考えでしょうか。

	5点	4点	3点	2点	1点	未記入	計
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満		
実数	61	110	134	37	18	9	369
構成比	16.5	29.8	36.3	10	4.9	2.4	100

加重平均点
3.442

判定
B

■このうち目指せ“元気な担い手”農業夢プラン応援事業では、本年度は次のような取り組みを行います。

農業法人、集落営農組織、農作業受委託組織、認定農業者等の経営基盤の強化に資する農業用機械、施設等の導入経費に対し助成し、地域農業の担い手の育成を図ります。

また、無人ヘリコプターの導入を支援し、ポジティブリスト制度（残留基準の設定されていない農薬が残留する食品の流通を禁止する制度）に対応した農薬散布を推進します。

事業費と財源内訳 (単位:千円)	予算額	国や県のお金	市の借金	その他	市のお金
	106,010	70,686			35,324

○本年度の取り組みは、目的に対して有効だと考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点	未記入	計
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない		
実数	73	128	115	32	13	8	369
構成比	19.8	34.7	31.2	8.7	3.5	2.2	100

加重平均点
3.598

判定
A

■このうち県営土地改良事業(負担金)では、本年度は次のような取り組みを行います。

市及び土地改良区が負担団体として、採択を得た県営土地改良事業に対し事業費の一部を負担するものです。負担金は現下の農業情勢に鑑み、担い手の育成や経営体の設立に向けた農地の基盤整備事業が大半を占めています。

本年度の主な事業と地区は次のとおりです。

- (1) 県営ほ場整備事業＝大浦沼(神岡)、中仙南部(大曲・中仙)、豊川(中仙)、小種(協和)、及水(南外)、堀板(仙北・太田)、仙北西(大曲・仙北)、花館(大曲)、神岡西部(神岡)、強首(西仙北)、皆別当(西仙北)、鶯野(中仙)、国見(中仙・太田)、南外中央(南外)、本堂城回(太田)等
- (2) ふるさと農道緊急整備事業＝明光沢(西仙北)、清水(中仙)
- (3) 一般(広域関連)農道整備事業＝仙北中央3期(仙北)
- (4) 老朽ため池等整備事業＝大滝沢(西仙北)、沢山・水沢々(南外)

このほか、かんがい排水事業等があります。

事業費と財源内訳 (単位:千円)	予算額	国や県のお金	市の借金	その他	市のお金
	383,057	1,800	334,400	38,147	8,710

○本年度の取り組みは、目的に対して有効だと考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	未記入	計
実数	72	110	132	29	16	10	369
構成比	19.5	29.8	35.8	7.9	4.3	2.7	100

加重平均点
3.538

判定
A

3-2. 商業の充実

■市の取り組み状況について

商工団体による中小企業相談や経営指導の促進と、団体の組織・運営強化のための支援をしています。また、複数の商工会が一元化していくことに対しても支援をしています。

中小企業者の資金需要に対し、市融資制度を利用し取引銀行から融資を受けた場合に、貸付利率を軽減しているほか信用保証料を市が全額負担しています。また、その設備投資分については利子の一部を助成しています。

このほか、大曲駅前通りの花火通り商店街の花火庵の運営を核に中心市街地の活性化を図るとともに、地域商店等活性化支援事業や商店街環境整備事業等により、地域商店や商店街団体の振興に努めています。

○この分野について、どうお考えでしょうか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	未記入	計
実数	61	92	122	50	37	7	369
構成比	16.5	24.9	33.1	13.6	10.0	1.9	100

加重平均点
3.249

判定
B

■このうち地域商店等活性化支援事業では、本年度は次のような取り組みを行います。

消費者との交流関係を保ち、利便性や購買意欲を向上させる事業を行う、市内の30店舗以上の地域商店で構成する商店グループ（中心市街地以外の商店等が対象）に上限30万円の補助金を交付し、購買力の底上げと消費拡大を推進します。

事業費と財源内訳 (単位:千円)	予算額	国や県のお金	市の借金	その他	市のお金
	1,500				1,500

○本年度の取り組みは、目的に対して有効だと考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点	未記入	計
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない		
実数	49	74	132	72	34	8	369
構成比	13.3	20.1	35.8	19.5	9.2	2.2	100

加重平均点
3.089

判定
B

3-3. 観光の振興

■市の取り組み状況について

各イベントや民俗行事（大曲の花火、夏まつり、冬まつり、刈和野の大綱引き、小正月行事など）、観光団体等に支援するとともに、観光案内板や観光資料などを作成し誘客に努めています。
また、各地域にある特産品の宣伝を広く行うとともに、首都圏での物産の紹介や販売に努めています。

○この分野について、どうお考えでしょうか。

	5点	4点	3点	2点	1点	未記入	計
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満		
実数	99	133	70	43	16	8	369
構成比	26.8	36.0	19.0	11.7	4.3	2.2	100

加重平均点
3.709

判定
A

■このうち特産品流通化事業では、本年度は次のような取り組みを行います。

毎年11月に行われる神奈川県座間市民ふるさとまつりに参加し、大仙市の観光PRや特産品・物産品の販売を行います。（座間市とは災害時相互応援協定を結んでいる）
このほか、県内で行われる物産展イベントに参画し、本市の知名度向上と販売促進を図ります。

事業費と財源内訳 (単位:千円)	予算額	国や県のお金	市の借金	その他	市のお金
	882				882

○本年度の取り組みは、目的に対して有効だと考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点	未記入	計
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない		
実数	92	129	88	41	11	8	369
構成比	24.9	35.0	23.8	11.1	3.0	2.2	100

加重平均点
3.693

判定
A

3-4. 雇用の安定、就労の促進

■市の取り組み状況について

若年者等の雇用機会の拡大を図るための「大仙市雇用助成金」の交付やシルバー人材センターへの支援、出稼労働者の安心就労対策（健康診断の促進、郷土通信の送付等）に努めています。

また、関係機関と連携しながらの求人情報等の提供や企業誘致に向けて首都圏の企業との接触の機会を増やすなどの活動を進めています。

○この分野について、どうお考えでしょうか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	未記入	計
実数	60	113	112	49	23	12	369
構成比	16.3	30.6	30.4	13.3	6.2	3.3	100

加重平均点
3.387

判定
B

■このうち大仙市雇用助成金では、本年度は次のような取り組みを行います。

市内の誘致企業や中小企業者を対象に（要件あり）、新規（合併時から18年度末までの採用）や45歳未満の一般労働者（雇用された日から1年以上勤務、常用雇用等の要件あり）を雇用した場合に助成金を交付し、雇用機会の拡大を図り若年層の地元定住を進めます。（45歳未満雇用1人につき15万円を助成。45歳未満の雇用で、かつ、学校等を卒業して1年未満である場合は1人につき30万円を助成）

なお、平成19年度以降の雇用については、別制度となります。

事業費と財源内訳 (単位:千円)	予算額	国や県のお金	市の借金	その他	市のお金
	7,500				

○本年度の取り組みは、目的に対して有効だと考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	未記入	計
実数	62	114	115	40	28	10	369
構成比	16.8	30.9	31.2	10.8	7.6	2.7	100

加重平均点
3.396

判定
B

その4. 生活の基盤が整ったまちづくりを進める(都市基盤)

4-1. 道路の整備

■市の取り組み状況について

主要な公共施設や都市機能に対する交通の利便性を図るために都市計画道路や幹線道路等の整備を進めています。また、生活道路については安全性・快適性を確保するために、改良や舗装等の整備を順次進めています。

このほか、老朽などによる損傷箇所については、随時修繕や補修を行い通行の安全に努めています。

○この分野について、どうお考えでしょうか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	未記入	計
実数	79	131	91	33	28	7	369
構成比	21.4	35.5	24.7	8.9	7.6	1.9	100

加重平均点
3.552

判定
A

■このうち道路新設改良事業では、本年度は次のような取り組みを行います。

(1) 幹線道路等については、地方道路交付金事業や地方特定道路整備事業により8路線を整備します。
大曲(古四王際飯詰線、宮林線)、西仙北(黒森山線、愛宕下・浮島跨線橋)、中仙(中仙4号線)、
協和(合貝跨線橋)、仙北(仙北45号線)

(2) 生活道路等については、緊急性の高い61路線を整備します。
大曲(27路線)、神岡(1路線)、西仙北(4路線)、中仙(15路線)、協和(6路線)、南外(3路線)、仙北(2路線)、
太田(3路線)

事業費と財源内訳 (単位:千円)	予算額	国や県のお金	市の借金	その他	市のお金
	743,632	108,524	564,300		70,808

○本年度の取り組みは、目的に対して有効だと考えますか。

	5点 4点 3点 2点 1点					未記入	計
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない		
実数	87	119	107	23	23	10	369
構成比	23.6	32.2	29.0	6.2	6.2	2.7	100

加重平均点
3.624

判定
A

4-2. 公共交通の整備

■市の取り組み状況について

現在、合併前の旧市町で運行されていた交通サービス事業(大曲の循環バスと乗合タクシーの試験運行、中仙の乗合自動車、太田のシルバーシャトルバス)、及び西仙北、協和の患者輸送事業を引き継いで実施しています。

なお、利用者の減少による路線バスの廃止にともなう代替や高齢者の増加による交通手段の確保、公共交通空白域の縮減を図る公共交通システムを検討するため、市民2,000人にアンケートを実施したほか地域公共交通会議を設置しました。

○この分野について、どうお考えでしょうか。

	5点 4点 3点 2点 1点					未記入	計
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満		
実数	84	143	93	25	14	10	369
構成比	22.8	38.8	25.2	6.8	3.8	2.7	100

加重平均点
3.719

判定
A

■このうち地域交通対策検討事業では、本年度は次のような取り組みを行います。

平成18年度に実施したアンケート調査結果などを参考に、地域公共交通会議で新たな交通システムの検討(現状と課題整理、アンケート結果分析、新たな交通政策の検討等)を行い、平成20年度から順次交通サービス事業を実施していきます。

事業費と財源内訳 (単位:千円)	予算額	国や県のお金	市の借金	その他	市のお金
	648				648

○本年度の取り組みは、目的に対して有効だと考えますか。

	5点 4点 3点 2点 1点					未記入	計
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない		
実数	84	125	120	22	11	7	369
構成比	22.8	33.9	32.5	6.0	3.0	1.9	100

加重平均点
3.688

判定
A

4-3. 市街地の整備

■市の取り組み状況について

大曲駅周辺の市街地整備については、土地区画整理事業により黒瀬町地区が完了し現在、丸の内町地区への事業に入っています。加えて平成17年度から大花町地区での区画整理事業を進めています。

さらに、区画整理と一体的に駅東地区の整備を進め、大仙市の中心にふさわしい市街地を目指しています。

また、神岡地区、旧街道周辺地区（中仙）、羽後境駅周辺地区（協和）においては、地域の歴史、文化、自然環境等の特性を活かした個性あるまちづくりを進めています。

○この分野について、どうお考えでしょうか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	未記入	計
実数	63	114	114	36	37	5	369
構成比	17.1	30.9	30.9	9.8	10.0	1.4	100

加重平均点
3.357

判定
B

■このうちまちづくり交付金事業では、本年度は次のような取り組みを行います。

- (1) 大曲駅周辺地区（平成18～22年度の事業。事業費は約9億3千万円）
駅裏6号線、福田西線、街区公園の測量・用地取得ほか
- (2) 神岡地区（平成16～20年度の事業。事業費は約18億2千万円）
駅北線、中央公園整備、駅北口交通広場整備、神宮寺駅舎工事ほか
- (3) 中仙旧街道周辺地区（平成16～20年度の事業。事業費は約12億円）
二日町石持線、石持館ノ郷線、新山5号線、駅前広場整備工事ほか
- (4) 協和羽後境駅周辺地区（平成17～21年度の事業。事業費は約17億1千万円）
荻谷沢線、駅東線工事、営林署踏切改良事業費負担金（JR）ほか

事業費と財源内訳 (単位:千円)	予算額	国や県のお金	市の借金	その他	市のお金
	751,176	197,029	510,800		43,347

○本年度の取り組みは、目的に対して有効だと考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	未記入	計
実数	56	115	128	29	33	8	369
構成比	15.2	31.2	34.7	7.9	8.9	2.2	100

加重平均点
3.366

判定
B

4-4. 上水道の整備

■市の取り組み状況について

市全域にわたる水道事業基本計画の策定作業を、平成18・19年度の継続事業で進めています。

平成16年度末の上水道（簡易水道等含む）普及率は65.3%であり、安全で安定した水道水を供給するため平成22年度末には70.0%を目標に、上水道事業と簡易水道事業により整備を進めています。

■この分野について、どうお考えでしょうか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	未記入	計
実数	107	129	91	22	12	8	369
構成比	29.0	35.0	24.7	6.0	3.3	2.2	100

加重平均点
3.823

判定
A

■このうち上水道、簡易水道事業では、本年度は次のような取り組みを行います。

(1) 上水道事業

配水管拡張工事（内小友九十九沢地区ほか）、配水管改良工事（若竹町地区ほか）、配水管移設工事ほか

(2) 簡易水道事業

西仙北大沢郷地区（実施設計ほか）、同刈和野地区（浄水施設工事ほか）、中仙入角地区（浄水、配水施設工事など）、南外地域（ダム負担金）、仙北戸地谷地区（配水管布設工事ほか）、同仙北南地区（配水管布設、各戸給水管布設工事ほか）

事業費と財源内訳 (単位:千円)	予算額	国や県のお金	市の借金	その他	市のお金
	1,535,218	377,082	837,100	84,978	236,058

○本年度の取り組みは、目的に対して有効だと考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	未記入	計
実数	106	119	110	13	12	9	369
構成比	28.7	32.2	29.8	3.5	3.3	2.4	100

加重平均点
3.817

判定
A

4-5. 下水道等の整備

■市の取り組み状況について

水質汚濁による生活環境の悪化に対処し、清潔で快適な市民生活の実現を図るため、公共下水道事業、農業集落排水事業、浄化槽設置事業等により下水未処理地区の解消を進めています。

平成17年度末の下水道等普及率は55.7%であり、平成22年度末には76.2%を目標としています。

○この分野について、どうお考えでしょうか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	未記入	計
実数	92	137	78	34	19	9	369
構成比	24.9	37.1	21.1	9.2	5.1	2.4	100

加重平均点
3.692

判定
A

■このうち、公共下水道事業、農業集落排水事業では、本年度は次のような取り組みを行います。

(1) 公共下水道事業（特定環境保全公共下水道事業を含む）

大曲、神岡、西仙北、中仙、南外地域（管渠工事、県代行事業負担金（南外）など）

(2) 農業集落排水事業

大曲西部地区、中仙田ノ尻地区、協和沢庄地区、協和峰吉川地区、太田今泉地区（処理、管路施設工事など）、仙北板見内地区（管路施設工事など）

(3) 特定地域生活排水処理事業、浄化槽設置整備事業

西仙北・協和で特定地域生活排水処理事業により30基を設置。協和を除く7地域で浄化槽設置整備事業により、205基を設置。

事業費と財源内訳 (単位:千円)	予算額	国や県のお金	市の借金	その他	市のお金
	2,834,407	1,181,128	1,411,100	133,094	109,085

■本年度の取り組みは、目的に対して有効だと考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	未記入	計
実数	95	124	114	17	12	7	369
構成比	25.7	33.6	30.9	4.6	3.3	1.9	100

加重平均点
3.754

判定
A

その5. 環境と調和し快適で安全に暮らせるまちづくり(安全・安心)

5-3. 公園緑地の整備

■市の取り組み状況について

都市公園整備事業やまちづくり交付金事業などによる整備を推進しながら、市民一人ひとりが身近に利用できる公園・緑地の整備や、市の顔となるような公園・緑地の整備を計画的に実施しています。
また、潤いのある市街地の形成をめざし、市民や事業所および各種団体等と連携を図り、植樹や花壇などの整備やクリーンアップ運動などを推進しています。

○この分野について、どうお考えでしょうか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	未記入	計
実数	90	137	78	37	19	8	369
構成比	24.4	37.1	21.1	10.0	5.1	2.2	100

加重平均点
3.670

判定
A

■このうち普通建設事業では、本年度は次のような取り組みを行います。

(1) 総合公園事業

事業期間：平成3年度～平成19年度(現行のペースでは最終的には平成25年度までの事業想定)
 全体計画面積：40.3ha(内、開設面積=13.1haで、エントランスゾーン、ファミリーゾーン、スポーツゾーンの一部)
 平成19年度事業費：38,815千円 平成19年度事業内容：交流ゾーン整備工事及び電気設備工事

(2) 仙北ふれあい公園事業

全体事業費：1,665,000千円 事業期間：平成16年～平成22年 全体面積：7.4ha
 平成19年度事業費：29,310千円 平成19年度事業内容：第3駐車場整備工事

(3) 協和カントリーパーク事業

全体計画面積：4.3ha 事業内容：グランドゴルフ場、四季の草花エリア、桜の杜、駐車場整備
 平成19年度事業費：42,542千円 平成19年度事業内容：グラウンドゴルフ場修景施設工事
 遺跡陶芸の里土置場建築工事
 案内看板設置工事

※3事業の合計額です。

事業費と財源内訳 (単位:千円)	予算額	国や県のお金	市の借金	その他	市のお金
	110,667	53,483	53,200		3,984

○本年度の取り組みは、目的に対して有効だと考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	未記入	計
実数	61	117	123	35	20	13	369
構成比	16.5	31.7	33.3	9.5	5.4	3.5	100

加重平均点
3.461

判定
B

5-4. 衛生環境の整備

■市の取り組み状況について

大仙市内の環境保全を推進し、ごみの収集体制の統一を図ることにより、市民へのサービス提供を均等にするとともに、収集作業時の事故防止対策を図ることに努めています。
また、電動式生ゴミ処理機を設置する市民に対しては、経費の一部を助成しています。

○この分野について、どうお考えでしょうか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	未記入	計
実数	85	152	92	20	11	9	369
構成比	23.0	41.2	24.9	5.4	3.0	2.4	100

加重平均点
3.778

判定
A

■このうち廃棄物減量化対策事業では、本年度は次のような取り組みを行います。

廃棄物の減量化を推進するため、大曲地域を試作対象とし、各公民館（本庁を含め7か所）に食品トレイ回収のための容器を備え、食品トレイを持ち込んでいただき、リサイクルに向けたゴミの減量化に努めます。

事業費と財源内訳 (単位:千円)	予算額	国や県のお金	市の借金	その他	市のお金
	84				84

○本年度の取り組みは、目的に対して有効だと考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	未記入	計
実数	120	131	74	27	10	7	369
構成比	32.5	35.5	20.1	7.3	2.7	1.9	100

加重平均点
3.895

判定
A

5-6. 生活の安全、安心

■市の取り組み状況について

あらゆる災害から市民を守るため、全市を考慮した消防水利及び消防防災施設整備の計画的配置を進めています。また、消防団員の半てんや活動服を統一し、消防団の士気高揚等に努めています。

警察署や交通安全推進団体などと連携し、パトロールや交通安全キャンペーン等の啓発活動を行い、交通安全意識の高揚と交通事故防止に努めています。

関係機関・団体・地域と連携しながらパトロールを強化し、防犯対策の推進に努めています。

○この分野について、どうお考えでしょうか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	未記入	計
実数	122	143	63	20	10	11	369
構成比	33.1	38.8	17.1	5.4	2.7	3.0	100

加重平均点
3.969

判定
A

■このうち交通安全対策事業(チャイルドシート購入費補助金)では、本年度は次のような取り組みを行います。

チャイルドシート購入者(対象乳幼児1人に1台限り)に対し、チャイルドシート購入費補助金(1台につき購入費用の2分の1の額で1万円を限度)を交付することで、チャイルドシートの着用を促進し、乗車中の乳幼児の安全を守るとともに、子育てを支援します。

事業費と財源内訳 (単位:千円)	予算額	国や県のお金	市の借金	その他	市のお金
	1,620				1,620

○本年度の取り組みは、目的に対して有効だと考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	未記入	計
実数	132	140	63	12	14	8	369
構成比	35.8	37.9	17.1	3.3	3.8	2.2	100

加重平均点
4.008

判定
A

■このうち消防団組織活性化対策事業、災害応援協定事業では、本年度は次のような取り組みを行います。

消防団員の従業員が団活動をしやすい環境に貢献している事業所を、「消防団協力事業所」として大仙市が認定し「表示証」を交付します。

また、従来からの消防団員を「基本団員」として、更なる入団の促進を図るとともに「機能別団員」(女性消防団、郵便局員・学生等、重機オペ等、自衛消防隊員、シルバー団員、危機管理アドバイザー団員)の新規導入について検討し、消防団の総合力向上に努めます。

地域防災計画に基づき、量販店等と災害時に必要生活関連物資の調達及び供給を行うことと、駐車場を一時避難所として借用する協定を結び、協定を結んだ事業所に対し、一般市民に周知するためと事業所の応援意識を高めるため、表示証を交付します。

事業費と財源内訳 (単位:千円)	予算額	国や県のお金	市の借金	その他	市のお金
	410				410

○本年度の取り組みは、目的に対して有効だと考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	未記入	計
実数	106	145	89	13	6	10	369
構成比	28.7	39.3	24.1	3.5	1.6	2.7	100

加重平均点
3.925

判定
A

その6. 仲間とふれあいともに活躍できるまちづくり(地域情報・交流)

6-2. 男女共同参画社会の形成

■市の取り組み状況について

市民や企業における男女共同参画の意識を喚起し、家庭や地域、職場における男女共同参画の推進に努めています。また、市の審議会等委員に女性を積極的に登用するなど参画機会の推進に努めています。

ドメスティック・バイオレンス被害者を支援する体制の整備に努めています。

○この分野について、どうお考えでしょうか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	未記入	計
実数	64	123	134	19	15	14	369
構成比	17.3	33.3	36.3	5.1	4.1	3.8	100

加重平均点
3.569

判定
A

■このうち男女共同参画推進事業では、本年度は次のような取り組みを行います。

仕事と子育ての両立等について男女共同参画の観点から考える機会として、男女共同参画市民フォーラムを開催します。

また、市内の事業所における男女共同参画の推進状況を把握し、今後の施策の基礎資料とするため、市内の事業所を対象としてアンケート調査を行います。

ドメスティック・バイオレンスの防止啓発を図るとともに、被害者の安全確保、自立支援を目的として、大仙市ドメスティック・バイオレンス防止連絡会への活動経費の交付と被害者等支援金を支出します。

事業費と財源内訳 (単位:千円)	予算額	国や県のお金	市の借金	その他	市のお金
	697			200	497

○本年度の取り組みは、目的に対して有効だと考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	未記入	計
実数	68	108	133	35	12	13	369
構成比	18.4	29.3	36.0	9.5	3.3	3.5	100

加重平均点
3.520

判定
A

6-4. 国際交流の促進

■市の取り組み状況について

外国語指導助手（ALT）や国際交流員（CIR）による英語指導や国際理解講座などを行い、国際社会への認識を深め、国際化に対応できる人材の育成に努めています。

また、市内在住の外国人については、生活する上で直面する問題を解消するための生活相談や情報提供などの支援を行っています。

○この分野について、どうお考えでしょうか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	未記入	計
実数	70	122	145	11	9	12	369
構成比	19	33.1	39.3	3.0	2.4	3.3	100

加重平均点
3.653

判定
A

■このうち韓国青少年ツアー受入事業では、本年度は次のような取り組みを行います。

韓国の青少年を、冬は協和スキー場や協和温泉「四季の湯」を中心に、夏は市内第3セクターを中心に受け入れ、大仙市の資源を活用した国際交流を進め、市内経済の活性化を図ります。また、市民との交流も実施し市民の国際交流に対する興味や関心を高めます。

事業費と財源内訳 (単位:千円)	予算額	国や県のお金	市の借金	その他	市のお金
	1,846				1,846

○本年度の取り組みは、目的に対して有効だと考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	未記入	計
実数	61	110	128	39	18	13	369
構成比	16.5	29.8	34.7	10.6	4.9	3.5	100

加重平均点
3.441

判定
B

その7. 計画の推進にあたって

7-1. 行政運営の効率化

■市の取り組み状況について

市の財政は、歳入一般財源が年々減少していることから、歳出全般にわたる見直しを行い経常的経費の縮減を実施しています。また、普通建設事業費については、必要な事業の選択、事業量、事業年度の見直しを行い、普通建設事業費全体に対する一般財源ベースの削減に努めています。

市民が望む適正な事務事業を厳選し市民の行政に対する満足度を高めるとともに、効果的な事務事業の実施を図るため、市民による市政評価を実施しています。

さらに、効率的な行政運営を推進するため、職員一人ひとりの意識改革や能力向上にも努めています。

○この分野について、どうお考えでしょうか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	未記入	計
実数	73	118	107	39	18	14	369
構成比	19.8	32.0	29	10.6	4.9	3.8	100

加重平均点
3.532

判定
A

■このうち電子入札システム整備事業では、本年度は次のような取り組みを行います。

電子入札は、公共工事の入札及び契約のプロセスを透明化するため、インターネットを利用して行うもので、効果としては、

- ①入札情報が入手しやすくなり、競争性が向上される
- ②競争参加者の移動コストが減少する結果、建設コストも縮減される
- ③ペーパーレス化により、発注者・受注者双方の事務の簡素化が可能となる

などが上げられます。

市では県内の市町村に先駆けて、秋田県との共同利用方式で平成19年度下半期から電子入札システムを試行します。

なお、主たる費用については、6月補正計上を予定しています。

事業費と財源内訳 (単位:千円)	予算額	国や県のお金	市の借金	その他	市のお金
	774				774

○本年度の取り組みは、目的に対して有効だと考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	未記入	計
実数	94	115	119	17	12	12	369
構成比	25.5	31.2	32.2	4.6	3.3	3.3	100

加重平均点
3.734

判定
A

■このうちゼロ予算事業では、本年度は次のような取り組みを行います。

特別な事業予算を用いずに、既存の設備や人材を積極的に活用することで、市民に新しいサービスを提供します。

(1) 新年度、新たに取り組む「ゼロ予算事業」

・大仙市まちづくり塾開催事業

市の若手職員が市内NPO法人やボランティア団体の代表と懇談し、連携の下地づくりをします。

・ダブルハッピー事業

小規模校において、スクールバスや市のバスを利用し、学校全体で他校に移動し、合同で学習発表や運動会などを行います。

・県南地区職場研修事業

高校生の職場見学会などを市が取り持ち行います。

(2) 事務の効率化や職員の資質向上をめざす「ゼロ予算事業」

・総合支所における総合窓口の充実

各総合支所において、戸籍・住基・税務・福祉・国保の担当者が一体となり総合窓口化を図ります。

・大仙市役所地球温暖化対策実行計画の策定

市自らが積極的に市役所の温室効果ガスの排出規制に取り組めます。

事業費と財源内訳 (単位:千円)	予算額	国や県のお金	市の借金	その他	市のお金
	0				0

○本年度の取り組みは、目的に対して有効だと考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	未記入	計
実数	133	130	76	12	8	10	369
構成比	36.0	35.2	20.6	3.3	2.2	2.7	100

加重平均点
4.025

判定
A

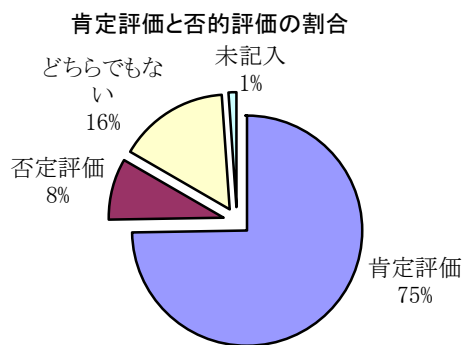
2. 年齢別、地区別の状況及び記述意見

【1】現状の満足度について

1. 安心して健やかに暮らせるまちづくりを進める（1-1 保健・医療の充実）

(1) 全体

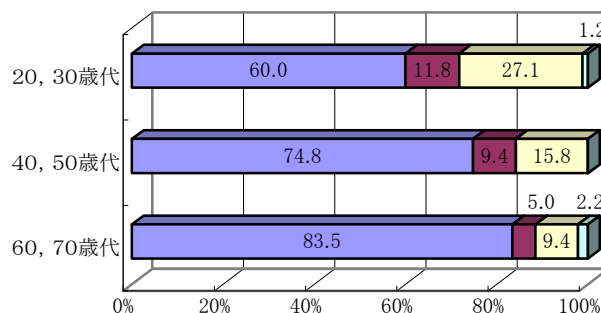
	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	276	31	58	4	369



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	51	10	23	1	85
40, 50歳代	104	13	22	0	139
60, 70歳代	116	7	13	3	139
年齢未記入	5	1	0	0	6
計	276	31	58	4	369

年代別状況 (%)

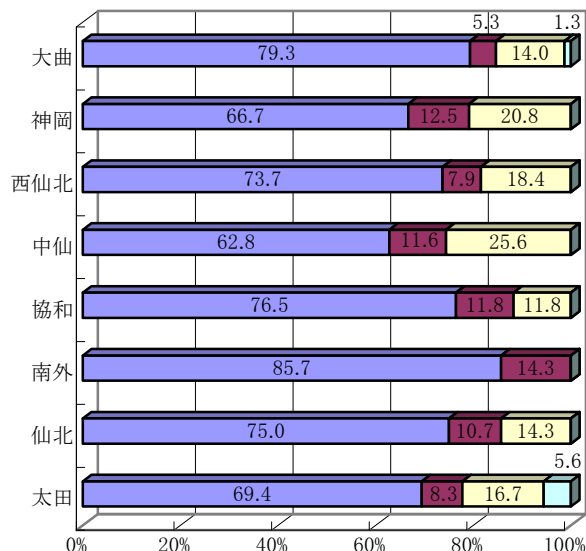


■ 肯定評価 ■ 否定評価 □ どちらでもない □ 未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	119	8	21	2	150
神岡	16	3	5	0	24
西仙北	28	3	7	0	38
中仙	27	5	11	0	43
協和	26	4	4	0	34
南外	12	2	0	0	14
仙北	21	3	4	0	28
太田	25	3	6	2	36
地区未記入	2	0	0	0	2
計	276	31	58	4	369

地域別状況 (%)



■ 肯定評価 ■ 否定評価 □ どちらでもない □ 未記入

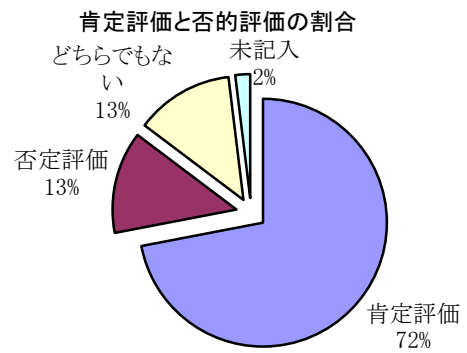
(4) 説明

- ・全体で肯定評価を75%得ており、否定評価は8%にすぎません。
- ・年代別では、年代が高くなるにつれて肯定評価も高くなっています。
- ・地域別では、全地域で60%以上の肯定評価を得ています。

1. 安心して健やかに暮らせるまちづくりを進める（1-2 子育て支援の充実）

(1) 全体

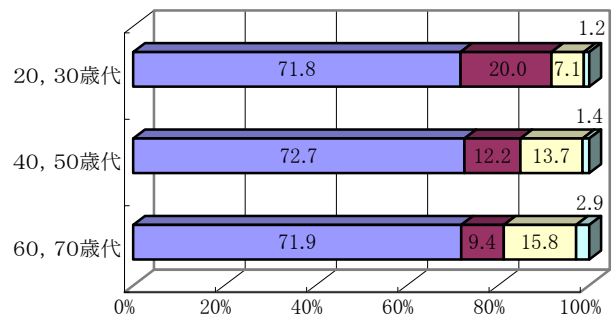
	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	266	49	47	7	369



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	61	17	6	1	85
40, 50歳代	101	17	19	2	139
60, 70歳代	100	13	22	4	139
年齢未記入	4	2	0	0	6
計	266	49	47	7	369

年代別状況(%)

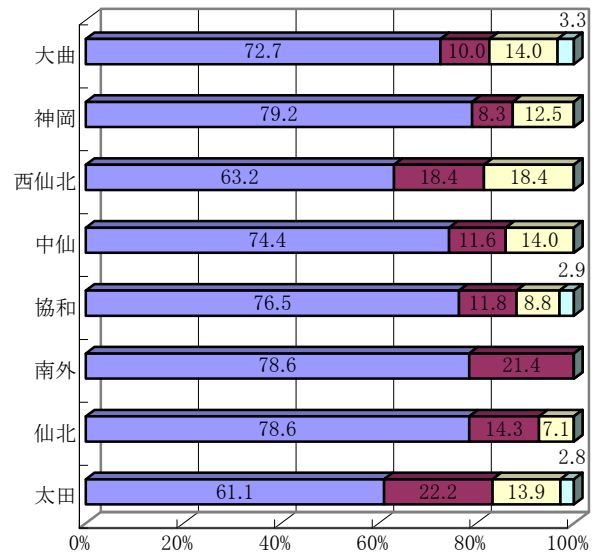


肯定評価 否定評価 どちらでもない 未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	109	15	21	5	150
神岡	19	2	3	0	24
西仙北	24	7	7	0	38
中仙	32	5	6	0	43
協和	26	4	3	1	34
南外	11	3	0	0	14
仙北	22	4	2	0	28
太田	22	8	5	1	36
地区未記入	1	1	0	0	2
計	266	49	47	7	369

地域別状況(%)



肯定評価 否定評価 どちらでもない 未記入

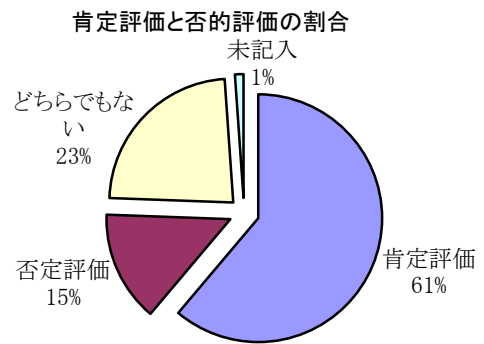
(4) 説明

- ・全体で72%の肯定評価を得ています。
- ・年代別では、全年代で70%以上の肯定評価を得ていますが、『20, 30歳代』の否定評価が20%と高くなっています。
- ・自由記載欄には、「4年前に第1子を妊娠、出産した時よりも子育て支援の取り組みが随分良くなっていて経済的に助かった」「子どもが高校を卒業するまで医療費を全額助成して欲しい」「第2子、第3子への助成があればよい」といった意見がありました。

1. 安心して健やかに暮らせるまちづくりを進める（1-3 社会福祉の充実）

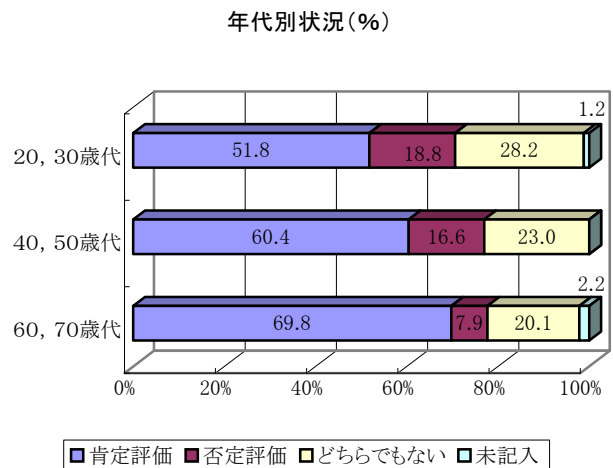
(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	225	54	86	4	369



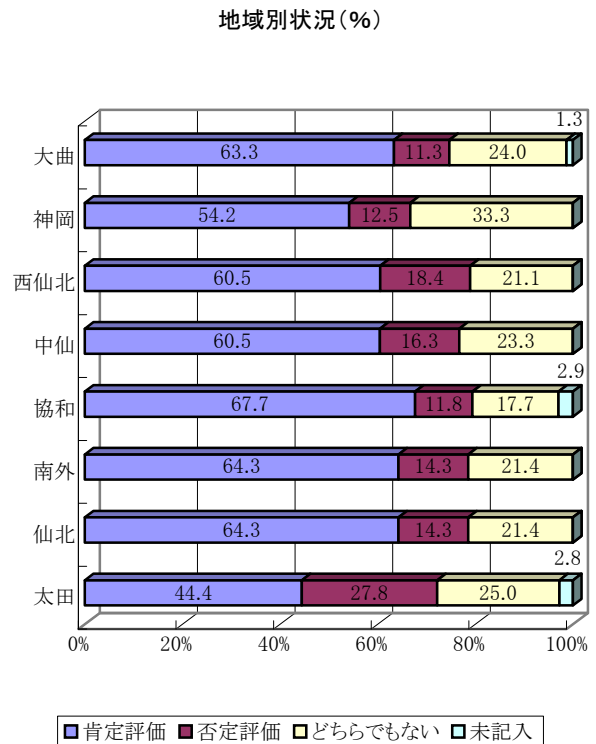
(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	44	16	24	1	85
40, 50歳代	84	23	32	0	139
60, 70歳代	97	11	28	3	139
年齢未記入	0	4	2	0	6
計	225	54	86	4	369



(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	95	17	36	2	150
神岡	13	3	8	0	24
西仙北	23	7	8	0	38
中仙	26	7	10	0	43
協和	23	4	6	1	34
南外	9	2	3	0	14
仙北	18	4	6	0	28
太田	16	10	9	1	36
地区未記入	2	0	0	0	2
計	225	54	86	4	369



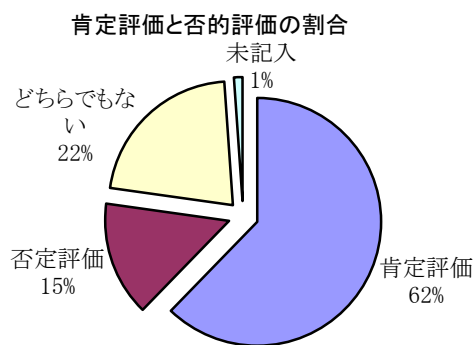
(4) 説明

- ・全体で肯定評価が60%に達していますが、『どちらでもない』が23%と高くなっています。
- ・年代別では、年代が低くなるにつれて肯定評価も低くなっています。
- ・地域別では、太田地域で唯一、肯定評価が50%に達していません。
- ・自由記載欄には、「民生委員のひとり暮らし老人に対するの訪問が充分でない」「ボランティアについて、各家庭からの参加が促進されるような工夫をしてほしい」等、更なる社会福祉の充実を求める意見がありました。

1. 安心して健やかに暮らせるまちづくりを進める（1-4 高齢者福祉の充実）

(1) 全体

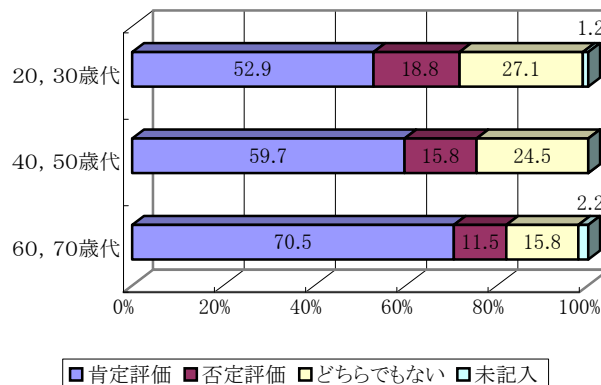
	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	230	55	80	4	369



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	45	16	23	1	85
40, 50歳代	83	22	34	0	139
60, 70歳代	98	16	22	3	139
年齢未記入	4	1	1	0	6
計	230	55	80	4	369

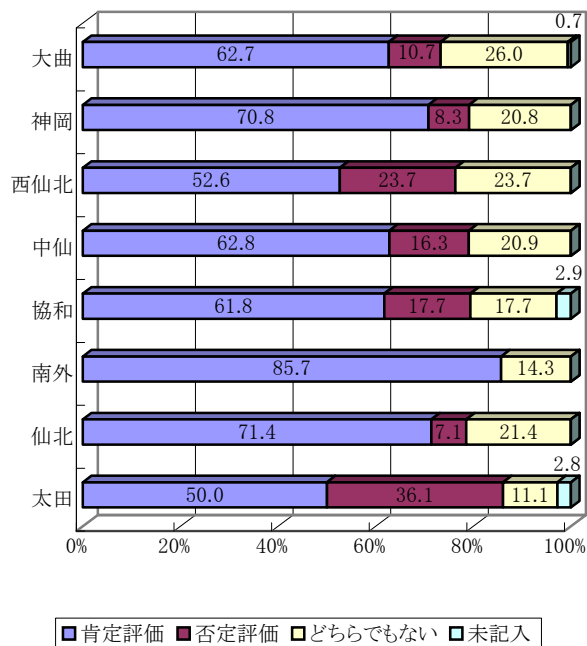
年代別状況(%)



(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	94	16	39	1	150
神岡	17	2	5	0	24
西仙北	20	9	9	0	38
中仙	27	7	9	0	43
協和	21	6	6	1	34
南外	12	0	2	0	14
仙北	20	2	6	0	28
太田	18	13	4	1	36
地区未記入	1	0	0	1	2
計	230	55	80	4	369

地域別状況(%)



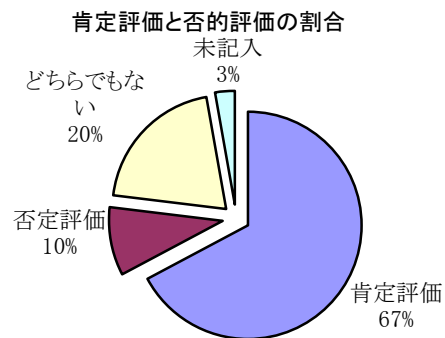
(4) 説明

- ・全体の肯定評価は60%に達しています。
- ・年代別では、『60, 70歳代』で肯定評価が70%を超えており、他年代より大幅に高くなっています。
- ・地域別では、太田地域の否定評価が約36%で、他地域に比べ10%以上高くなっています。
- ・自由記載欄には、「経済負担の軽減等の内容、利用する際の説明が市民に浸透していないような気がする」といった指摘がありました。

2. 未来（あす）を創り心豊かな人を育むまちづくりを進める（2-1 学校教育の充実）

（1）全体

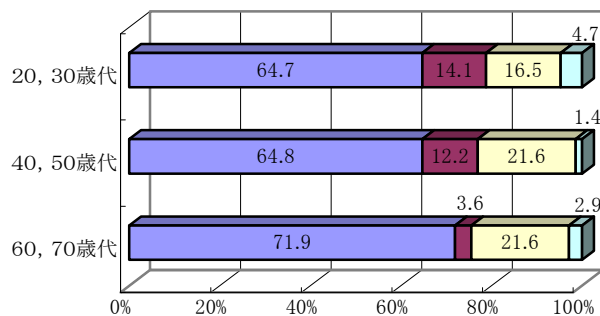
	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	248	36	75	10	369



（2）年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	55	12	14	4	85
40, 50歳代	90	17	30	2	139
60, 70歳代	100	5	30	4	139
年齢未記入	3	2	1	0	6
計	248	36	75	10	369

年代別状況(%)

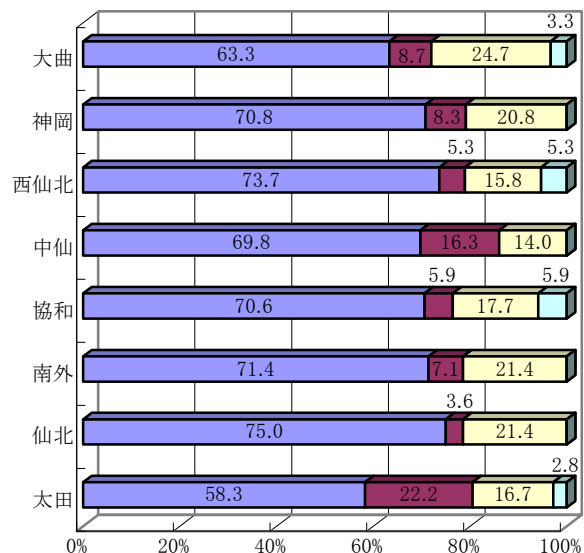


■肯定評価 ■否定評価 □どちらでもない □未記入

（3）地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	95	13	37	5	150
神岡	17	2	5	0	24
西仙北	28	2	6	2	38
中仙	30	7	6	0	43
協和	24	2	6	2	34
南外	10	1	3	0	14
仙北	21	1	6	0	28
太田	21	8	6	1	36
地区未記入	2	0	0	0	2
計	248	36	75	10	369

地域別状況(%)



■肯定評価 ■否定評価 □どちらでもない □未記入

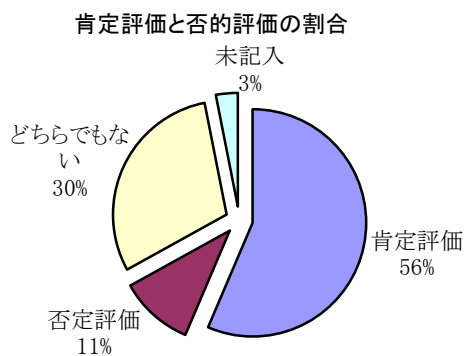
（4）説明

- ・全体の肯定評価が67%で、概ね理解を得られています。
- ・地域別では、太田地域以外は60%以上の肯定評価となっており、否定評価は中仙と太田の2地域で比較的高くなっています。
- ・自由記載欄には、「英語教育の浸透は良いことだが、満足に日本語が使えないことが問題であり、本当の日本語を体感することも、英語以上に大切だと思う」「英語よりもまず国語を重要視すべきだ」等の意見がありました。

2. 未来（あす）を創り心豊かな人を育むまちづくりを進める（2-2 生涯学習の推進）

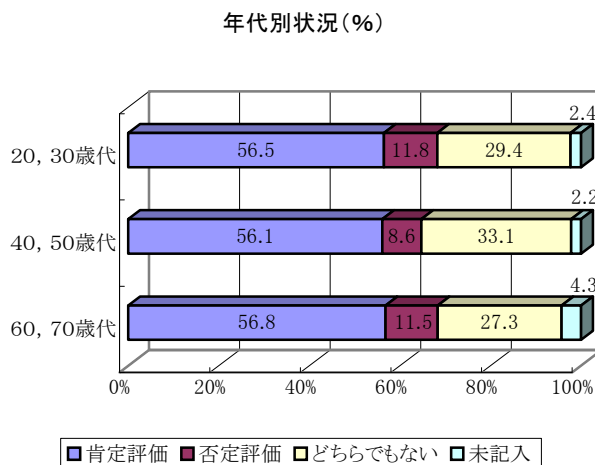
(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	208	39	111	11	369



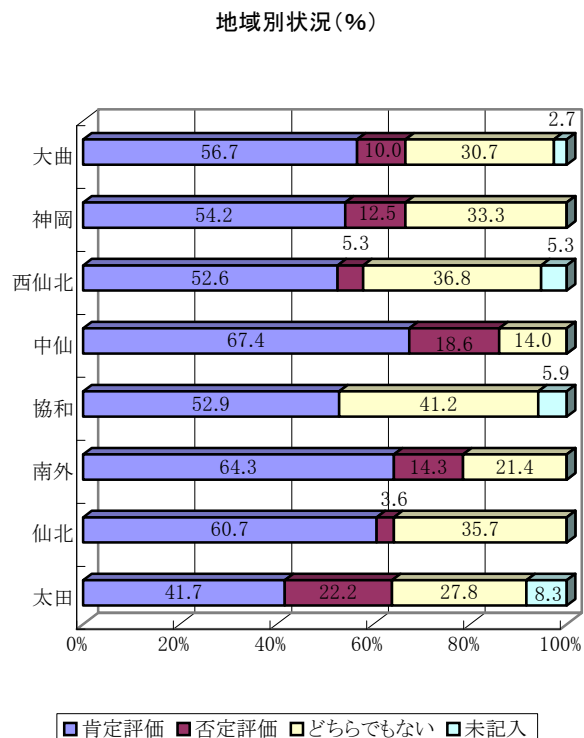
(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	48	10	25	2	85
40, 50歳代	78	12	46	3	139
60, 70歳代	79	16	38	6	139
年齢未記入	3	1	2	0	6
計	208	39	111	11	369



(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	85	15	46	4	150
神岡	13	3	8	0	24
西仙北	20	2	14	2	38
中仙	29	8	6	0	43
協和	18	0	14	2	34
南外	9	2	3	0	14
仙北	17	1	10	0	28
太田	15	8	10	3	36
地区未記入	2	0	0	0	2
計	208	39	111	11	369



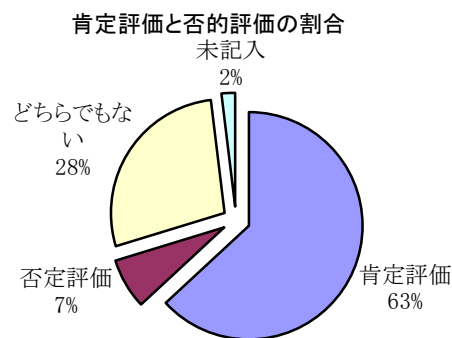
(4) 説明

- ・全体で『どちらでもない』が30%と高くなっています。
- ・年代別では、全年代で似かよった評価となっています。
- ・地域別では、中仙地域で肯定評価が最も高くなっています。
- ・自由記載欄には、「子どもと一緒に参加できる講座や教室があればよい」や「地域の図書館をもっと整備してほしい」等、生涯学習支援の充実を望む意見がありました。

2. 未来（あす）を創り心豊かな人を育むまちづくりを進める（2-5 世界平和の希求）

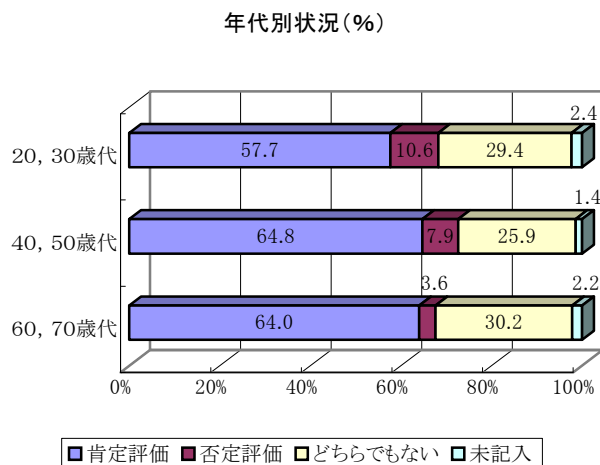
(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	233	26	103	7	369



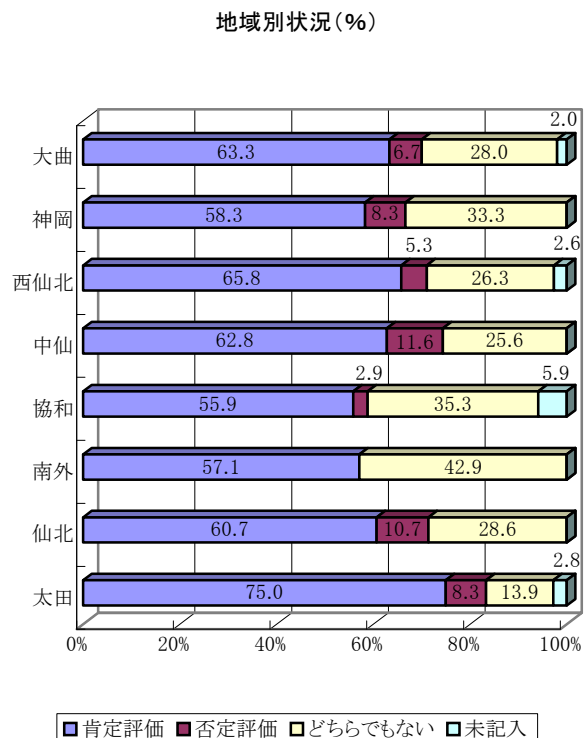
(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	49	9	25	2	85
40, 50歳代	90	11	36	2	139
60, 70歳代	89	5	42	3	139
年齢未記入	5	1	0	0	6
計	233	26	103	7	369



(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	95	10	42	3	150
神岡	14	2	8	0	24
西仙北	25	2	10	1	38
中仙	27	5	11	0	43
協和	19	1	12	2	34
南外	8	0	6	0	14
仙北	17	3	8	0	28
太田	27	3	5	1	36
地区未記入	1	0	1	0	2
計	233	26	103	7	369



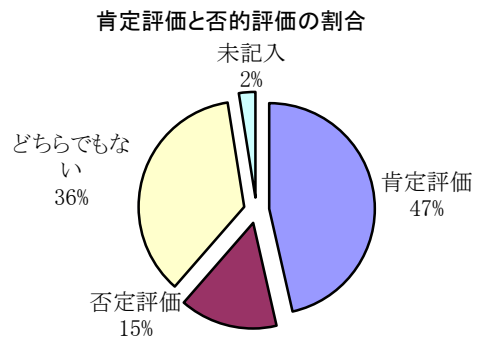
(4) 説明

- ・全体で否定評価は7%にすぎませんが、『どちらでもない』が28%と高くなっています。
- ・地域別では、太田地域の肯定評価が唯一、70%を超えています。
- ・自由記載欄には、「もっと対象を拡大し、広く多くの人に広めてほしい」等、戦争を知らない世代への世界平和に対する意識の醸成を望む意見がありました。

3. 生き生きと希望を持って生活できるまちづくりを進める（3-1 農林水産業の振興）

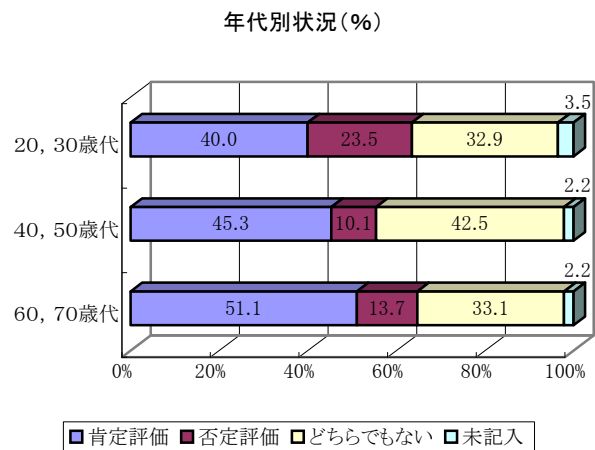
(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	171	55	134	9	369



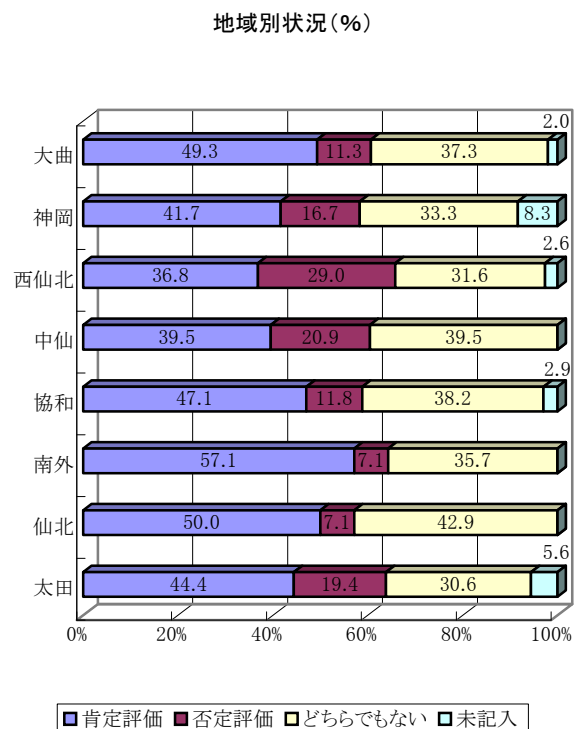
(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	34	20	28	3	85
40, 50歳代	63	14	59	3	139
60, 70歳代	71	19	46	3	139
年齢未記入	3	2	1	0	6
計	171	55	134	9	369



(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	74	17	56	3	150
神岡	10	4	8	2	24
西仙北	14	11	12	1	38
中仙	17	9	17	0	43
協和	16	4	13	1	34
南外	8	1	5	0	14
仙北	14	2	12	0	28
太田	16	7	11	2	36
地区未記入	2	0	0	0	2
計	171	55	134	9	369



(4) 説明

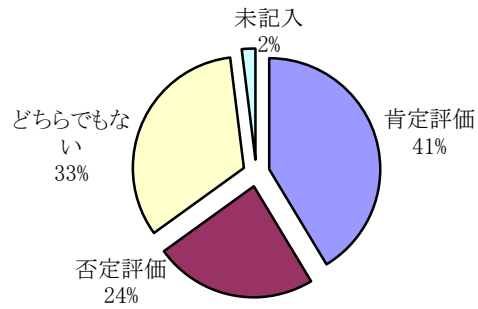
- ・全体で肯定評価が50%に達しておらず、『どちらでもない』が36%と高くなっています。
- ・年代別では、『20,30歳代』の否定評価が他年代の約2倍となっており、『40,50歳代』では『どちらでもない』の割合が40%を超えています。
- ・地域別では、肯定評価が50%に達しているのは、南外と仙北の2地域となっています。
- ・自由記載欄には、「農家の所得向上と銘柄確立をめざし、流通・販売に行政の支援が必要だ」「まちが元気になるのも農村の元気があってのものと思うので、農村作りに力を入れてほしい」等の意見がありました。

3. 活き活きと希望を持って生活できるまちづくりを進める（3-2 商業の充実）

（1）全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	153	87	122	7	369

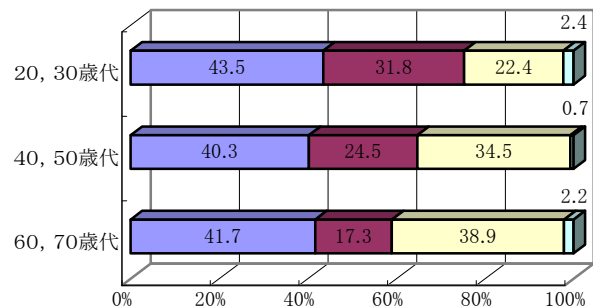
肯定評価と否定的評価の割合



（2）年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	37	27	19	2	85
40, 50歳代	56	34	48	1	139
60, 70歳代	58	24	54	3	139
年齢未記入	2	2	1	1	6
計	153	87	122	7	369

年代別状況(%)

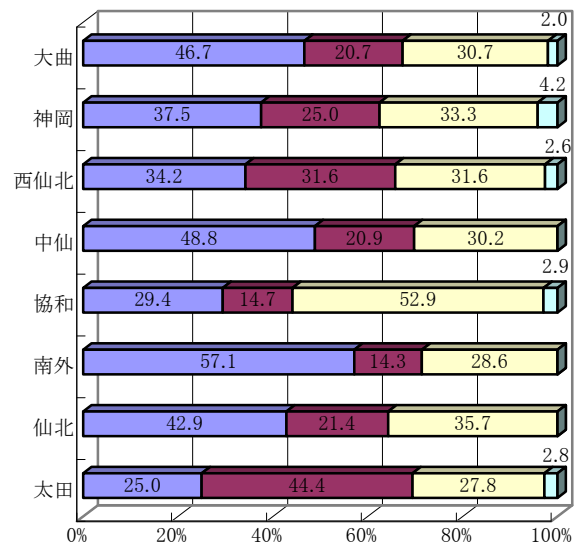


■ 肯定評価 ■ 否定評価 □ どちらでもない □ 未記入

（3）地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	70	31	46	3	150
神岡	9	6	8	1	24
西仙北	13	12	12	1	38
中仙	21	9	13	0	43
協和	10	5	18	1	34
南外	8	2	4	0	14
仙北	12	6	10	0	28
太田	9	16	10	1	36
地区未記入	1	0	1	0	2
計	153	87	122	7	369

地域別状況(%)



■ 肯定評価 ■ 否定評価 □ どちらでもない □ 未記入

（4）説明

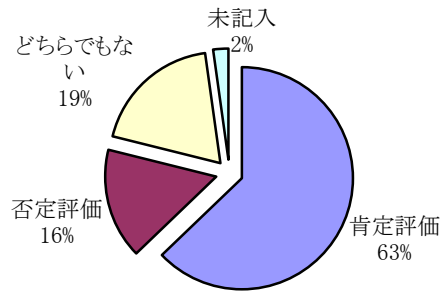
- ・全体で肯定評価41%、否定評価24%、『どちらでもない』33%と厳しい評価となっています。
- ・年代別では、『20, 30歳代』の否定評価が他年代に比べ高くなっています。
- ・地域別では、南外地域以外は肯定評価が50%に達しておらず、協和、太田の両地域では20%台にとどまっています。
- ・自由記載欄には、「商店街が活性化するために、どのようなまちにしたらよいか住民からアイデアを募集してみてはどうか」といった提案や「もっと街が元気になる施策を進めてほしい」といった意見がありました。

3. 生き生きと希望を持って生活できるまちづくりを進める（3-3 観光の振興）

(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	232	59	70	8	369

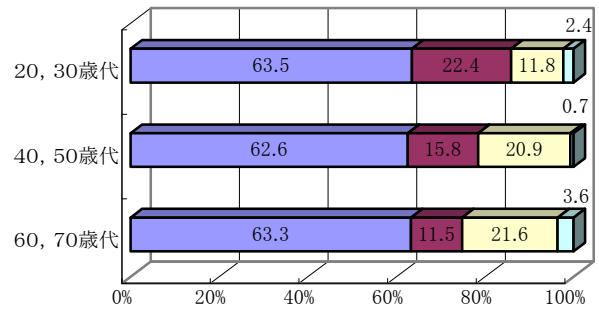
肯定評価と否定的評価の割合



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	54	19	10	2	85
40, 50歳代	87	22	29	1	139
60, 70歳代	88	16	30	5	139
年齢未記入	3	2	1	0	6
計	232	59	70	8	369

年代別状況(%)

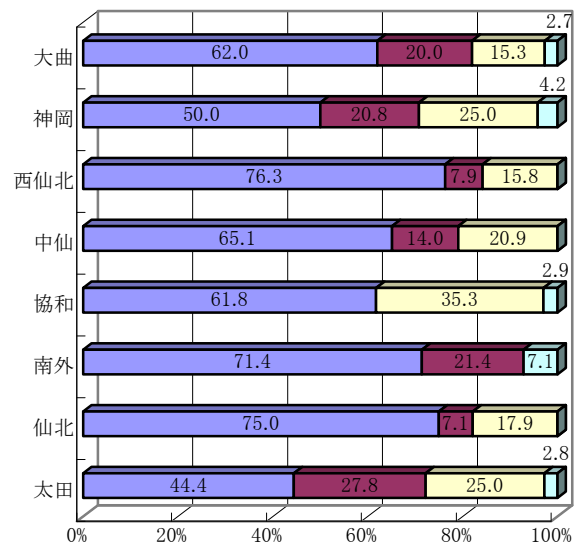


■ 肯定評価 ■ 否定評価 □ どちらでもない □ 未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	93	30	23	4	150
神岡	12	5	6	1	24
西仙北	29	3	6	0	38
中仙	28	6	9	0	43
協和	21	0	12	1	34
南外	10	3	0	1	14
仙北	21	2	5	0	28
太田	16	10	9	1	36
地区未記入	2	0	0	0	2
計	232	59	70	8	369

地域別状況(%)



■ 肯定評価 ■ 否定評価 □ どちらでもない □ 未記入

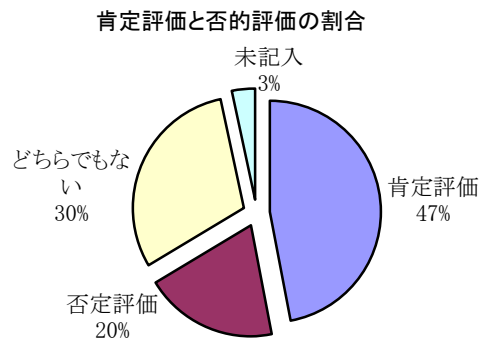
(4) 説明

- ・全体で約6割の肯定評価を得ています。
- ・年代別の肯定評価は、全年代で似かよった結果となっています。
- ・地域別では、西仙北地域の肯定評価が約76%で最も高く、太田地域は唯一、50%に達していません。
- ・自由記載欄には、PR不足を指摘する意見が多くありました。

3. 生き生きと希望を持って生活できるまちづくりを進める
 (3-4 雇用の安定、就労の促進)

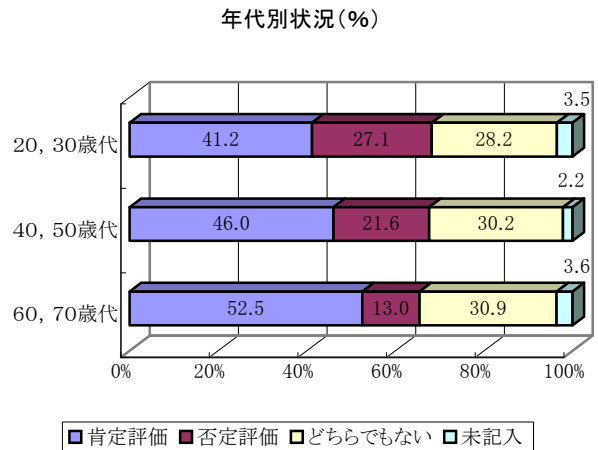
(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	173	72	112	12	369



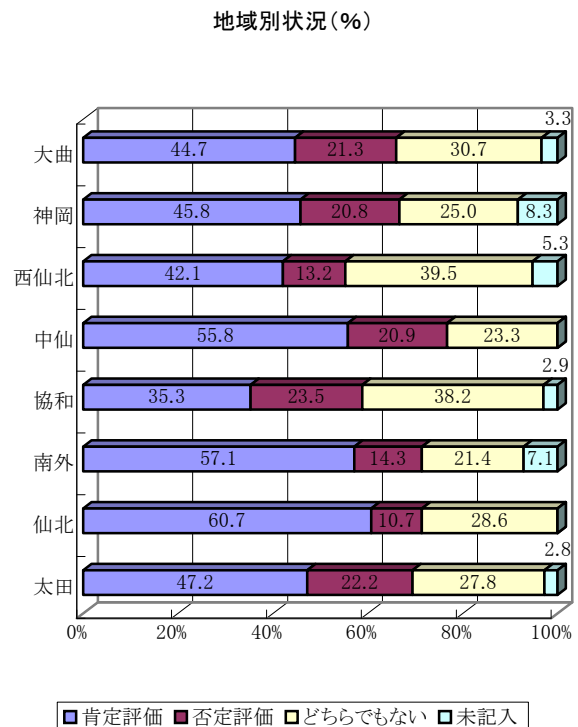
(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	35	23	24	3	85
40, 50歳代	64	30	42	3	139
60, 70歳代	73	18	43	5	139
年齢未記入	1	1	3	1	6
計	173	72	112	12	369



(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	67	32	46	5	150
神岡	11	5	6	2	24
西仙北	16	5	15	2	38
中仙	24	9	10	0	43
協和	12	8	13	1	34
南外	8	2	3	1	14
仙北	17	3	8	0	28
太田	17	8	10	1	36
地区未記入	1	0	1	0	2
計	173	72	112	12	369



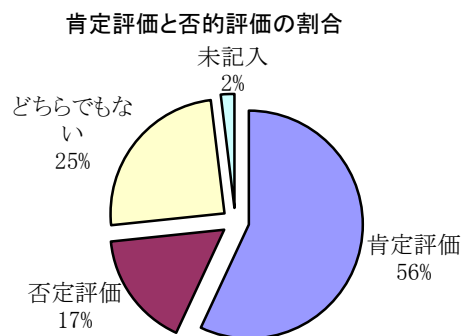
(4) 説明

- ・全体の肯定評価は47%にとどまっています。
- ・年代別では、『20, 30歳代』の肯定評価が最も低くなっています。
- ・地域別では、協和地域で肯定、否定の割合とも一番高くなっています。
- ・自由記載欄には、「若者の雇用形態が改善されるように努力してほしい」「工業団地を作って雇用を活性化させてもらいたい」「企業誘致は絶対必要だ」「若者を県内、大仙市から出さなくてもいいように職場の確保を」等、雇用の場の整備を願う意見が多くありました。

4. 生活の基盤が整ったまちづくりを進める (4-1 道路の整備)

(1) 全体

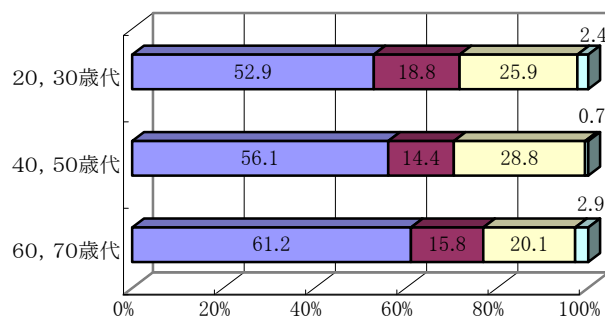
	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	210	61	91	7	369



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	45	16	22	2	85
40, 50歳代	78	20	40	1	139
60, 70歳代	85	22	28	4	139
年齢未記入	2	3	1	0	6
計	210	61	91	7	369

年代別状況(%)

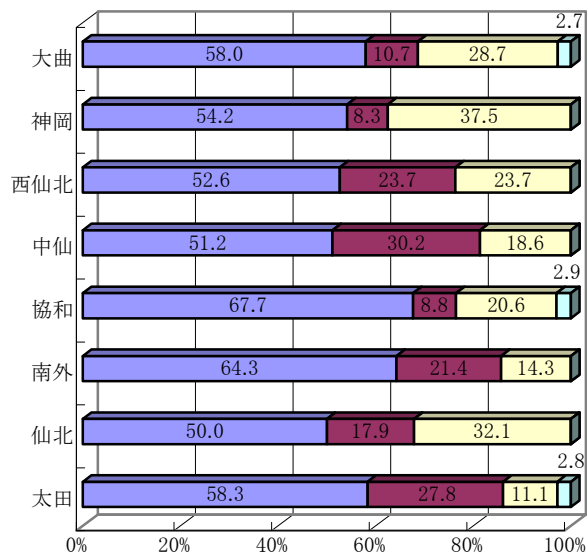


■ 肯定評価 ■ 否定評価 ■ どちらでもない ■ 未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	87	16	43	4	150
神岡	13	2	9	0	24
西仙北	20	9	9	0	38
中仙	22	13	8	0	43
協和	23	3	7	1	34
南外	9	3	2	0	14
仙北	14	5	9	0	28
太田	21	10	4	1	36
地区未記入	1	0	0	1	2
計	210	61	91	7	369

地域別状況(%)



■ 肯定評価 ■ 否定評価 ■ どちらでもない ■ 未記入

(4) 説明

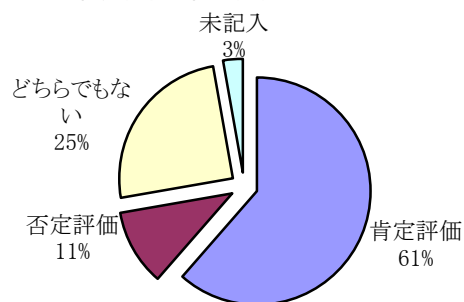
- ・全体で肯定評価56%、次いで『どちらでもない』25%、否定評価17%となっています。
- ・年代別では、『60,70歳代』で肯定評価が60%に達しています。全年代で否定評価は10%台、『どちらでもない』は20%台となっています。
- ・地域別では、協和と南外の2地域で肯定評価が60%を超えていますが、他地域は50%台となっています。

4. 生活の基盤が整ったまちづくりを進める (4-2 公共交通の整備)

(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	227	39	93	10	369

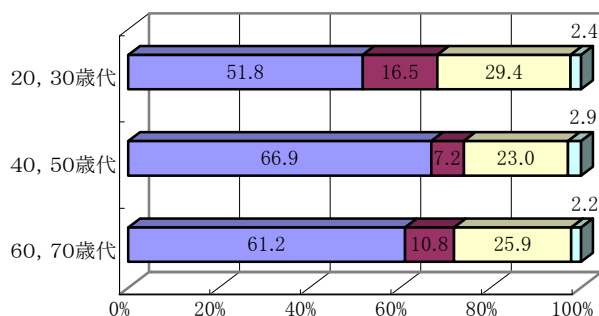
肯定評価と否定的評価の割合



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	44	14	25	2	85
40, 50歳代	93	10	32	4	139
60, 70歳代	85	15	36	3	139
年齢未記入	5	0	0	1	6
計	227	39	93	10	369

年代別状況(%)

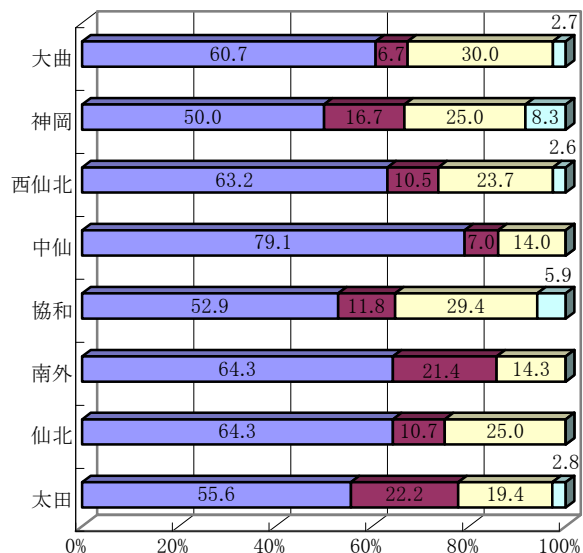


■肯定評価 ■否定評価 □どちらでもない □未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	91	10	45	4	150
神岡	12	4	6	2	24
西仙北	24	4	9	1	38
中仙	34	3	6	0	43
協和	18	4	10	2	34
南外	9	3	2	0	14
仙北	18	3	7	0	28
太田	20	8	7	1	36
地区未記入	1	0	1	0	2
計	227	39	93	10	369

地域別状況(%)



■肯定評価 ■否定評価 □どちらでもない □未記入

(4) 説明

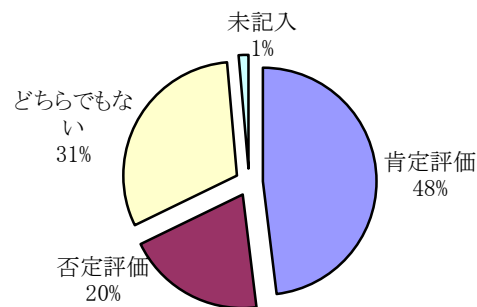
- ・年代別では、『20,30歳代』以外は肯定評価が60%を超えています。
- ・地域別では、全地域で肯定評価が50%を超えており、特に中仙地域では80%に迫る肯定評価を得ています。
- ・自由記載欄には、「免許を持たない主婦の方、高齢層の方々が足の便がなく困っていると聞く」等の意見がありました。

4. 生活の基盤が整ったまちづくりを進める (4-3 市街地の整備)

(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	177	73	114	5	369

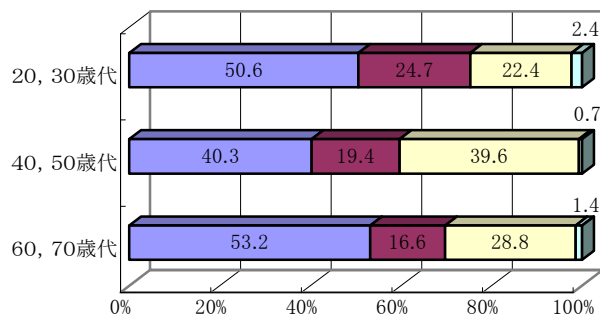
肯定評価と否定的評価の割合



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	43	21	19	2	85
40, 50歳代	56	27	55	1	139
60, 70歳代	74	23	40	2	139
年齢未記入	4	2	0	0	6
計	177	73	114	5	369

年代別状況(%)

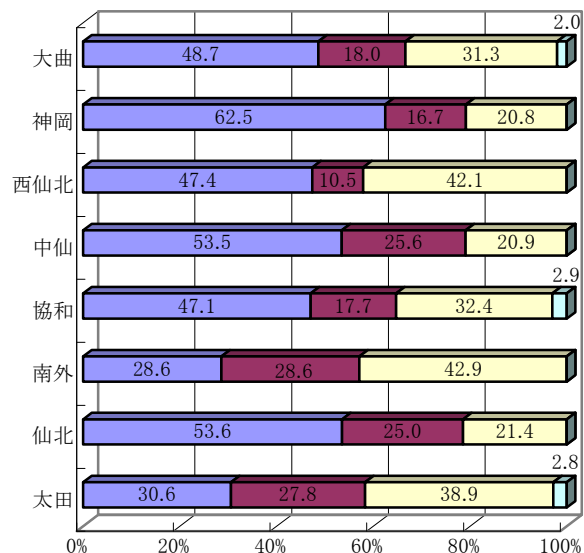


■肯定評価 ■否定評価 □どちらでもない □未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	73	27	47	3	150
神岡	15	4	5	0	24
西仙北	18	4	16	0	38
中仙	23	11	9	0	43
協和	16	6	11	1	34
南外	4	4	6	0	14
仙北	15	7	6	0	28
太田	11	10	14	1	36
地区未記入	2	0	0	0	2
計	177	73	114	5	369

地域別状況(%)



■肯定評価 ■否定評価 □どちらでもない □未記入

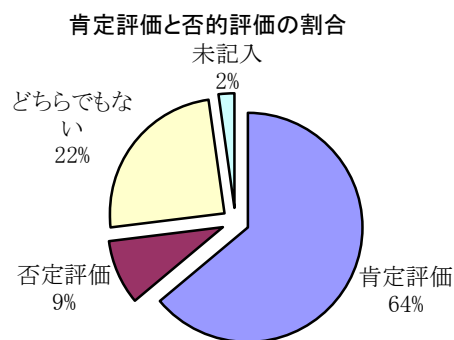
(4) 説明

- ・全体で肯定評価が5割に達しておらず、否定評価2割、『どちらでもない』3割という結果になっています。
- ・年代別では、『40,50歳代』の中間層で肯定評価が最も低く、『どちらでもない』は約4割に達しています。
- ・地域別では、全地域ばらつきのある結果となっています。
- ・自由記載欄には、「市の財政状況を考慮し、計画を見直すことも必要ではないか」や「駅東の整備事業は多額の費用をかけてまで必要ない」等、厳しい意見が多くありました。

4. 生活の基盤が整ったまちづくりを進める (4-4 上水道の整備)

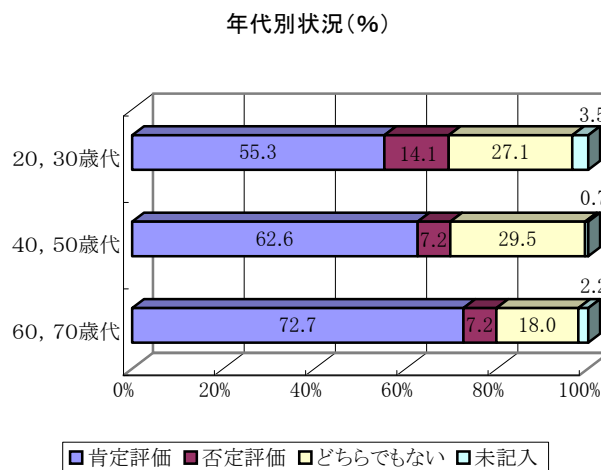
(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	236	34	91	8	369



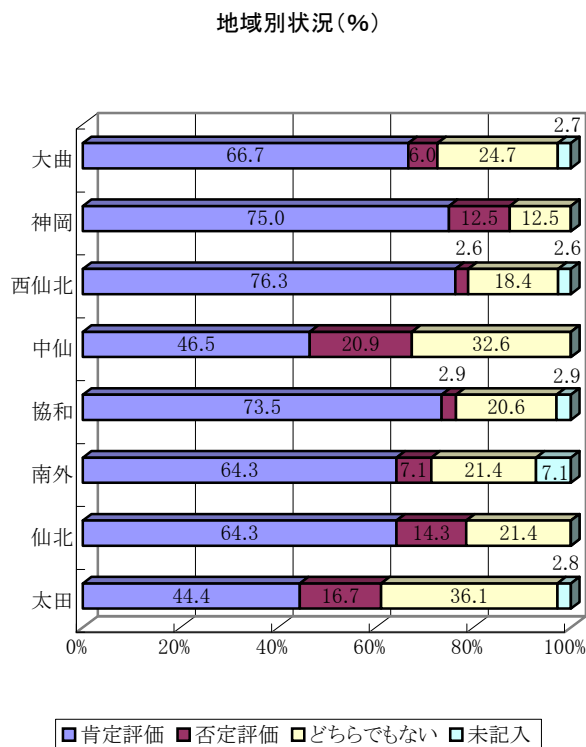
(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	47	12	23	3	85
40, 50歳代	87	10	41	1	139
60, 70歳代	101	10	25	3	139
年齢未記入	1	2	2	1	6
計	236	34	91	8	369



(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	100	9	37	4	150
神岡	18	3	3	0	24
西仙北	29	1	7	1	38
中仙	20	9	14	0	43
協和	25	1	7	1	34
南外	9	1	3	1	14
仙北	18	4	6	0	28
太田	16	6	13	1	36
地区未記入	1	0	1	0	2
計	236	34	91	8	369



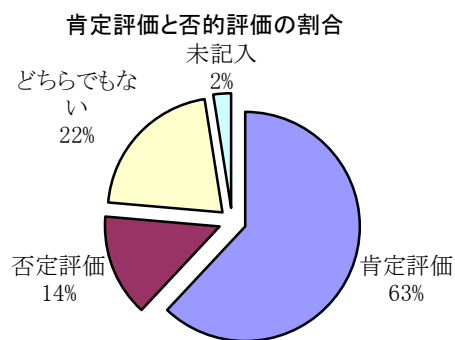
(4) 説明

- ・全体で否定評価は9%にすぎませんが、『どちらでもない』が22%と高くなっています。
- ・年代別では、年代が高くなるにつれ肯定評価も高くなっており、『60, 70歳代』では70%を超えています。
- ・地域別では、中仙と太田の2地域で肯定評価が40%台にとどまっており、他地域より大幅に低くなっています。

4. 生活の基盤が整ったまちづくりを進める (4-5 下水道等の整備)

(1) 全体

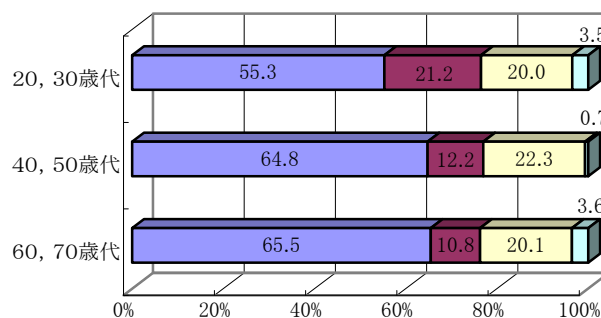
	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	229	53	78	9	369



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	47	18	17	3	85
40, 50歳代	90	17	31	1	139
60, 70歳代	91	15	28	5	139
年齢未記入	1	3	2	0	6
計	229	53	78	9	369

年代別状況 (%)

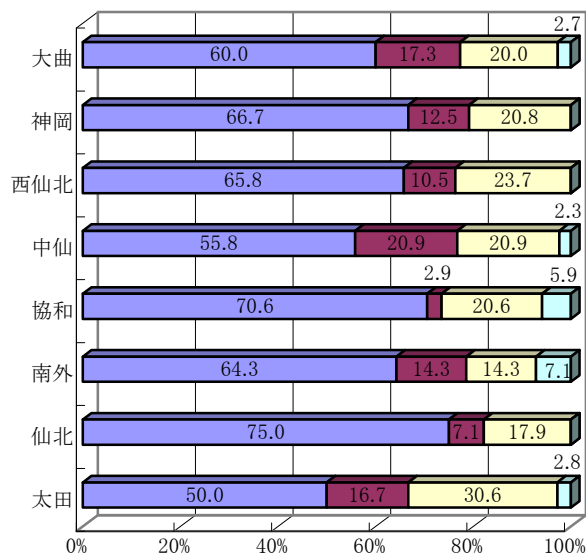


■ 肯定評価 ■ 否定評価 ■ どちらでもない ■ 未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	90	26	30	4	150
神岡	16	3	5	0	24
西仙北	25	4	9	0	38
中仙	24	9	9	1	43
協和	24	1	7	2	34
南外	9	2	2	1	14
仙北	21	2	5	0	28
太田	18	6	11	1	36
地区未記入	2	0	0	0	2
計	229	53	78	9	369

地域別状況 (%)



■ 肯定評価 ■ 否定評価 ■ どちらでもない ■ 未記入

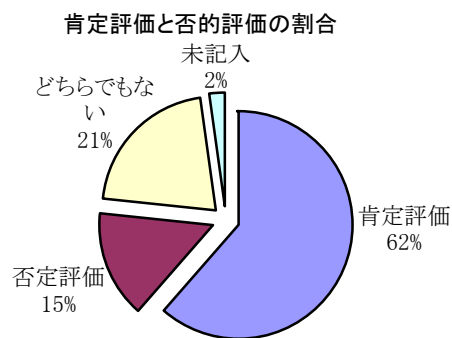
(4) 説明

- ・全体で63%の肯定評価を得ています。
- ・地域別では、協和と仙北地域で肯定評価が70%を超えています。
- ・自由記載欄には、「市街地と郡部の格差をなくしてほしい」や「下水道の必要性をもっと啓蒙した方がいい。住民はまだまだ認識不足の人が多し」等といった意見がありました。

5. 環境と調和し快適で安全に暮らせるまちづくりを進める（5-3 公園緑地の整備）

(1) 全体

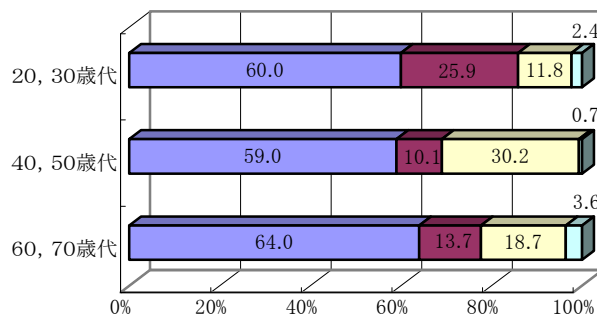
	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	227	56	78	8	369



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	51	22	10	2	85
40, 50歳代	82	14	42	1	139
60, 70歳代	89	19	26	5	139
年齢未記入	5	1	0	0	6
計	227	56	78	8	369

年代別状況(%)

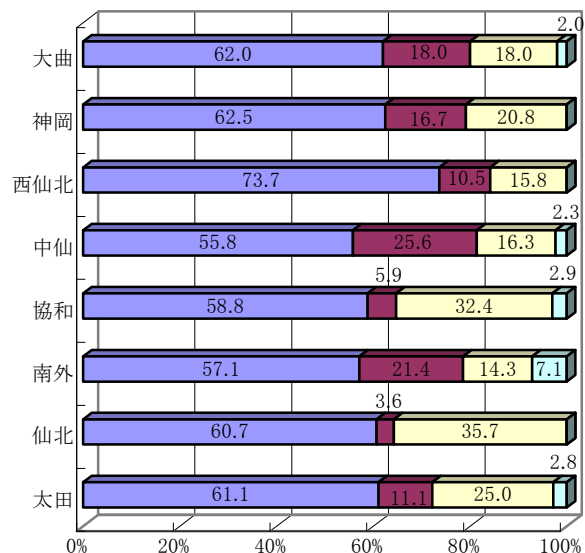


■肯定評価 ■否定評価 □どちらでもない □未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	93	27	27	3	150
神岡	15	4	5	0	24
西仙北	28	4	6	0	38
中仙	24	11	7	1	43
協和	20	2	11	1	34
南外	8	3	2	1	14
仙北	17	1	10	0	28
太田	22	4	9	1	36
地区未記入	0	0	1	1	2
計	227	56	78	8	369

地域別状況(%)



■肯定評価 ■否定評価 □どちらでもない □未記入

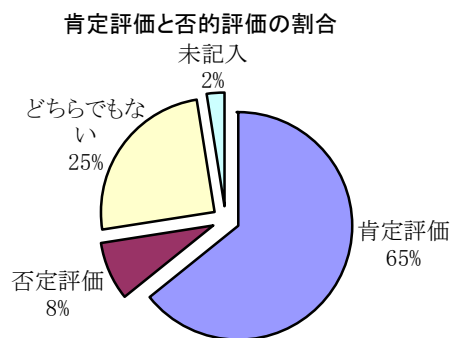
(4) 説明

- ・年代別では、『20,30歳代』の否定評価が他年代より非常に高くなっています。また、『40,50歳代』では、『どちらでもない』が非常に高くなっています。
- ・地域別では、西仙北地域で肯定評価が約74%で最も高く、否定評価は中仙地域で最も高くなっています。
- ・自由記載欄には、「子どもがいつも遊べる公園が近くにほしい。小さい公園でも各地域につくってほしい」や「親子で楽しめる設備がある公園がほしい」といった要望がありました。

5. 環境と調和し快適で安全に暮らせるまちづくりを進める（5-4 衛生環境の整備）

(1) 全体

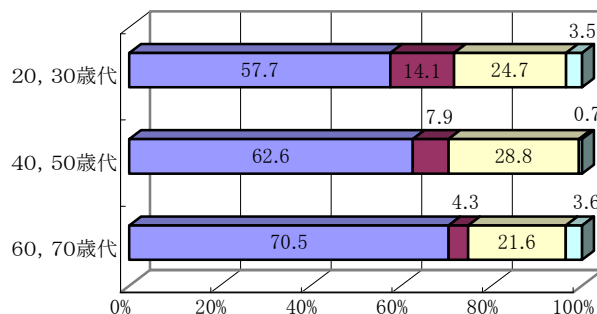
	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	237	31	92	9	369



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	49	12	21	3	85
40, 50歳代	87	11	40	1	139
60, 70歳代	98	6	30	5	139
年齢未記入	3	2	1	0	6
計	237	31	92	9	369

年代別状況(%)

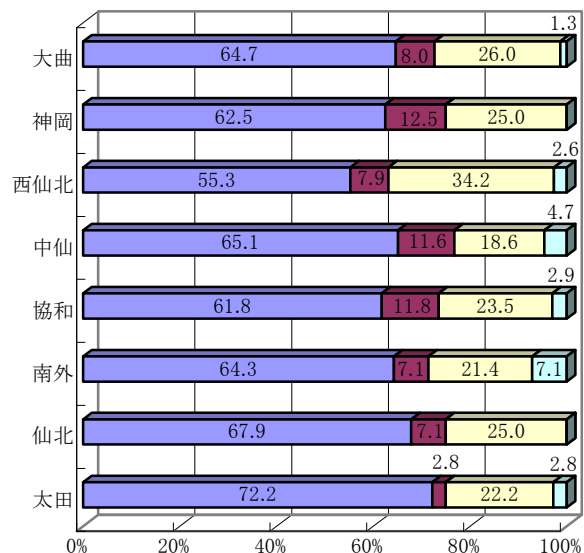


■肯定評価 ■否定評価 □どちらでもない □未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	97	12	39	2	150
神岡	15	3	6	0	24
西仙北	21	3	13	1	38
中仙	28	5	8	2	43
協和	21	4	8	1	34
南外	9	1	3	1	14
仙北	19	2	7	0	28
太田	26	1	8	1	36
地区未記入	1	0	0	1	2
計	237	31	92	9	369

地域別状況(%)



■肯定評価 ■否定評価 □どちらでもない □未記入

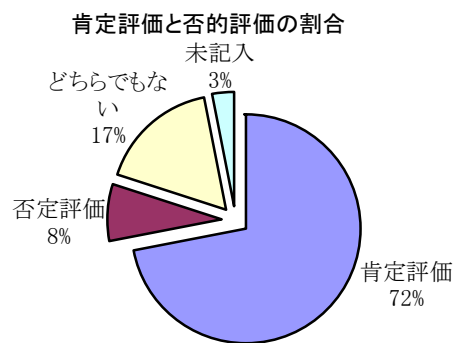
(4) 説明

- ・全体で肯定評価が65%であり、否定評価は8%にすぎません。
- ・年代別では、『60, 70歳代』で肯定評価が70%に達しており、最も高くなっています。
- ・自由記載欄には、「ゴミの分別やリサイクルに関する意識が同じ大仙市内であっても、地域差がかなりあるように感じるので、もっと市で積極的に指導してほしい」との意見があった。

5. 環境と調和し快適で安全に暮らせるまちづくりを進める（5-6 生活の安全、安心）

(1) 全体

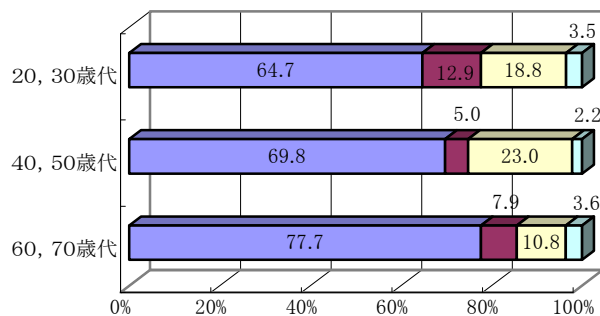
	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	265	30	63	11	369



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	55	11	16	3	85
40, 50歳代	97	7	32	3	139
60, 70歳代	108	11	15	5	139
年齢未記入	5	1	0	0	6
計	265	30	63	11	369

年代別状況(%)

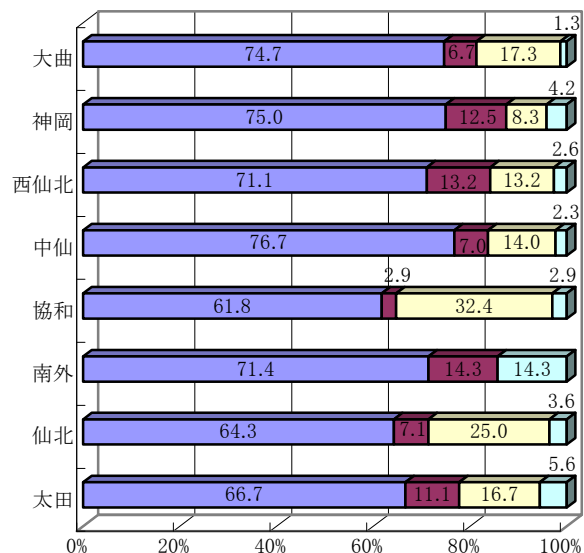


■肯定評価 ■否定評価 □どちらでもない □未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	112	10	26	2	150
神岡	18	3	2	1	24
西仙北	27	5	5	1	38
中仙	33	3	6	1	43
協和	21	1	11	1	34
南外	10	2	0	2	14
仙北	18	2	7	1	28
太田	24	4	6	2	36
地区未記入	2	0	0	0	2
計	265	30	63	11	369

地域別状況(%)



■肯定評価 ■否定評価 □どちらでもない □未記入

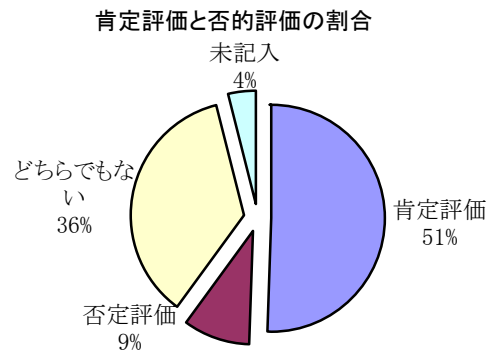
(4) 説明

- ・全体の肯定評価は70%を超えており、否定評価は8%にすぎません。
- ・年代別では、『60, 70歳代』で約78%の肯定評価を得ており、最も高くなっています。
- ・地域別では、全地域で60%以上の肯定評価を得ています。
- ・自由記載欄には、「子供たちの登下校の安全対策など、もっと行政で考えてほしい」や「消防団への支給物品が少なくなったような気がする。予算の都合上仕方ないのかもしれないが、あらゆる災害から市民を守るというのであれば、予算がないなどと言ってもらえないのではないか」等の意見がありました。

6. 仲間とふれあいともに活躍できるまちづくりを進める
(6-2 男女共同参画社会の形成)

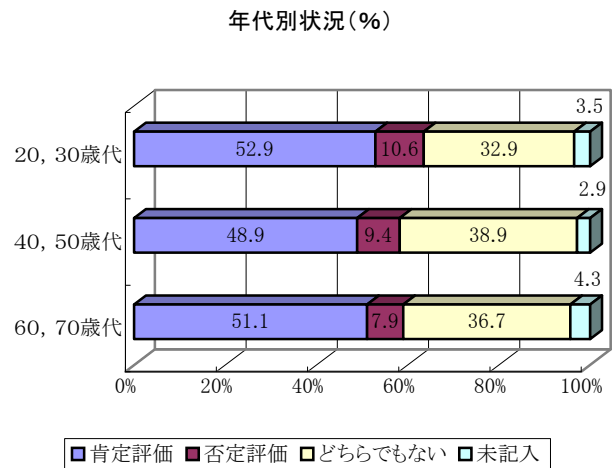
(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	187	34	134	14	369



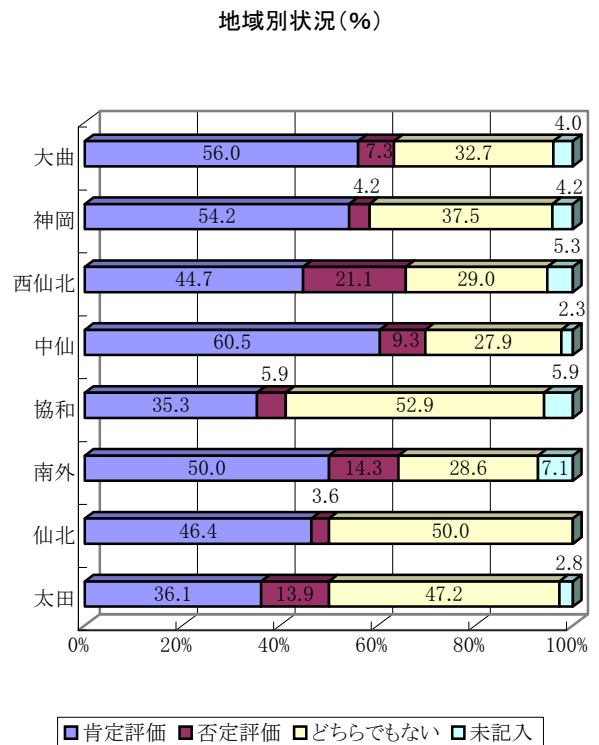
(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	45	9	28	3	85
40, 50歳代	68	13	54	4	139
60, 70歳代	71	11	51	6	139
年齢未記入	3	1	1	1	6
計	187	34	134	14	369



(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	84	11	49	6	150
神岡	13	1	9	1	24
西仙北	17	8	11	2	38
中仙	26	4	12	1	43
協和	12	2	18	2	34
南外	7	2	4	1	14
仙北	13	1	14	0	28
太田	13	5	17	1	36
地区未記入	2	0	0	0	2
計	187	34	134	14	369



(4) 説明

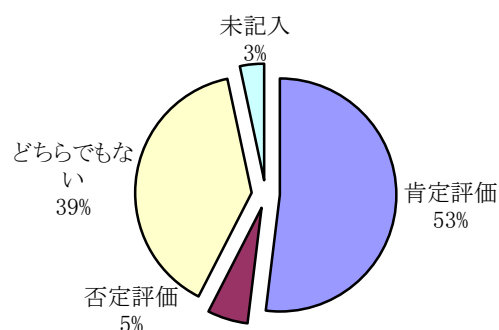
- ・全体の肯定評価は50%に達し、否定評価は9%にすぎませんが、『どちらでもない』が36%と非常に高くなっています。
- ・年代別では、『40,50歳代』で唯一、肯定評価が50%に達していません。
- ・地域別では、全地域で非常にばらつきのある結果となっています。
- ・自由記載欄には、「地域や年代によって男女共同参画の意識に大きな差があると思う」「年輩の方の意識改善がなるような取り組みも必要だと思う」「より女性が活躍できる場が増えていけばいいと思う」といった意見がありました。

6. 仲間とふれあいともに活躍できるまちづくりを進める（6-4 国際交流の促進）

(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	192	20	145	12	369

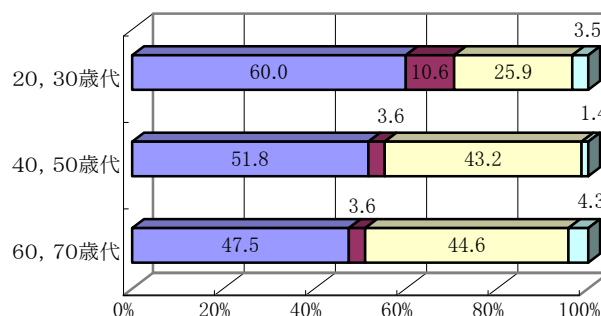
肯定評価と否定的評価の割合



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	51	9	22	3	85
40, 50歳代	72	5	60	2	139
60, 70歳代	66	5	62	6	139
年齢未記入	3	1	1	1	6
計	192	20	145	12	369

年代別状況(%)

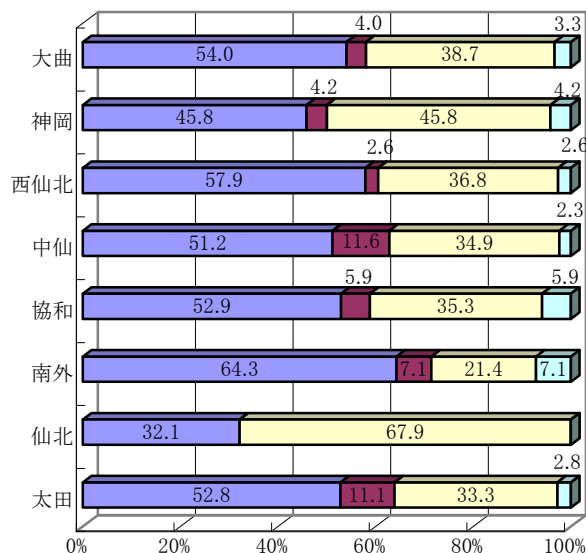


■肯定評価 ■否定評価 ■どちらでもない ■未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	81	6	58	5	150
神岡	11	1	11	1	24
西仙北	22	1	14	1	38
中仙	22	5	15	1	43
協和	18	2	12	2	34
南外	9	1	3	1	14
仙北	9	0	19	0	28
太田	19	4	12	1	36
地区未記入	1	0	1	0	2
計	192	20	145	12	369

地域別状況(%)



■肯定評価 ■否定評価 ■どちらでもない ■未記入

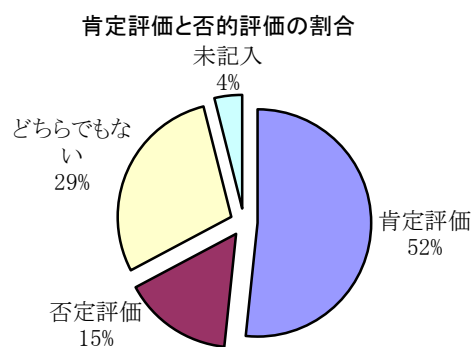
(4) 説明

- ・全体で肯定評価は50%に達しており、否定評価は5%にすぎませんが、『どちらでもない』が39%と非常に高くなっています。
- ・年代別では、『20,30歳代』で肯定評価が60%に達しているものの、年代が高くなるにつれ肯定評価は低くなり、『60,70歳代』では50%に達していません。
- ・地域別では、仙北地域で肯定評価が約32%と最も低く、『どちらでもない』が約68%と最も高くなっています。ただし、否定評価はありませんでした。

7. 計画の推進にあたって
(7-1 行政運営の効率化)

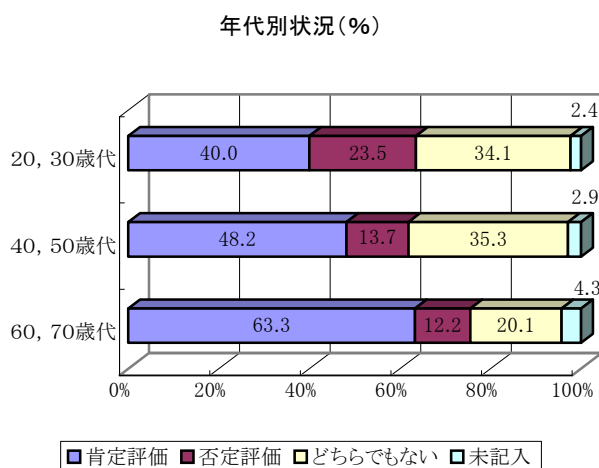
(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	191	57	107	14	369



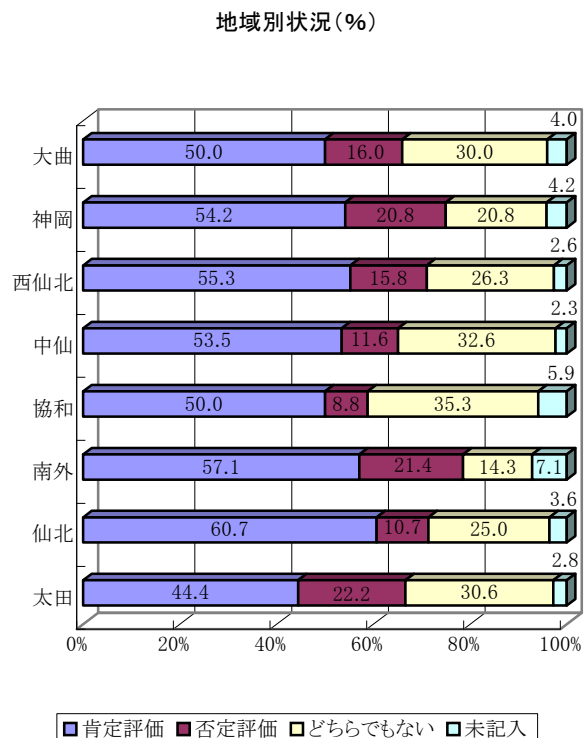
(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	34	20	29	2	85
40, 50歳代	67	19	49	4	139
60, 70歳代	88	17	28	6	139
年齢未記入	2	1	1	2	6
計	191	57	107	14	369



(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	75	24	45	6	150
神岡	13	5	5	1	24
西仙北	21	6	10	1	38
中仙	23	5	14	1	43
協和	17	3	12	2	34
南外	8	3	2	1	14
仙北	17	3	7	1	28
太田	16	8	11	1	36
地区未記入	1	0	1	0	2
計	191	57	107	14	369



(4) 説明

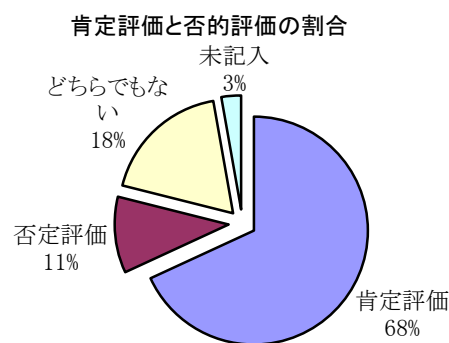
- ・全体で肯定評価52%、否定評価15%、『どちらでもない』29%となっています。
- ・年代別では、年代が高くなるにつれ肯定評価も高くなっています。『20, 30歳代』の肯定評価は40%にとどまっています。
- ・地域別では、太田地域以外で肯定評価が50%を超えています。

【2】事業別の有効性について

1-1. 健康づくり推進事業

(1) 全体

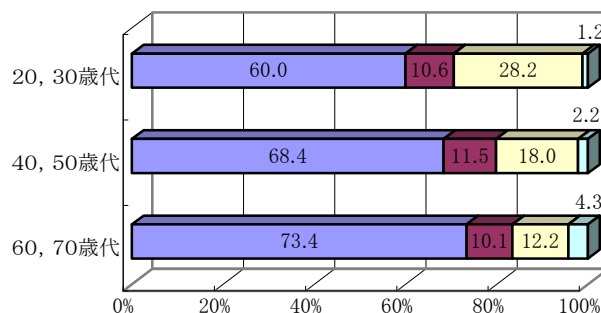
	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	251	40	68	10	369



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	51	9	24	1	85
40, 50歳代	95	16	25	3	139
60, 70歳代	102	14	17	6	139
年齢未記入	3	1	2	0	6
計	251	40	68	10	369

年代別状況(%)

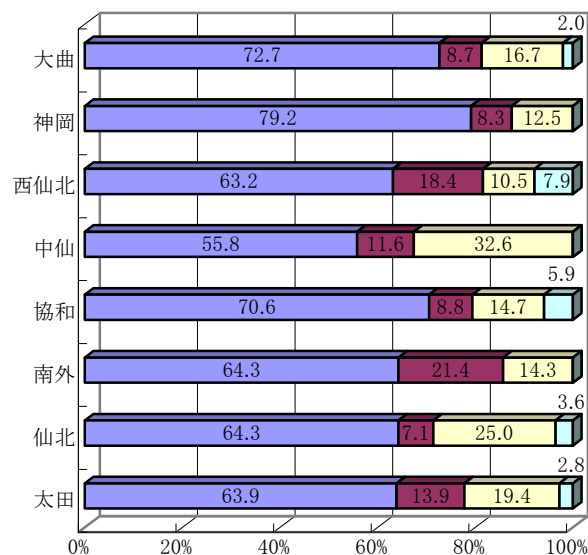


■ 肯定評価 ■ 否定評価 □ どちらでもない □ 未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	109	13	25	3	150
神岡	19	2	3	0	24
西仙北	24	7	4	3	38
中仙	24	5	14	0	43
協和	24	3	5	2	34
南外	9	3	2	0	14
仙北	18	2	7	1	28
太田	23	5	7	1	36
地区未記入	1	0	1	0	2
計	251	40	68	10	369

地域別状況(%)



■ 肯定評価 ■ 否定評価 □ どちらでもない □ 未記入

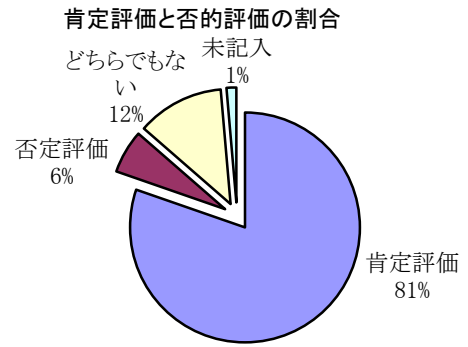
(4) 説明

- ・全体で68%の肯定評価を得ています。
- ・年代別では、『60,70歳代』の肯定評価が約73%で最も高くなっています。
- ・地域別では、中仙地域を除いては60%以上の肯定評価となっています。
- ・自由記載欄には、「薬物を毎日使うことは、心配で仕方ない」「フッ素洗口については、歯科医師の意見も割れているのに実施するのは疑問だ」等、フッ素による人体の影響を心配する意見が多くありました。

1-2. 母子保健事業

(1) 全体

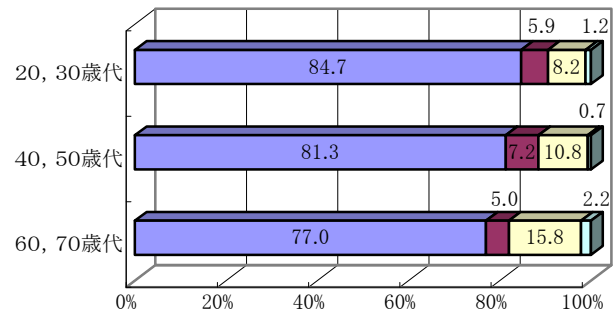
	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	296	23	45	5	369



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	72	5	7	1	85
40, 50歳代	113	10	15	1	139
60, 70歳代	107	7	22	3	139
年齢未記入	4	1	1	0	6
計	296	23	45	5	369

年代別状況 (%)

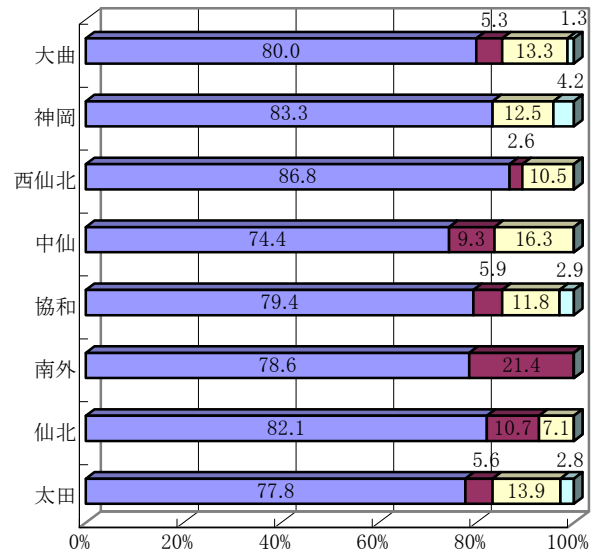


■ 肯定評価 ■ 否定評価 □ どちらでもない □ 未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	120	8	20	2	150
神岡	20	0	3	1	24
西仙北	33	1	4	0	38
中仙	32	4	7	0	43
協和	27	2	4	1	34
南外	11	3	0	0	14
仙北	23	3	2	0	28
太田	28	2	5	1	36
地区未記入	2	0	0	0	2
計	296	23	45	5	369

地域別状況 (%)



■ 肯定評価 ■ 否定評価 □ どちらでもない □ 未記入

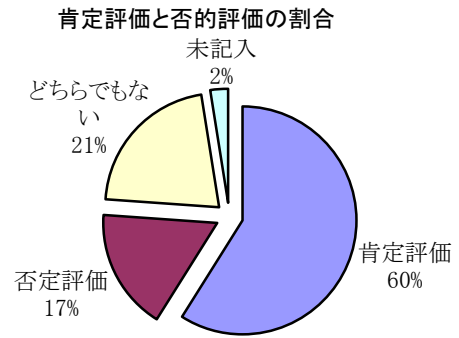
(4) 説明

- ・全体で81%の肯定評価を得ており、否定評価は6%にすぎません。
- ・年代別では、『20, 30歳代』の肯定評価が約85%で最も高く、否定評価は全年代で10%以内となっています。
- ・地域別では、全地域で70%以上の肯定評価となっています。

1-3. 父子手当支給事業

(1) 全体

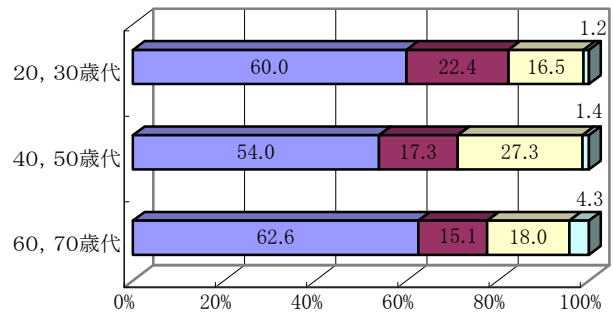
	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	217	64	79	9	369



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	51	19	14	1	85
40, 50歳代	75	24	38	2	139
60, 70歳代	87	21	25	6	139
年齢未記入	4	0	2	0	6
計	217	64	79	9	369

年代別状況(%)

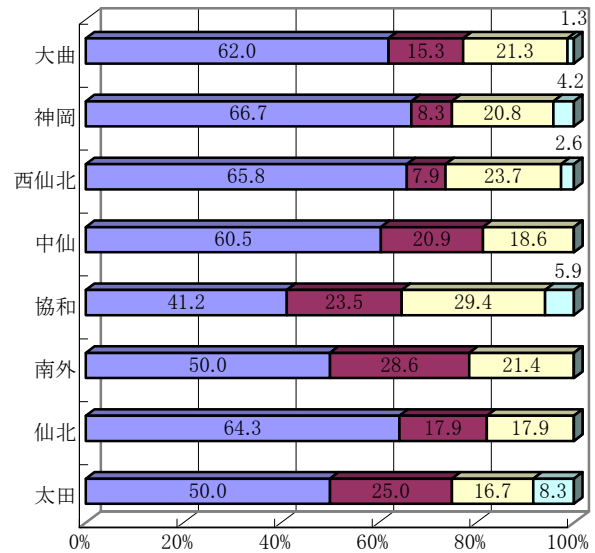


■肯定評価 ■否定評価 □どちらでもない □未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	93	23	32	2	150
神岡	16	2	5	1	24
西仙北	25	3	9	1	38
中仙	26	9	8	0	43
協和	14	8	10	2	34
南外	7	4	3	0	14
仙北	18	5	5	0	28
太田	18	9	6	3	36
地区未記入	0	1	1	0	2
計	217	64	79	9	369

地域別状況(%)



■肯定評価 ■否定評価 □どちらでもない □未記入

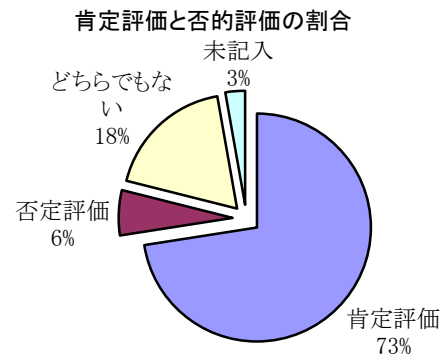
(4) 説明

- ・全体で否定評価が17%、『どちらでもない』が21%となっています。
- ・年代別では、『40, 50歳代』で唯一、肯定評価が60%に達しておらず、否定評価は『20, 30歳代』のみ20%を超えています。
- ・地域別では、協和地域で肯定評価が約41%と最も低くなっています。
- ・自由記載欄には、「母子だけが優遇されていると思っていたので、父子にも同様の支援は良いことだと思う」「月額5千円支給するよりは、別の対策を考えた方がよい」といった意見がありました。

1-4. 市単独介護サービス事業

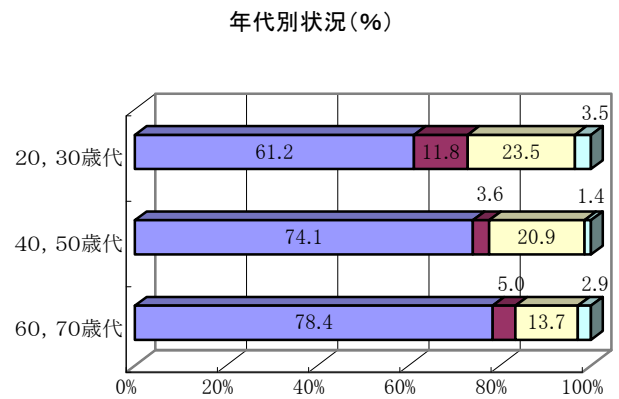
(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	268	23	68	10	369



(2) 年代別

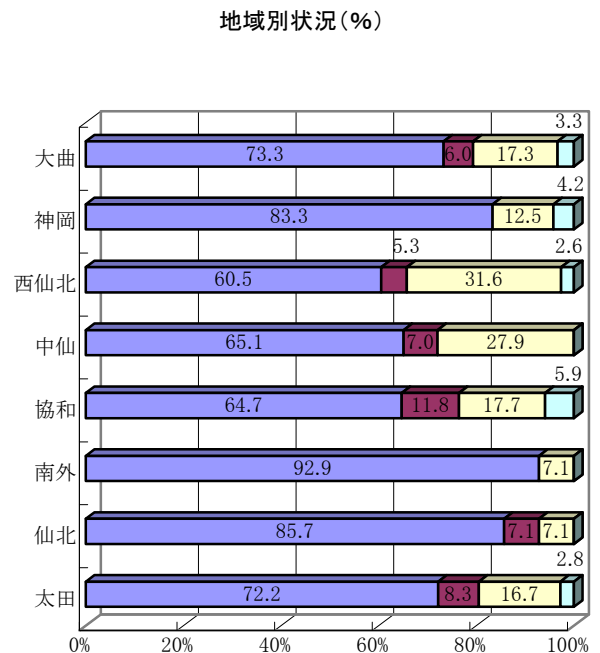
	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	52	10	20	3	85
40, 50歳代	103	5	29	2	139
60, 70歳代	109	7	19	4	139
年齢未記入	4	1	0	1	6
計	268	23	68	10	369



■ 肯定評価 ■ 否定評価 □ どちらでもない □ 未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	110	9	26	5	150
神岡	20	0	3	1	24
西仙北	23	2	12	1	38
中仙	28	3	12	0	43
協和	22	4	6	2	34
南外	13	0	1	0	14
仙北	24	2	2	0	28
太田	26	3	6	1	36
地区未記入	2	0	0	0	2
計	268	23	68	10	369



■ 肯定評価 ■ 否定評価 □ どちらでもない □ 未記入

(4) 説明

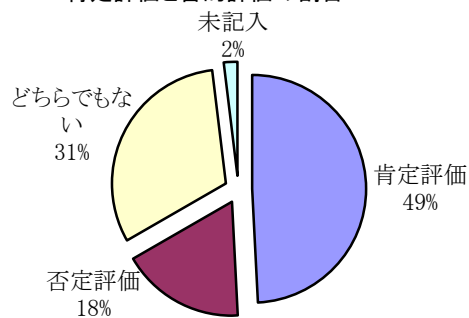
- ・全体の肯定評価が70%を超えており、否定評価は6%にすぎません。
- ・年代別では、年代が高くなるにつれて肯定評価も高くなっています。
- ・地域別では、全地域で60%以上の肯定評価となっています。

1-4. 敬老の日事業

(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	181	65	116	7	369

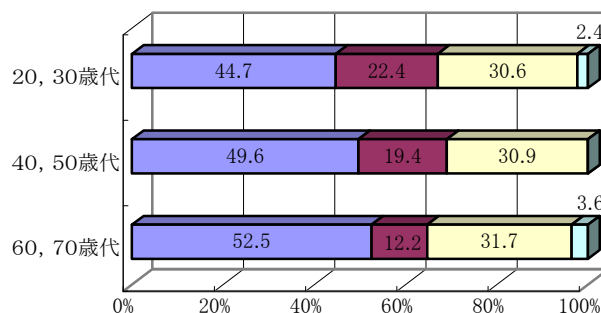
肯定評価と否定的評価の割合



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	38	19	26	2	85
40, 50歳代	69	27	43	0	139
60, 70歳代	73	17	44	5	139
年齢未記入	1	2	3	0	6
計	181	65	116	7	369

年代別状況(%)

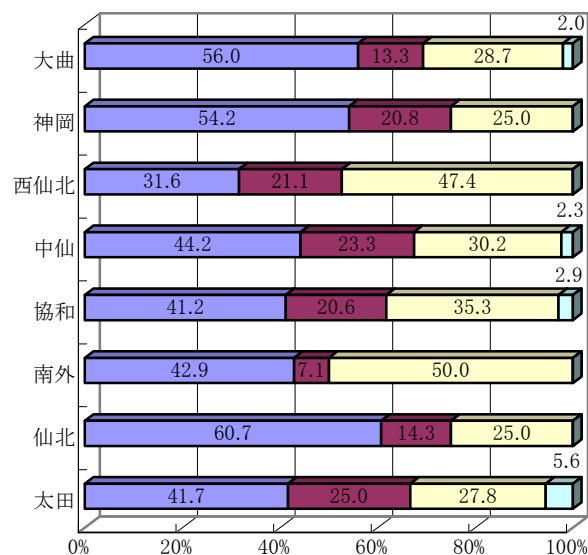


■肯定評価 ■否定評価 □どちらでもない □未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	84	20	43	3	150
神岡	13	5	6	0	24
西仙北	12	8	18	0	38
中仙	19	10	13	1	43
協和	14	7	12	1	34
南外	6	1	7	0	14
仙北	17	4	7	0	28
太田	15	9	10	2	36
地区未記入	1	1	0	0	2
計	181	65	116	7	369

地域別状況(%)



■肯定評価 ■否定評価 □どちらでもない □未記入

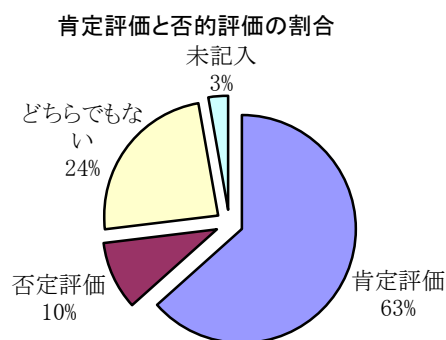
(4) 説明

- ・全体の肯定評価が50%に達していません。
- ・年代別では、『60,70歳代』で肯定評価が50%を超えていますが、他年代では40%台にとどまっています。
- ・地域別では、肯定評価、否定評価、『どちらでもない』の割合について、全地域で非常にばらつきのある結果となっています。

2-1. 学習度定着調査事業

(1) 全体

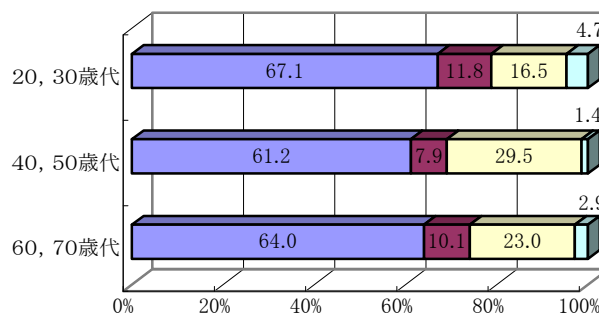
	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	234	36	89	10	369



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	57	10	14	4	85
40, 50歳代	85	11	41	2	139
60, 70歳代	89	14	32	4	139
年齢未記入	3	1	2	0	6
計	234	36	89	10	369

年代別状況 (%)

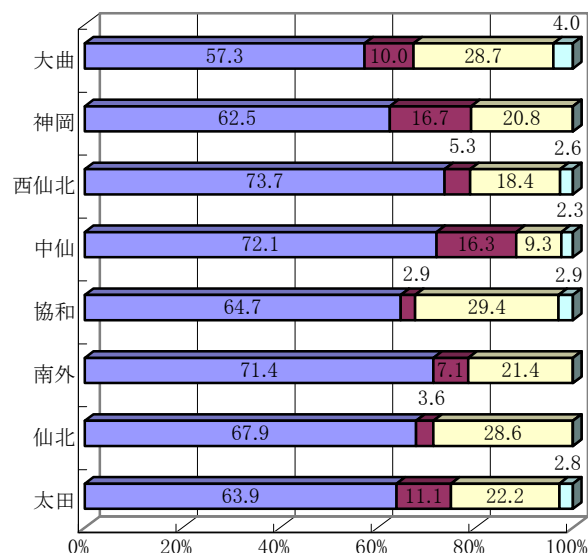


■ 肯定評価 ■ 否定評価 □ どちらでもない □ 未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	86	15	43	6	150
神岡	15	4	5	0	24
西仙北	28	2	7	1	38
中仙	31	7	4	1	43
協和	22	1	10	1	34
南外	10	1	3	0	14
仙北	19	1	8	0	28
太田	23	4	8	1	36
地区未記入	0	1	1	0	2
計	234	36	89	10	369

地域別状況 (%)



■ 肯定評価 ■ 否定評価 □ どちらでもない □ 未記入

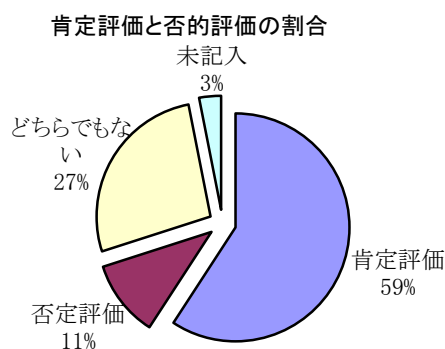
(4) 説明

- ・全体で『どちらでもない』が、24%と高くなっています。
- ・年代別では、『20, 30歳代』の肯定評価が約67%で最も高くなっています。
- ・地域別では、大曲地域で唯一、肯定評価が60%に達していません。
- ・自由記載欄には、「ゆとり教育から転じて、学習の基礎力の定着を図る取り組みはとても良いことだと思う」といった意見がありました。

2-1 普通建設事業
(協和統合小学校建築工事、市内小学校
冷房化工事等)

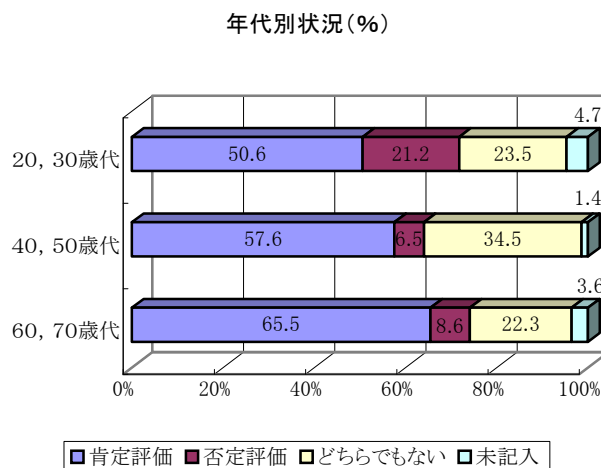
(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	218	40	100	11	369



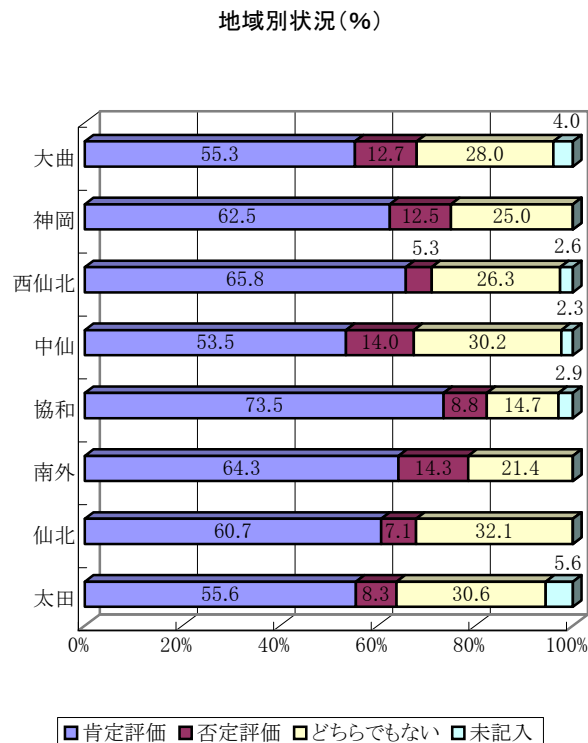
(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	43	18	20	4	85
40, 50歳代	80	9	48	2	139
60, 70歳代	91	12	31	5	139
年齢未記入	4	1	1	0	6
計	218	40	100	11	369



(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	83	19	42	6	150
神岡	15	3	6	0	24
西仙北	25	2	10	1	38
中仙	23	6	13	1	43
協和	25	3	5	1	34
南外	9	2	3	0	14
仙北	17	2	9	0	28
太田	20	3	11	2	36
地区未記入	1	0	1	0	2
計	218	40	100	11	369



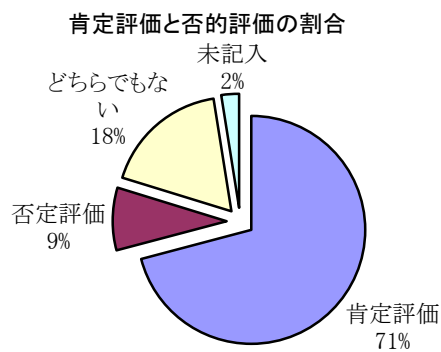
(4) 説明

- ・年代別の肯定評価は、『20, 30歳代』が最も低く、逆に否定評価は最も高くなっています。
- ・地域別では、協和地域で唯一、肯定評価が70%を超えています。
- ・自由記載欄には、「小学校の冷暖房設置より、もっとお金を掛けるべきものがあると思う」や「職員室に冷房はいらない」といった意見や「統合するだけでなく、歴史や伝統、地域性も考慮して小中統合一貫校の設置も検討すべきだ」といった意見もありました。

2-2. 放課後子ども教室推進事業

(1) 全体

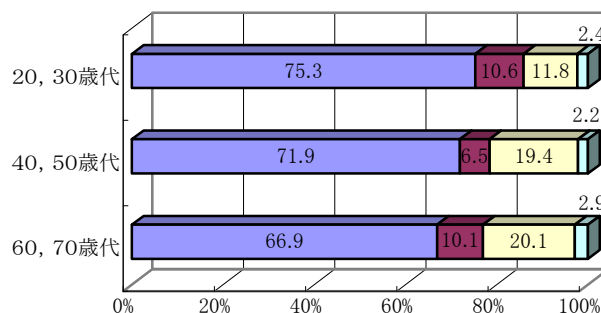
	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	261	33	66	9	369



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	64	9	10	2	85
40, 50歳代	100	9	27	3	139
60, 70歳代	93	14	28	4	139
年齢未記入	4	1	1	0	6
計	261	33	66	9	369

年代別状況 (%)

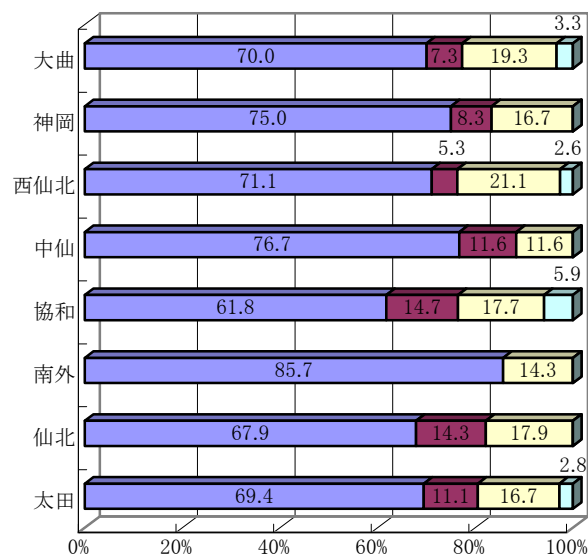


■ 肯定評価 ■ 否定評価 □ どちらでもない □ 未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	105	11	29	5	150
神岡	18	2	4	0	24
西仙北	27	2	8	1	38
中仙	33	5	5	0	43
協和	21	5	6	2	34
南外	12	0	2	0	14
仙北	19	4	5	0	28
太田	25	4	6	1	36
地区未記入	1	0	1	0	2
計	261	33	66	9	369

地域別状況 (%)



■ 肯定評価 ■ 否定評価 □ どちらでもない □ 未記入

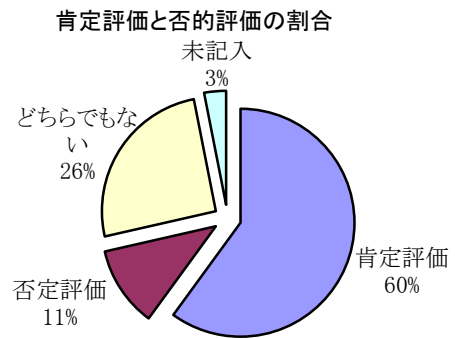
(4) 説明

- ・全体で肯定評価が70%に達しており、否定評価は9%にすぎません。
- ・年代別では、『20, 30歳代』の肯定評価が約75%で最も高くなっています。
- ・地域別では、全地域で60%以上の肯定評価を得ており、特に南外地域では約86%と高い評価となっています。
- ・自由記載欄には、「放課後子供教室は、全員が参加するとは限らないので、全員が参加でき、かつ身になることに対して予算を使うべきだ」という意見がありました。

2-5. 非核平和都市宣言事業

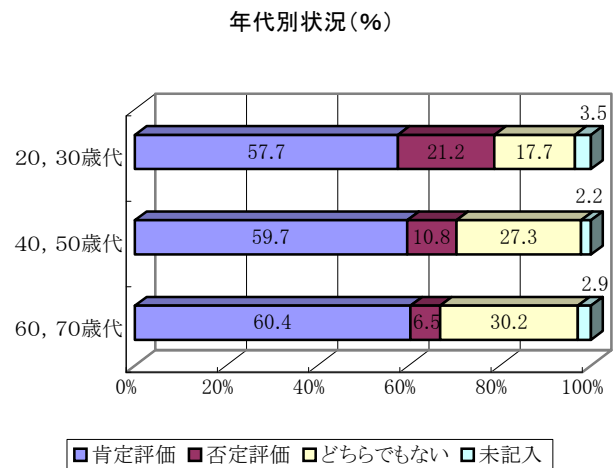
(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	221	42	95	11	369



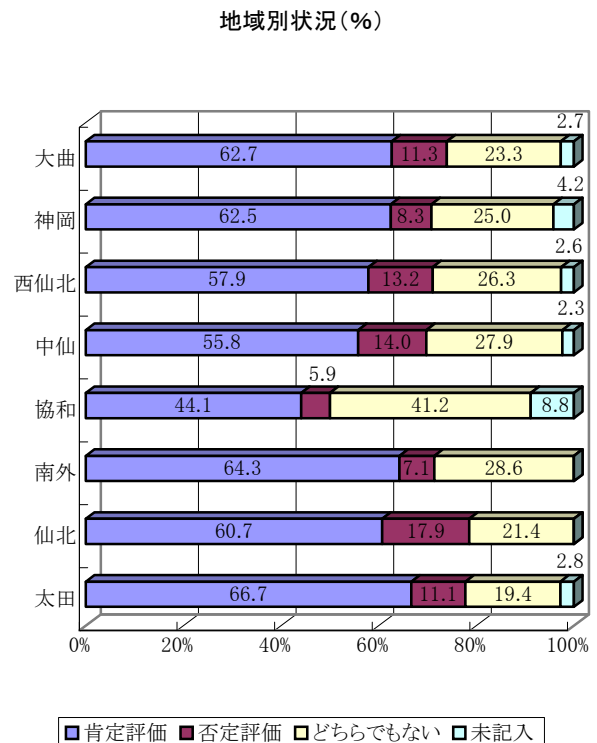
(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	49	18	15	3	85
40, 50歳代	83	15	38	3	139
60, 70歳代	84	9	42	4	139
年齢未記入	5	0	0	1	6
計	221	42	95	11	369



(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	94	17	35	4	150
神岡	15	2	6	1	24
西仙北	22	5	10	1	38
中仙	24	6	12	1	43
協和	15	2	14	3	34
南外	9	1	4	0	14
仙北	17	5	6	0	28
太田	24	4	7	1	36
地区未記入	1	0	1	0	2
計	221	42	95	11	369



(4) 説明

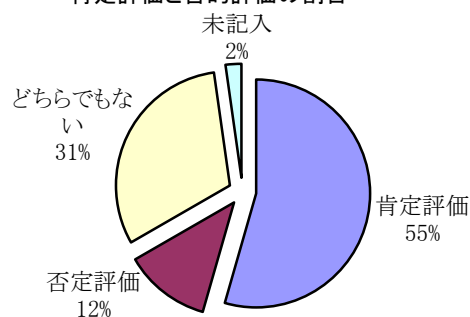
- ・全体で肯定評価60%、否定評価11%、『どちらでもない』26%となっています。
- ・年代別では、『20, 30歳代』の否定評価が20%に達し、他年代に比べ高くなっています。
- ・地域別の肯定評価は、太田地域が最も高く、逆に協和地域が最も低くなっており唯一、50%に達していません。また、協和地域では、『どちらでもない』が他地域より大幅に高くなっています。
- ・自由記載欄には、「平和レポーターの派遣については、将来20~30歳代にも範囲を広げてほしい。いろんな場で体験報告を公表してもらえたらと思う」という意見がありました。

3-1. 目指せ”元気な担い手”農業夢プラン 応援事業

(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	201	45	115	8	369

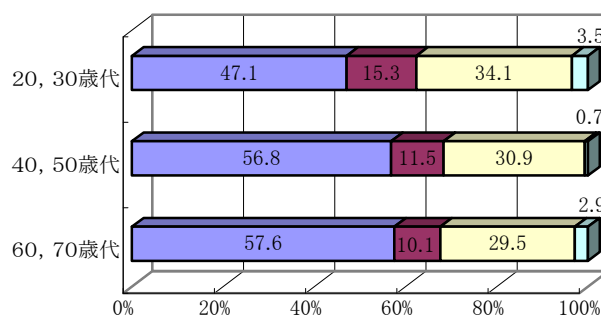
肯定評価と否定的評価の割合



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	40	13	29	3	85
40, 50歳代	79	16	43	1	139
60, 70歳代	80	14	41	4	139
年齢未記入	2	2	2	0	6
計	201	45	115	8	369

年代別状況(%)

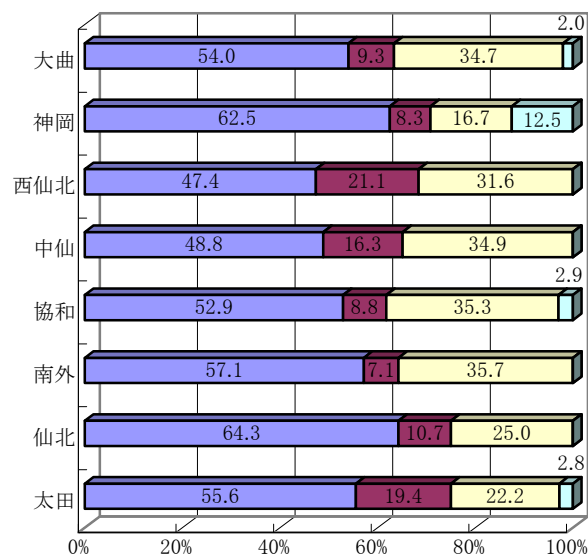


■肯定評価 ■否定評価 □どちらでもない □未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	81	14	52	3	150
神岡	15	2	4	3	24
西仙北	18	8	12	0	38
中仙	21	7	15	0	43
協和	18	3	12	1	34
南外	8	1	5	0	14
仙北	18	3	7	0	28
太田	20	7	8	1	36
地区未記入	2	0	0	0	2
計	201	45	115	8	369

地域別状況(%)



■肯定評価 ■否定評価 □どちらでもない □未記入

(4) 説明

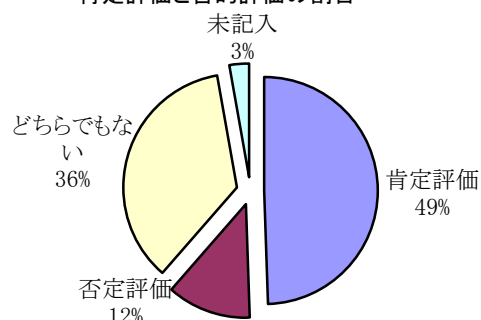
- ・全体で肯定評価が50%には達していませんが、『どちらでもない』が31%と高くなっています。
- ・地域別では、西仙北と中仙地域で、肯定評価が50%に達していません。
- ・自由記載欄には、「農家の方が意欲に繋がる施策であればいい。活字だけが一人歩きしないような取り組みであってほしい」「認定農業者の方は、小規模農業者にも声を掛けて相談して立ち上げてほしい」といった意見がありました。

3-1. 県営土地改良事業（負担金）

(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	182	45	132	10	369

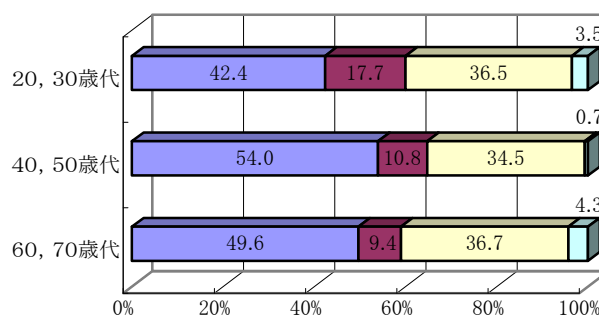
肯定評価と否定的評価の割合



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	36	15	31	3	85
40, 50歳代	75	15	48	1	139
60, 70歳代	69	13	51	6	139
年齢未記入	2	2	2	0	6
計	182	45	132	10	369

年代別状況(%)

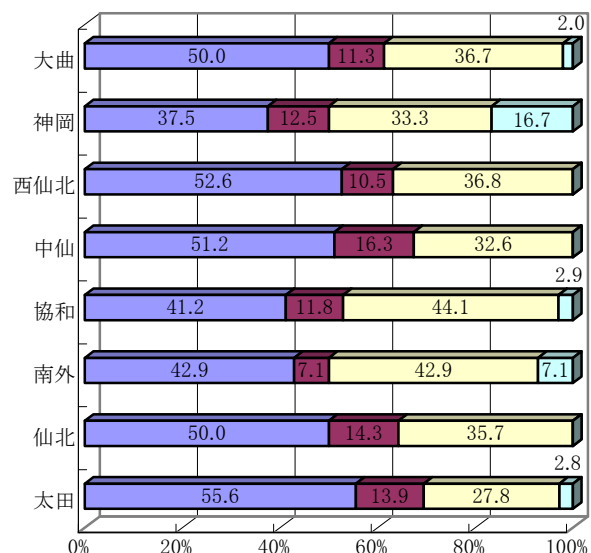


■肯定評価 ■否定評価 □どちらでもない □未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	75	17	55	3	150
神岡	9	3	8	4	24
西仙北	20	4	14	0	38
中仙	22	7	14	0	43
協和	14	4	15	1	34
南外	6	1	6	1	14
仙北	14	4	10	0	28
太田	20	5	10	1	36
地区未記入	2	0	0	0	2
計	182	45	132	10	369

地域別状況(%)



■肯定評価 ■否定評価 □どちらでもない □未記入

(4) 説明

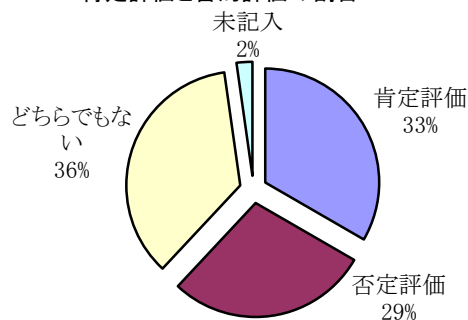
- ・全体で肯定評価が50%に達しておらず、『どちらでもない』が36%と高くなっています。
- ・年代別では、『40, 50歳代』の肯定評価が50%に達していますが、他年代では40%台にとどまっています。
- ・地域別では、神岡地域で肯定評価が唯一、40%に達していません。また、協和と南外地域で『どちらでもない』が40%台と高くなっています。

3-2. 地域商店等活性化支援事業

(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	123	106	132	8	369

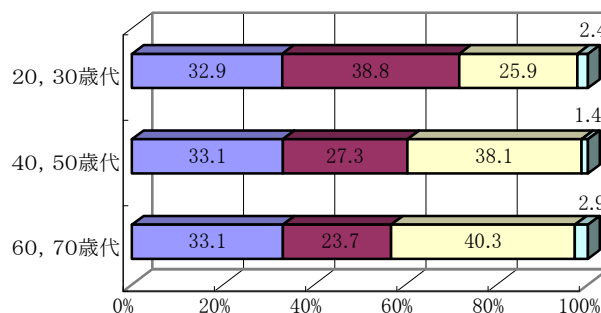
肯定評価と否定的評価の割合



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	28	33	22	2	85
40, 50歳代	46	38	53	2	139
60, 70歳代	46	33	56	4	139
年齢未記入	3	2	1	0	6
計	123	106	132	8	369

年代別状況(%)

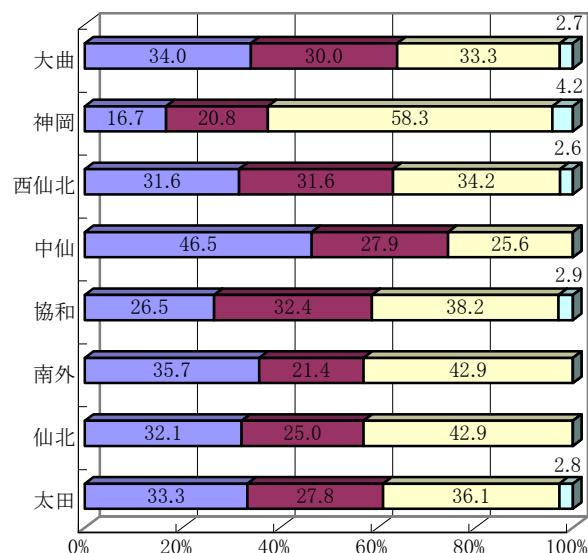


■肯定評価 ■否定評価 □どちらでもない □未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	51	45	50	4	150
神岡	4	5	14	1	24
西仙北	12	12	13	1	38
中仙	20	12	11	0	43
協和	9	11	13	1	34
南外	5	3	6	0	14
仙北	9	7	12	0	28
太田	12	10	13	1	36
地区未記入	1	1	0	0	2
計	123	106	132	8	369

地域別状況(%)



■肯定評価 ■否定評価 □どちらでもない □未記入

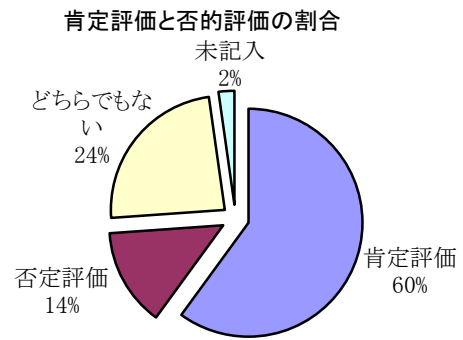
(4) 説明

- ・全体で否定評価が29%、『どちらでもない』は36%と高く、肯定評価は33%にとどまっており、非常に厳しい結果となっています。
- ・年代別の否定評価は、『20, 30歳代』で最も高くなっています。
- ・地域別では、肯定評価が50%に達している地域がありません。
- ・自由記載欄には、「30万円の補助交付をしても購買力の底上げと消費拡大に繋がるか疑問だ」等の否定的意見が多くありました。

3-3. 物産品流通化事業

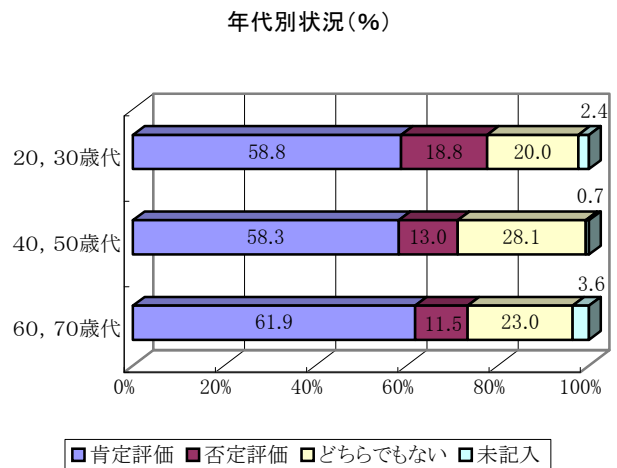
(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	221	52	88	8	369



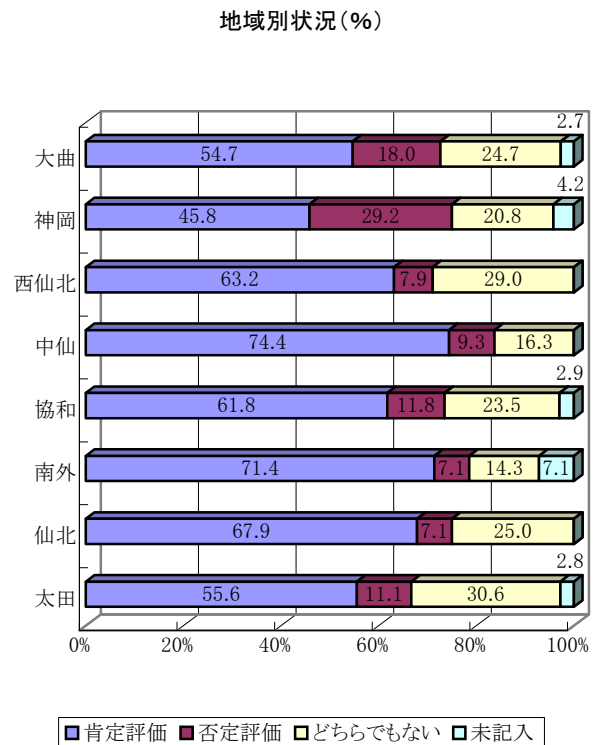
(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	50	16	17	2	85
40, 50歳代	81	18	39	1	139
60, 70歳代	86	16	32	5	139
年齢未記入	4	2	0	0	6
計	221	52	88	8	369



(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	82	27	37	4	150
神岡	11	7	5	1	24
西仙北	24	3	11	0	38
中仙	32	4	7	0	43
協和	21	4	8	1	34
南外	10	1	2	1	14
仙北	19	2	7	0	28
太田	20	4	11	1	36
地区未記入	2	0	0	0	2
計	221	52	88	8	369



(4) 説明

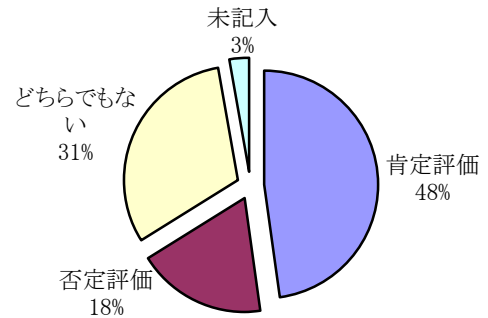
- ・年代別では、全年代で全割合が似かよった結果となっています。
- ・地域別では、神岡地域で唯一、肯定評価が50%に達しておらず、否定評価は最も高くなっています。また、中仙と南外地域は、肯定評価が70%を超えています。
- ・自由記載欄には、「地域別のマップやオススメを記したものがあればよい」「県内外のイベントに参加するほかに、大仙市内で行われる各イベント、行事に特産品を紹介、販売する場を設けてはどうか。ネットの活用も必要」といった意見がありました。

3-4. 大仙市雇用助成金

(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	176	68	115	10	369

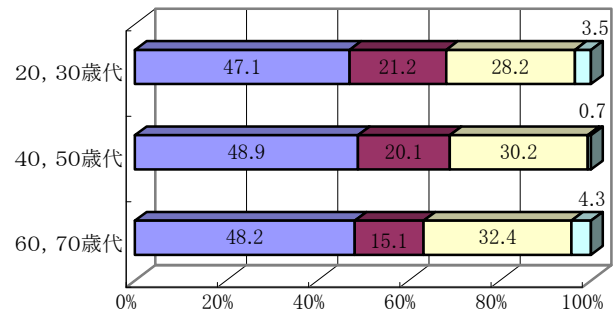
肯定評価と否定的評価の割合



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	40	18	24	3	85
40, 50歳代	68	28	42	1	139
60, 70歳代	67	21	45	6	139
年齢未記入	1	1	4	0	6
計	176	68	115	10	369

年代別状況 (%)

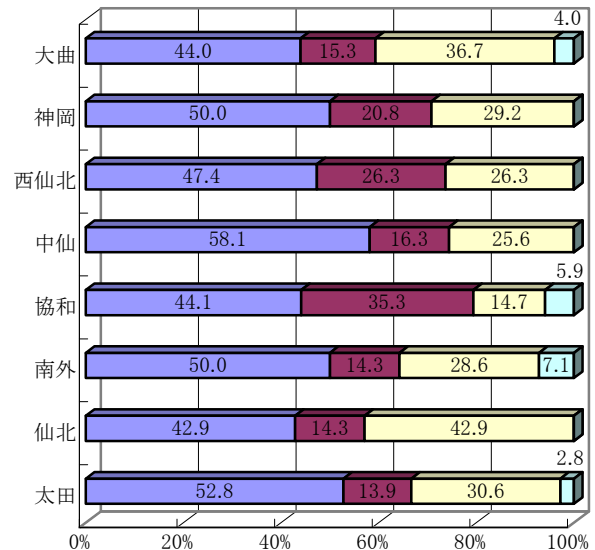


■ 肯定評価 ■ 否定評価 □ どちらでもない □ 未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	66	23	55	6	150
神岡	12	5	7	0	24
西仙北	18	10	10	0	38
中仙	25	7	11	0	43
協和	15	12	5	2	34
南外	7	2	4	1	14
仙北	12	4	12	0	28
太田	19	5	11	1	36
地区未記入	2	0	0	0	2
計	176	68	115	10	369

地域別状況 (%)



■ 肯定評価 ■ 否定評価 □ どちらでもない □ 未記入

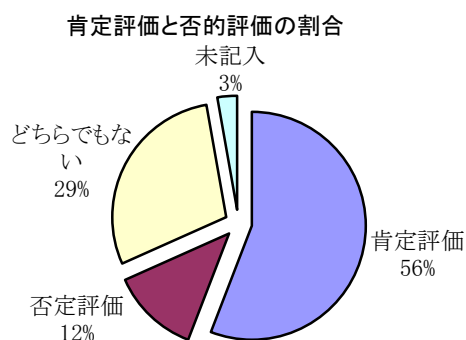
(4) 説明

- ・全体で肯定評価が48%にとどまっており、厳しい結果となっています。
- ・年代別では、全年代で肯定、否定、『どちらでもない』の割合が似かよった結果になっています。
- ・地域別では、肯定評価が60%に達している地域はありません。協和地域の否定評価は、他地域と比べ大幅に高くなっています。

4-1. 道路新設改良事業

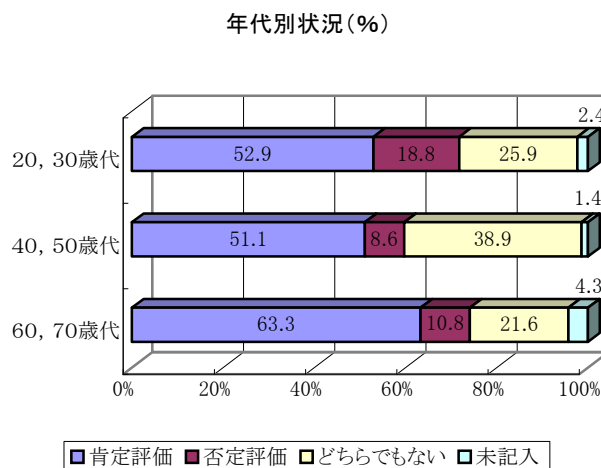
(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	206	46	107	10	369



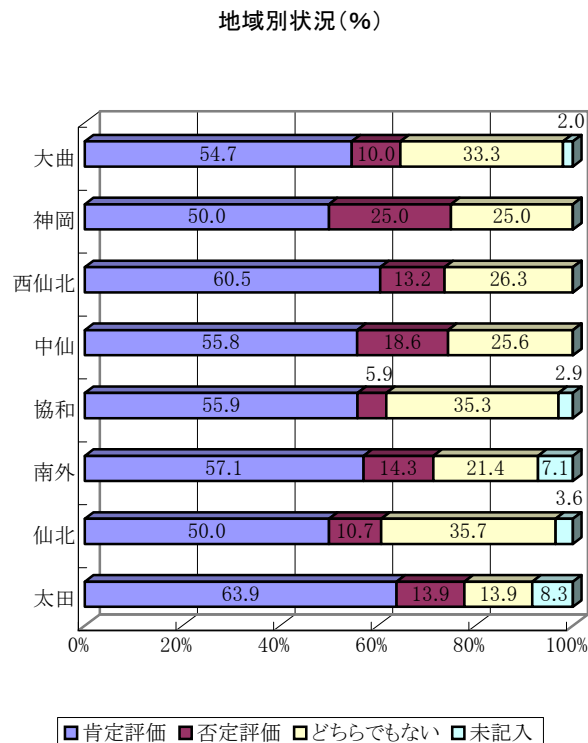
(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	45	16	22	2	85
40, 50歳代	71	12	54	2	139
60, 70歳代	88	15	30	6	139
年齢未記入	2	3	1	0	6
計	206	46	107	10	369



(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	82	15	50	3	150
神岡	12	6	6	0	24
西仙北	23	5	10	0	38
中仙	24	8	11	0	43
協和	19	2	12	1	34
南外	8	2	3	1	14
仙北	14	3	10	1	28
太田	23	5	5	3	36
地区未記入	1	0	0	1	2
計	206	46	107	10	369



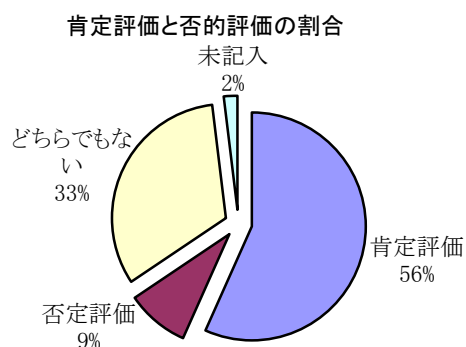
(4) 説明

- ・全体の肯定評価は56%得ていますが、『どちらでもない』が29%と高くなっています。
- ・年代別では、『60,70歳代』の肯定評価が約63%で最も高くなっています。
- ・地域別では、全地域で肯定評価が50%を超えていますが、60%に達しているのは西仙北と太田の2地域のみとなっています。

4-2. 地域交通対策検討事業

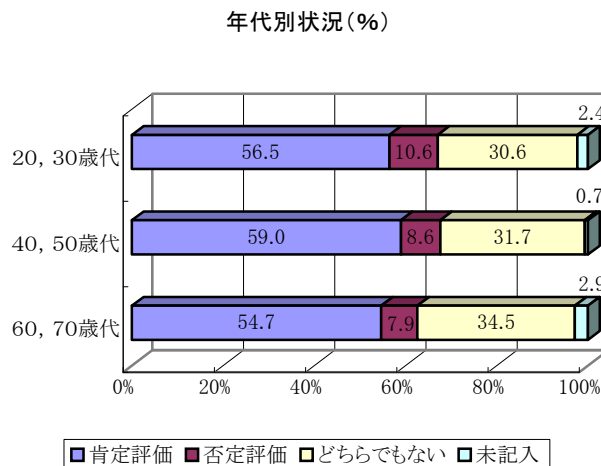
(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	209	33	120	7	369



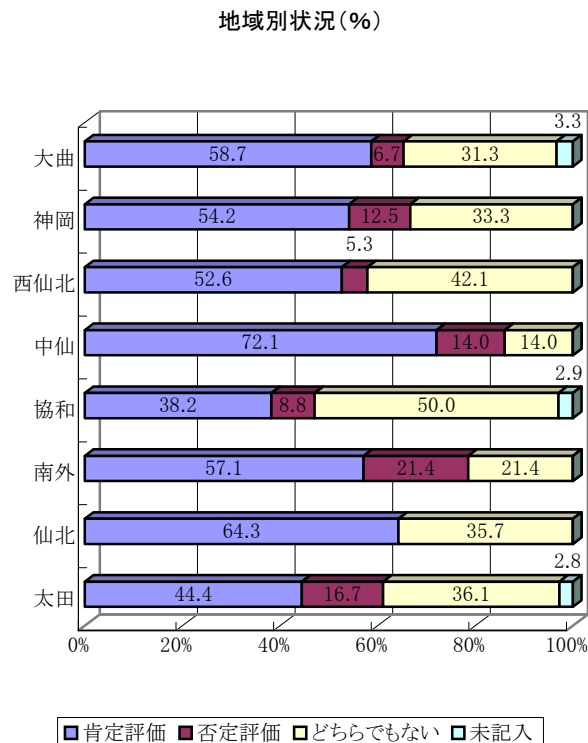
(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	48	9	26	2	85
40, 50歳代	82	12	44	1	139
60, 70歳代	76	11	48	4	139
年齢未記入	3	1	2	0	6
計	209	33	120	7	369



(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	88	10	47	5	150
神岡	13	3	8	0	24
西仙北	20	2	16	0	38
中仙	31	6	6	0	43
協和	13	3	17	1	34
南外	8	3	3	0	14
仙北	18	0	10	0	28
太田	16	6	13	1	36
地区未記入	2	0	0	0	2
計	209	33	120	7	369



(4) 説明

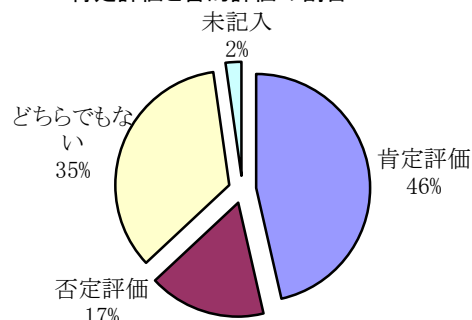
- ・全体で否定評価は9%にすぎませんが、『どちらでもない』が33%と高くなっています。
- ・年代別では、全年代で似かよった結果となっています。
- ・地域別では、協和と太田の2地域で肯定評価が50%に達していません。また、各地域ごとにばらつきのある結果となっています。

4-3. まちづくり交付金事業

(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	171	62	128	8	369

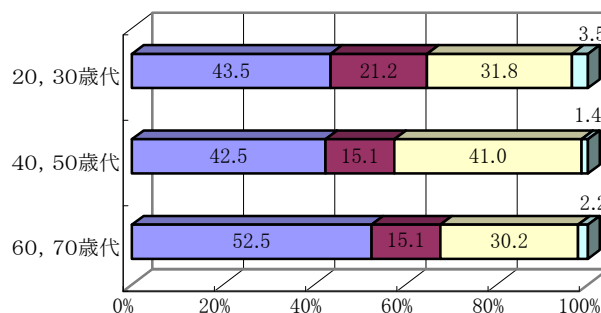
肯定評価と否定的評価の割合



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	37	18	27	3	85
40, 50歳代	59	21	57	2	139
60, 70歳代	73	21	42	3	139
年齢未記入	2	2	2	0	6
計	171	62	128	8	369

年代別状況(%)

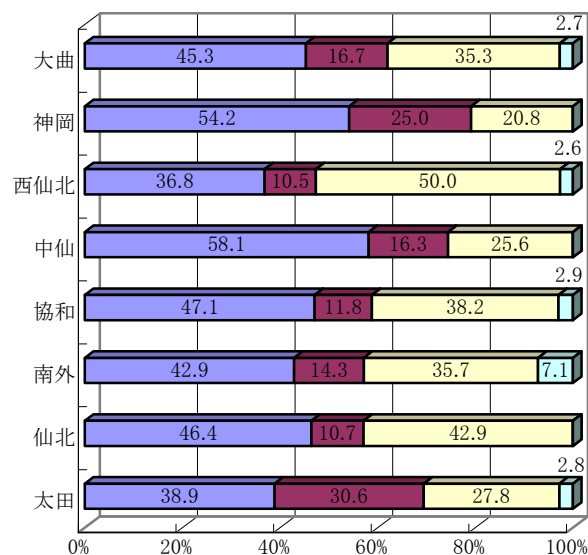


■肯定評価 ■否定評価 □どちらでもない □未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	68	25	53	4	150
神岡	13	6	5	0	24
西仙北	14	4	19	1	38
中仙	25	7	11	0	43
協和	16	4	13	1	34
南外	6	2	5	1	14
仙北	13	3	12	0	28
太田	14	11	10	1	36
地区未記入	2	0	0	0	2
計	171	62	128	8	369

地域別状況(%)



■肯定評価 ■否定評価 □どちらでもない □未記入

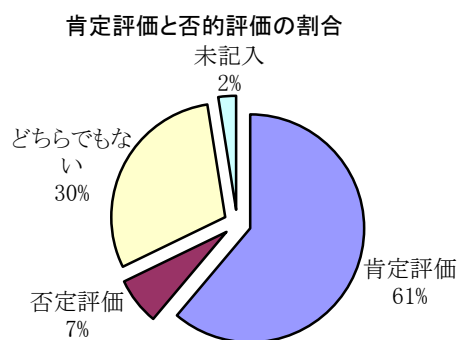
(4) 説明

- ・全体で肯定評価が46%にとどまっております、厳しい結果となっております。
- ・年代別では、『60,70歳代』で肯定評価が50%を超えていますが、他年代は40%台にとどまっております。
- ・地域別では、肯定評価が50%に達しているのは神岡と中仙の2地域のみで、否定評価の割合が最も高いのは、太田地域となっております。

4-4. 上水道、簡易水道事業

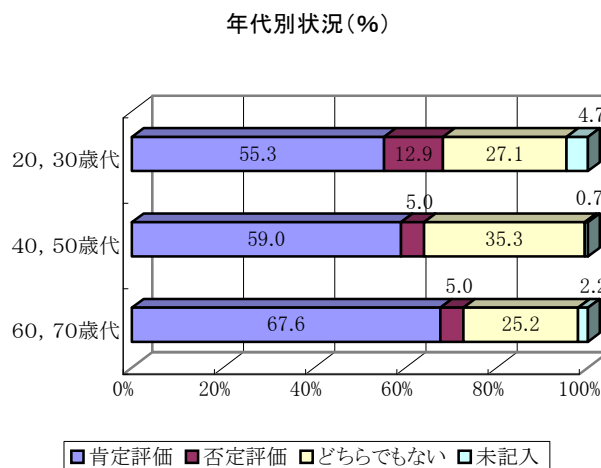
(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	225	25	110	9	369



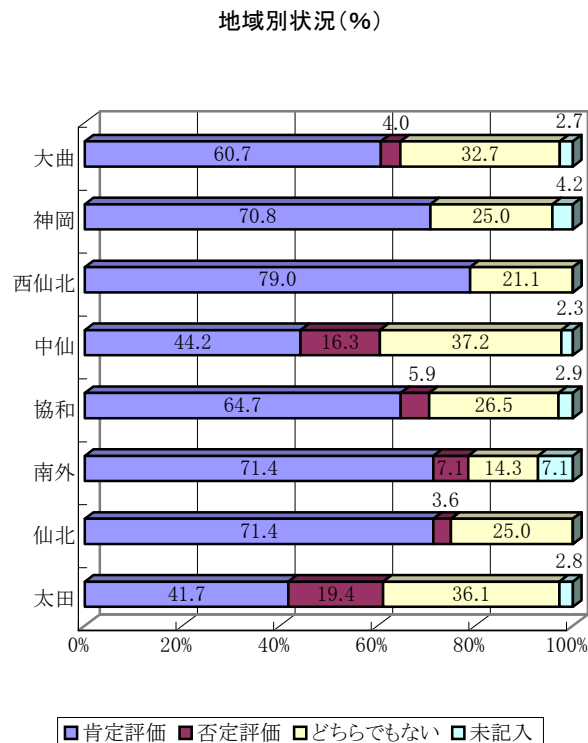
(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	47	11	23	4	85
40, 50歳代	82	7	49	1	139
60, 70歳代	94	7	35	3	139
年齢未記入	2	0	3	1	6
計	225	25	110	9	369



(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	91	6	49	4	150
神岡	17	0	6	1	24
西仙北	30	0	8	0	38
中仙	19	7	16	1	43
協和	22	2	9	1	34
南外	10	1	2	1	14
仙北	20	1	7	0	28
太田	15	7	13	1	36
地区未記入	1	1	0	0	2
計	225	25	110	9	369



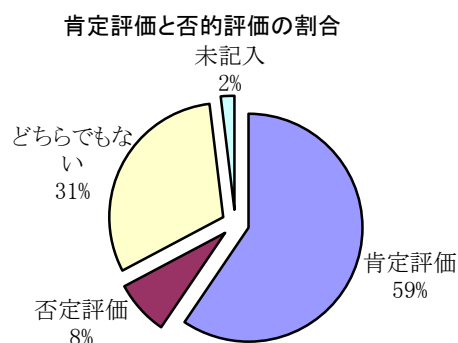
(4) 説明

- ・全体で61%の肯定評価を得ており、否定評価は7%にすぎません。しかし、『どちらでもない』が30%に達しています。
- ・地域別では、中仙と太田地域で肯定評価が40%台であり、他地域に比べ大幅に低くなっています。
- ・自由記載欄には、「下水よりも上水道整備を優先してほしい」「早く水道の整備をしてほしい」といった意見がありました。

4-5. 公共下水道事業、農業集落排水事業

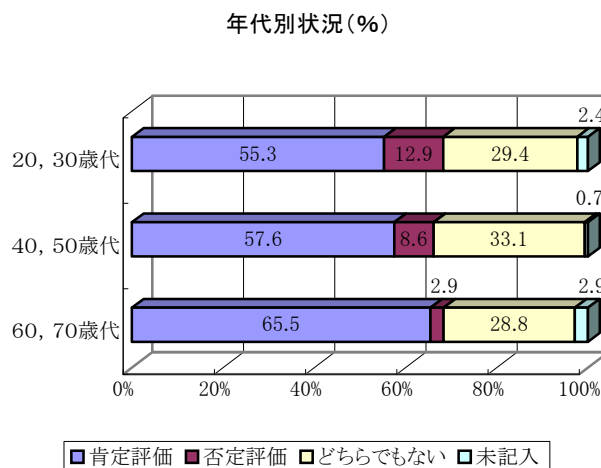
(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	219	29	114	7	369



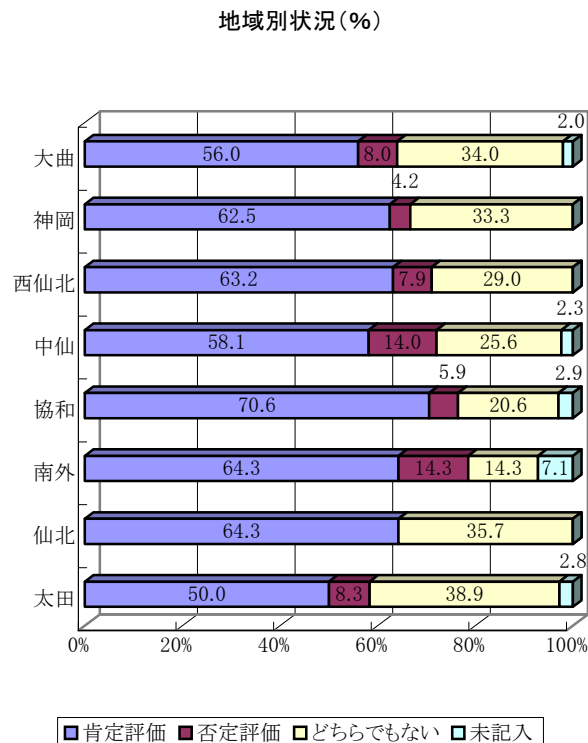
(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	47	11	25	2	85
40, 50歳代	80	12	46	1	139
60, 70歳代	91	4	40	4	139
年齢未記入	1	2	3	0	6
計	219	29	114	7	369



(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	84	12	51	3	150
神岡	15	1	8	0	24
西仙北	24	3	11	0	38
中仙	25	6	11	1	43
協和	24	2	7	1	34
南外	9	2	2	1	14
仙北	18	0	10	0	28
太田	18	3	14	1	36
地区未記入	2	0	0	0	2
計	219	29	114	7	369



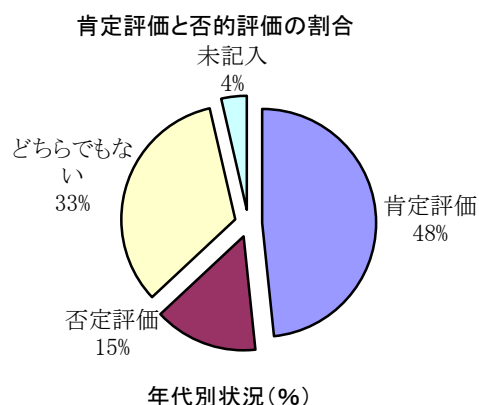
(4) 説明

- ・全体で59%の肯定評価を得ており、否定評価は8%にすぎません。しかし、上水道事業と同様に『どちらでもない』が30%に達しています。
- ・地域別では、全地域で50%以上の肯定評価を得ており、協和地域が約71%で最も高くなっています。

5-3. 普通建設事業
(総合公園事業、仙北ふれあい公園事業等)

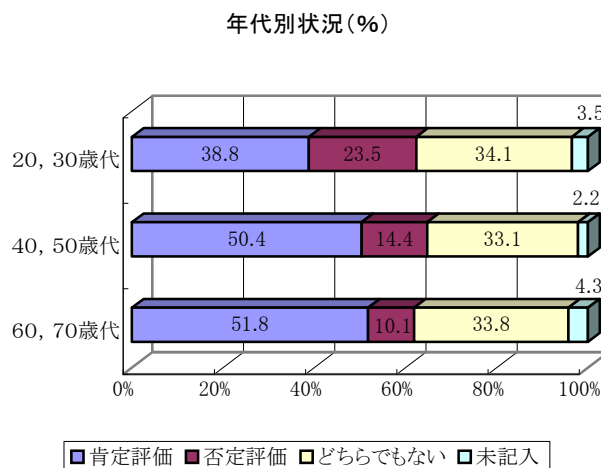
(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	178	55	123	13	369



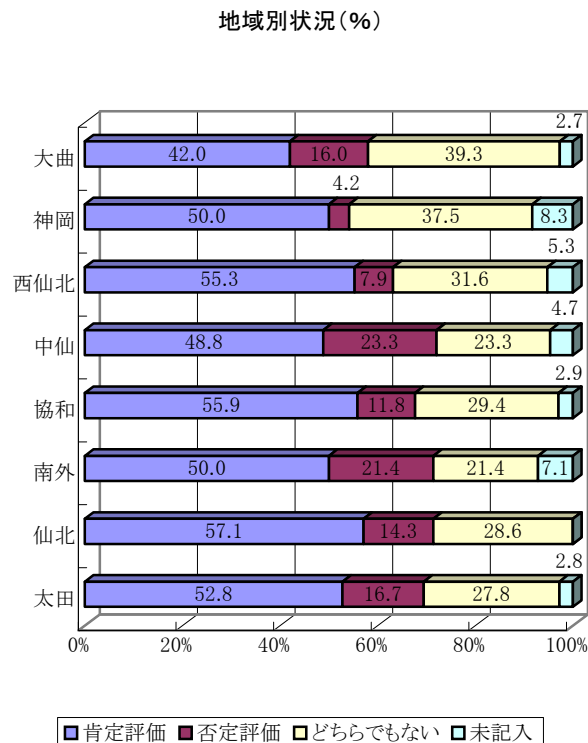
(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	33	20	29	3	85
40, 50歳代	70	20	46	3	139
60, 70歳代	72	14	47	6	139
年齢未記入	3	1	1	1	6
計	178	55	123	13	369



(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	63	24	59	4	150
神岡	12	1	9	2	24
西仙北	21	3	12	2	38
中仙	21	10	10	2	43
協和	19	4	10	1	34
南外	7	3	3	1	14
仙北	16	4	8	0	28
太田	19	6	10	1	36
地区未記入	0	0	2	0	2
計	178	55	123	13	369



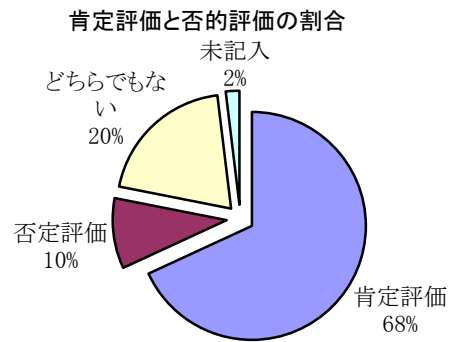
(4) 説明

- ・全体の肯定評価が48%にとどまっており、厳しい結果となっています。
- ・年代別では、『20, 30歳代』で肯定評価が約39%と最も低く、逆に否定評価は最も高くなっています。
- ・地域別では、大曲地域の肯定評価が42%で最も低く、中仙地域も50%に達していません。その他の地域では、50%台の肯定評価となっています。

5-4. 廃棄物減量化対策事業

(1) 全体

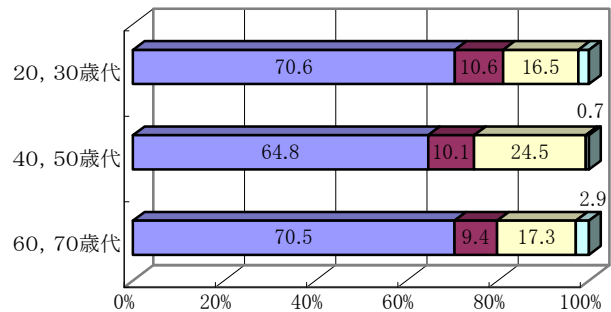
	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	251	37	74	7	369



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	60	9	14	2	85
40, 50歳代	90	14	34	1	139
60, 70歳代	98	13	24	4	139
年齢未記入	3	1	2	0	6
計	251	37	74	7	369

年代別状況 (%)

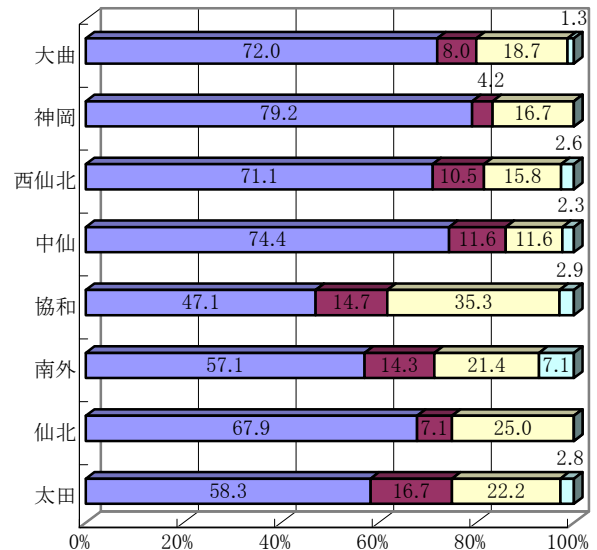


■ 肯定評価 ■ 否定評価 □ どちらでもない □ 未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	108	12	28	2	150
神岡	19	1	4	0	24
西仙北	27	4	6	1	38
中仙	32	5	5	1	43
協和	16	5	12	1	34
南外	8	2	3	1	14
仙北	19	2	7	0	28
太田	21	6	8	1	36
地区未記入	1	0	1	0	2
計	251	37	74	7	369

地域別状況 (%)



■ 肯定評価 ■ 否定評価 □ どちらでもない □ 未記入

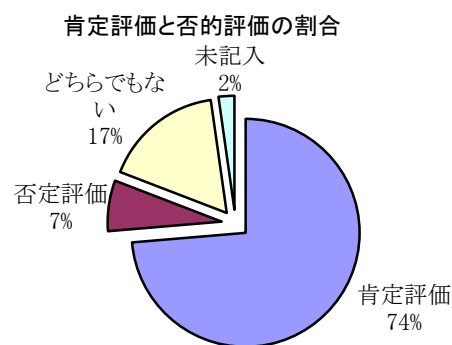
(4) 説明

- ・全体で68%の肯定評価を得ています。
- ・年代別では、『20,30歳代』及び『60,70歳代』で肯定評価が70%に達しています。
- ・地域別の肯定評価では、協和地域で唯一、50%に達していませんが、大曲、神岡、西仙北、中仙の4地域では70%以上と高くなっています。
- ・自由記載欄には、「食品トレイの持ち込み対象地域を大曲地域以外にも是非広げてほしい」「公民館にはトレイの他に牛乳パック、ペットボトルの回収もできるようにしてほしい」等の要望がありました。

5-6. 交通安全対策事業
(チャイルドシート購入費補助金)

(1) 全体

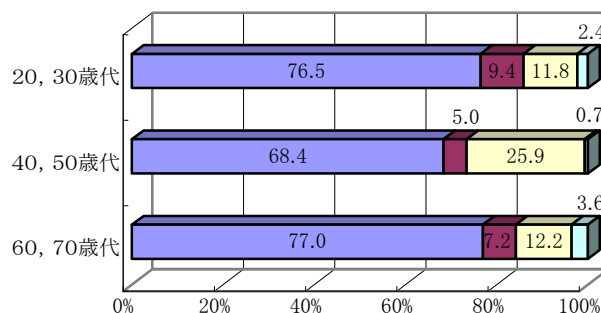
	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	272	26	63	8	369



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	65	8	10	2	85
40, 50歳代	95	7	36	1	139
60, 70歳代	107	10	17	5	139
年齢未記入	5	1	0	0	6
計	272	26	63	8	369

年代別状況 (%)

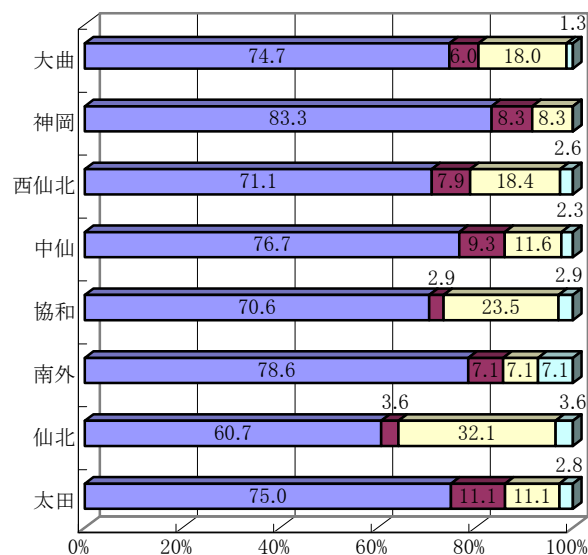


■ 肯定評価 ■ 否定評価 □ どちらでもない □ 未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	112	9	27	2	150
神岡	20	2	2	0	24
西仙北	27	3	7	1	38
中仙	33	4	5	1	43
協和	24	1	8	1	34
南外	11	1	1	1	14
仙北	17	1	9	1	28
太田	27	4	4	1	36
地区未記入	1	1	0	0	2
計	272	26	63	8	369

地域別状況 (%)



■ 肯定評価 ■ 否定評価 □ どちらでもない □ 未記入

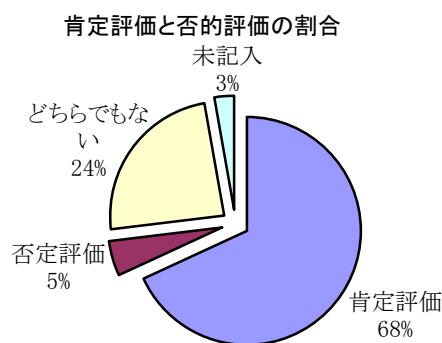
(4) 説明

- ・全体で74%の肯定評価を得ています。否定評価は7%にすぎません。
- ・年代別では、『20, 30歳代』及び『60, 70歳代』で75%以上の肯定評価を得ています。
- ・地域別では、全地域で60%以上の肯定評価を得ており、神岡地域は唯一、80%を超えています。
- ・自由記載欄には、「チャイルドシートのリサイクル制度を設けてはどうか」といった提案がありました。

5-6. 消防団組織活性化対策事業、 災害応援協定事業

(1) 全体

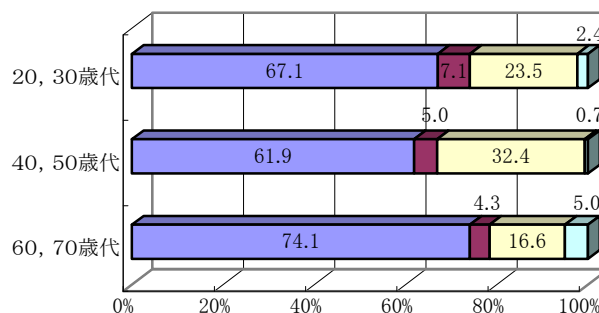
	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	251	19	89	10	369



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	57	6	20	2	85
40, 50歳代	86	7	45	1	139
60, 70歳代	103	6	23	7	139
年齢未記入	5	0	1	0	6
計	251	19	89	10	369

年代別状況(%)

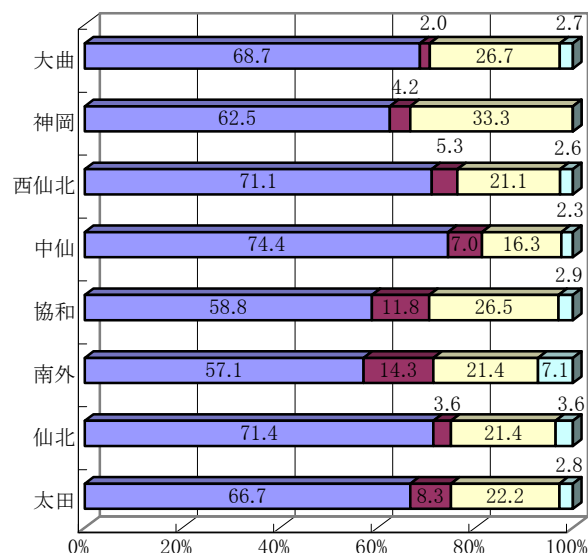


■肯定評価 ■否定評価 □どちらでもない □未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	103	3	40	4	150
神岡	15	1	8	0	24
西仙北	27	2	8	1	38
中仙	32	3	7	1	43
協和	20	4	9	1	34
南外	8	2	3	1	14
仙北	20	1	6	1	28
太田	24	3	8	1	36
地区未記入	2	0	0	0	2
計	251	19	89	10	369

地域別状況(%)



■肯定評価 ■否定評価 □どちらでもない □未記入

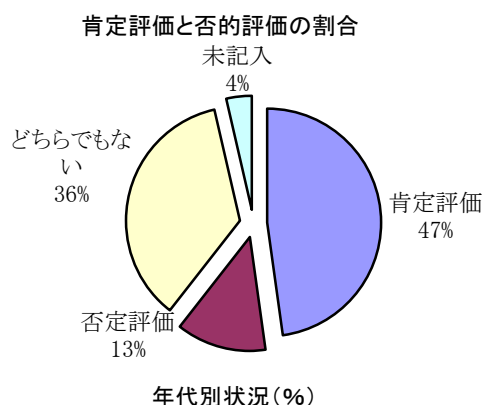
(4) 説明

- ・全体で68%の肯定評価を得ています。否定評価は5%にすぎません。
- ・年代別では、『60,70歳代』で肯定評価が最も高くなっています。
- ・地域別では、全地域で肯定評価が50%を超えています。協和と南外地域では、他地域に比べると否定評価が高くなっています。
- ・自由記載欄には、「女性消防団をつくるのであれば、もっと団員を増やす方法をとってもらいたい」「シルバー団員ではなくOBの再入団の考え方もあるのではないか」といった意見があった。

6-2. 男女共同参画推進事業

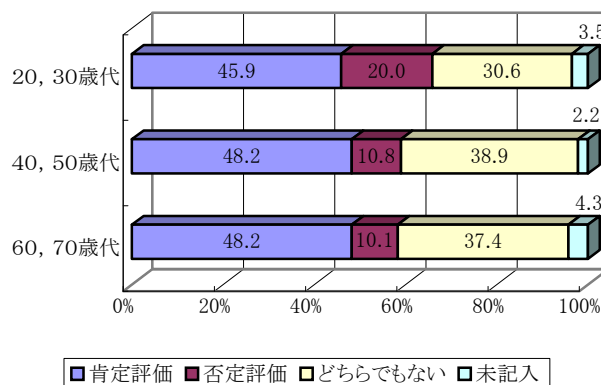
(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	176	47	133	13	369



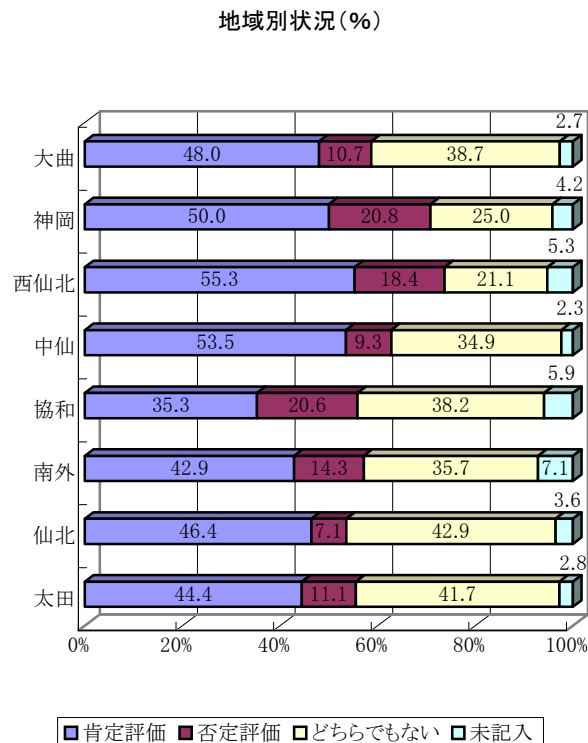
(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	39	17	26	3	85
40, 50歳代	67	15	54	3	139
60, 70歳代	67	14	52	6	139
年齢未記入	3	1	1	1	6
計	176	47	133	13	369



(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	72	16	58	4	150
神岡	12	5	6	1	24
西仙北	21	7	8	2	38
中仙	23	4	15	1	43
協和	12	7	13	2	34
南外	6	2	5	1	14
仙北	13	2	12	1	28
太田	16	4	15	1	36
地区未記入	1	0	1	0	2
計	176	47	133	13	369



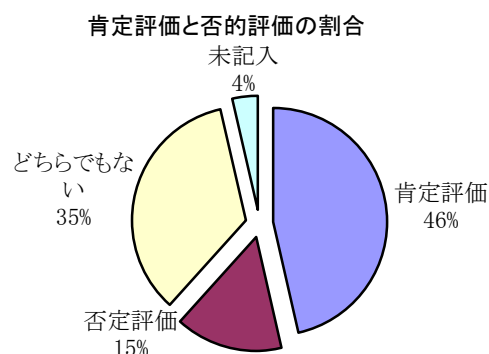
(4) 説明

- ・全体の肯定評価が50%に達していません。『どちらでもない』が36%と高くなっています。
- ・年代別の肯定評価は、全年代で似かよった割合になっています。『20, 30歳代』の否定評価は、他年代の約2倍となっています。
- ・地域別では、肯定評価が50%に達しているのは神岡、西仙北、中仙の3地域であり、協和地域が約35%で最も低くなっています。

6-4. 韓国青少年ツアー受入事業

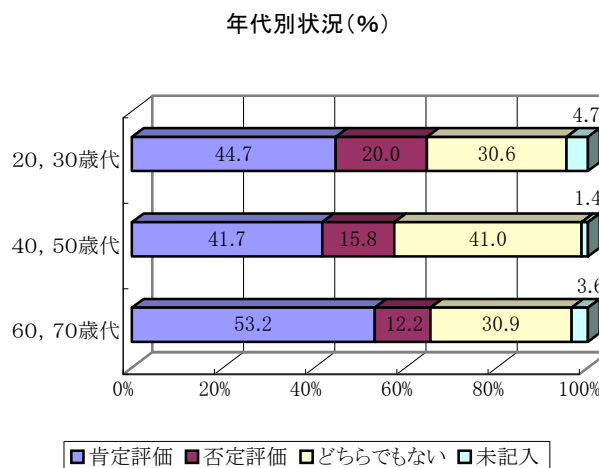
(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	171	57	128	13	369



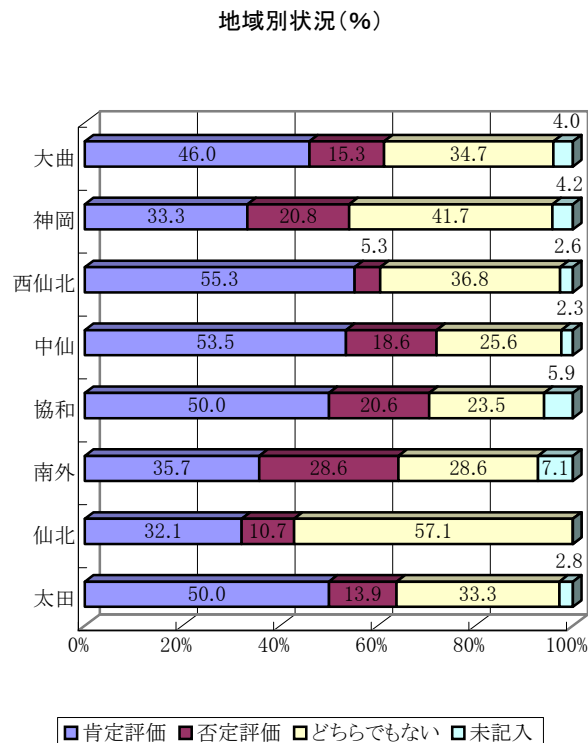
(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	38	17	26	4	85
40, 50歳代	58	22	57	2	139
60, 70歳代	74	17	43	5	139
年齢未記入	1	1	2	2	6
計	171	57	128	13	369



(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	69	23	52	6	150
神岡	8	5	10	1	24
西仙北	21	2	14	1	38
中仙	23	8	11	1	43
協和	17	7	8	2	34
南外	5	4	4	1	14
仙北	9	3	16	0	28
太田	18	5	12	1	36
地区未記入	1	0	1	0	2
計	171	57	128	13	369



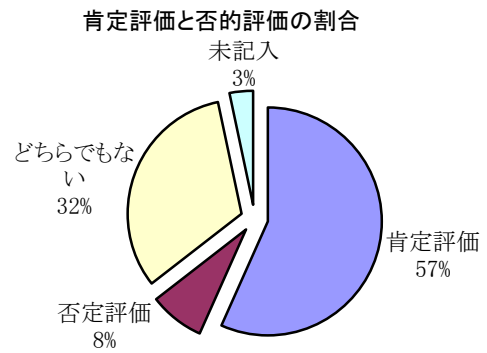
(4) 説明

- ・全体で肯定評価46%、否定評価15%、『どちらでもない』35%と厳しい結果となっています。
- ・年代別では、『20, 30歳代』の否定評価が高くなっています。
- ・地域別では、神岡、南外、仙北の3地域で肯定評価が30%台にとどまっており、最も高い西仙北地域でも約55%しか得られていません。
- ・自由記載欄では、「その交流の成果をレポートなどにまとめ、目に見える形で伝えてほしい」という意見がありました。

7-1. 電子入札システム整備事業

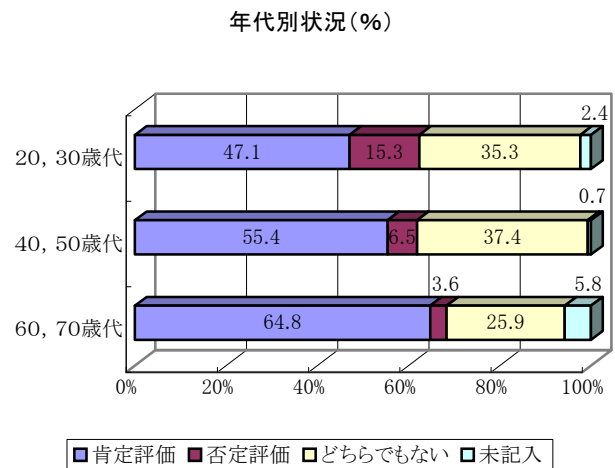
(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	209	29	119	12	369



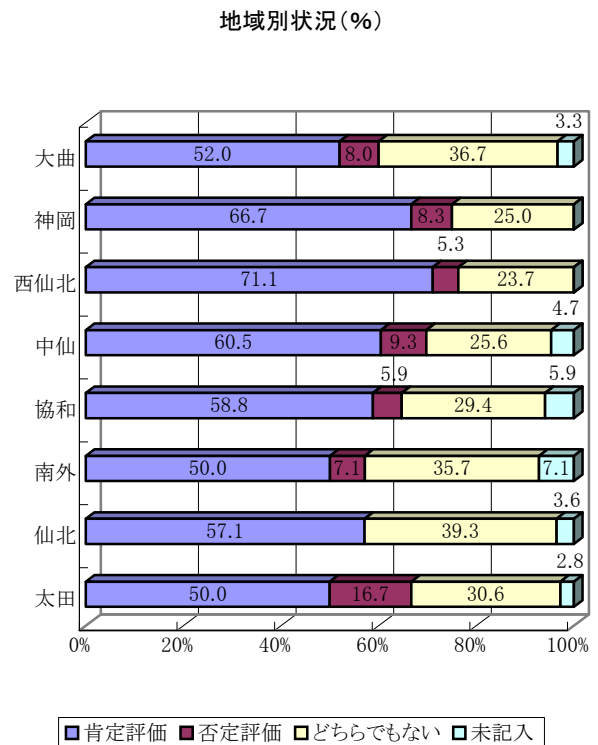
(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	40	13	30	2	85
40, 50歳代	77	9	52	1	139
60, 70歳代	90	5	36	8	139
年齢未記入	2	2	1	1	6
計	209	29	119	12	369



(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	78	12	55	5	150
神岡	16	2	6	0	24
西仙北	27	2	9	0	38
中仙	26	4	11	2	43
協和	20	2	10	2	34
南外	7	1	5	1	14
仙北	16	0	11	1	28
太田	18	6	11	1	36
地区未記入	1	0	1	0	2
計	209	29	119	12	369



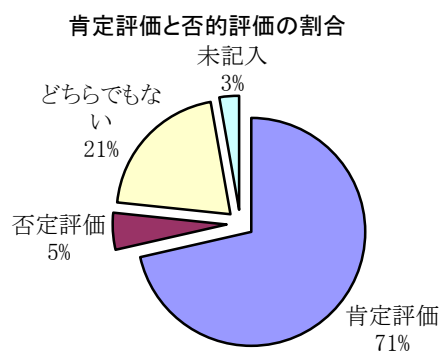
(4) 説明

- ・全体で肯定評価57%、否定評価は8%にすぎませんが、『どちらでもない』が32%と高くなっています。
- ・年代別では、年代が高くなるにつれて肯定評価も高くなっています。
- ・地域別では、全地域で50%以上の肯定評価を得ており、西仙北地域が約71%で最も高くなっています。また、太田地域で否定評価が唯一、10%台に達しています。

7-1. ゼロ予算事業

(1) 全体

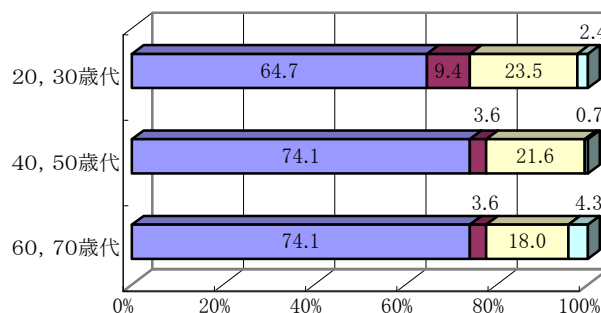
	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	263	20	76	10	369



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	55	8	20	2	85
40, 50歳代	103	5	30	1	139
60, 70歳代	103	5	25	6	139
年齢未記入	2	2	1	1	6
計	263	20	76	10	369

年代別状況 (%)

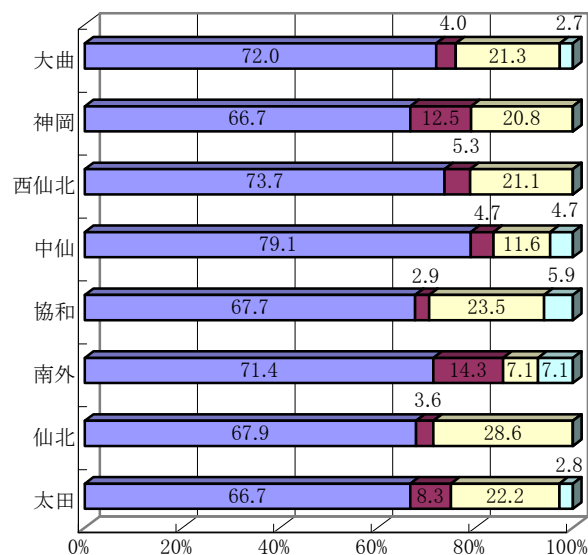


■ 肯定評価 ■ 否定評価 □ どちらでもない □ 未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	108	6	32	4	150
神岡	16	3	5	0	24
西仙北	28	2	8	0	38
中仙	34	2	5	2	43
協和	23	1	8	2	34
南外	10	2	1	1	14
仙北	19	1	8	0	28
太田	24	3	8	1	36
地区未記入	1	0	1	0	2
計	263	20	76	10	369

地域別状況 (%)



■ 肯定評価 ■ 否定評価 □ どちらでもない □ 未記入

(4) 説明

- ・全体で肯定評価71%、否定評価5%、『どちらでもない』21%となっています。
- ・年代別では、『40, 50歳代』及び『60, 70歳代』で約74%の肯定評価を得ています。
- ・地域別では、全地域で65%以上の肯定評価を得ており、中仙地域が約79%で最も高くなっています。

IV. まとめ

1. 現状の満足度について

「市民による市政評価」の眼目は、市が実施している施策、事業について市民のニーズとズレていないか、また改善すべき点があるかを明らかにすることです。今回のアンケートでは、現状の満足度について点数の高い順（満足度の高い順）に並べると次の表となります。



順位	分野（施策）	加重平均点	判定
1	1-1 安心して健やかに暮らせるまちづくり(保健・医療の充実)	4.003	A
2	5-6 環境と調和し快適で安全に暮らせるまちづくり(生活の安全、安心)	3.969	A
3	2-5 未来(あす)を創り心豊かな人を育むまちづくり(世界平和の希求)	3.890	A
4	1-2 安心して健やかに暮らせるまちづくり(子育て支援の充実)	3.881	A
5	4-4 生活の基盤が整ったまちづくり(上水道の整備)	3.823	A
6	2-1 未来(あす)を創り心豊かな人を育むまちづくり(学校教育の充実)	3.805	A
7	5-4 環境と調和し快適で安全に暮らせるまちづくり(衛生環境の整備)	3.778	A
8	4-2 生活の基盤が整ったまちづくり(公共交通の整備)	3.719	A
9	3-3 生き活きと希望を持って活躍できるまちづくり(観光の振興)	3.709	A
10	4-5 生活の基盤が整ったまちづくり(下水道等の整備)	3.692	A
11	1-4 安心して健やかに暮らせるまちづくり(高齢者福祉の充実)	3.677	A
12	5-3 環境と調和し快適で安全に暮らせるまちづくり(公園緑地の整備)	3.670	A
13	1-3 安心して健やかに暮らせるまちづくり(社会福祉の充実)	3.655	A
14	6-4 仲間とふれあいともに活躍できるまちづくり(国際交流の促進)	3.653	A
15	2-2 未来(あす)を創り心豊かな人を育むまちづくり(生涯学習の推進)	3.651	A
16	6-2 仲間とふれあいともに活躍できるまちづくり(男女共同参画社会の形成)	3.569	A
17	4-1 生活の基盤が整ったまちづくり(道路の整備)	3.552	A
18	7-1 計画の推進にあたって(行政運営の効率化)	3.532	A
19	3-1 生き活きと希望を持って活躍できるまちづくり(農林水産業の推進)	3.442	B
20	3-4 生き活きと希望を持って活躍できるまちづくり(雇用の安定、就労の促進)	3.387	B
21	4-3 生活の基盤が整ったまちづくり(市街地の整備)	3.357	B
22	3-2 生き活きと希望を持って活躍できるまちづくり(商業の充実)	3.249	B

※分野(施策)の最初の数字は、基本構想の分類を意味します。

○「1. 安心して健やかに暮らせるまちづくり」の分野

1-1. 保健・医療の充実

回答者全体の 75 %が肯定評価で、加重平均点は、全施策の中で唯一 4 点台に達しており、最も高い評価となっています。

今後も市民の健康増進、健康維持等に対し支援を継続していくとともに、各種健診の受診率が 100 %となるよう、市民へ受診を働きかけていくことが大切となります。

1-2. 子育て支援の充実

回答者全体で 72 %の肯定評価を得ており、加重平均点も 3.881 と全施策中 4 番目に高いものとなっています。

しかしながら、事業に所得制限を設けていることに対する否定的意見は、平成 18 年度調査同様、非常に多くありました。また、第 2, 3 子に対する支援を手厚くしてほしいという意見も多数ありました。

一定の評価は得られていますが、子どもを産み、育てやすい環境を整備し少子化の解消を図るためには、より市民ニーズを踏まえた事業を検討することも必要となってきます。

1-3. 社会福祉の充実

回答者全体で 61 %の肯定評価を得ており、加重平均点は 3.655 で「A」ランクとなっていますが、この分野では最も低い評価となっています。

福祉の充実したまちづくりの推進には、市民及び関係機関や団体からの協力が不可欠なことから、社会福祉に対する市民の意識高揚に努め、各地域で市民等と行政が一体となって取り組める体制の強化を図っていくことが必要となります。

1-4. 高齢者福祉の充実

加重平均点は 3.667 の「A」ランクとなっています。

年代別の評価の構成比は、施策対象となる『60,70 歳代』で肯定評価が 70 %を超えていますが、他年代では半数の肯定評価は得ているものの、施策対象年代よりも大幅に低くなっています。

本市の高齢化率は年々上昇傾向にあり、高齢者福祉には一層の充実が求められてきています。そのため、施策対象年代のみならず、若い年代からも高齢者福祉に関心を持ってもらえるように努め、市全体で高齢者が住みよい環境をつくっていくことが今後の課題となります。

○「2. 未来(あす)を創り心豊かな人を育むまちづくり」の分野

2-1. 学校教育の充実

評価の構成比としては、回答者全体で肯定評価 67 %、否定評価 10 %、『どちらでもない』20 %となっており、概ね評価を得られています。

現代の国際社会や情報社会に対応できるよう、英語教育や情報学習の推進に対し評価

を得ている一方で、国語等の基礎教育の充実を求める声が多くありました。

体験的学習や芸術鑑賞等の人格形成に関わる教育と情報学習や英語教育等の時代に対応した教育の充実を図るとともに、基礎学力の低下を招かない教育環境を整備していかなくてはなりません。

2-2. 生涯学習の推進

加重平均点は 3.651 で「A」ランクとなっていますが、この分野では最も低い加重平均点となっています。

評価の構成比では、回答者全体で肯定評価が 56 %と半数は得ていますが、『どちらでもない』が 30 %と高くなっており、現状の支援体制を判断しかねている人が多くなっています。

生涯学習に対する意識が高まっている市民が急増していることから、支援体制の充実を図るとともに、各地域の特色を生かした学習活動機会の提供や市民ニーズに即した学習環境を整備し、地域差のない支援体制を構築していくことが課題となります。

2-5. 世界平和の希求

評価の構成比としては、回答者全体で肯定評価 63 %、否定評価は 7 %、『どちらでもない』 28 %となっています。

加重平均点は 3.890 の「A」ランクで、全施策中で 3 番目に高くなっており、この分野では最も高い評価となっています。

世界唯一の被爆国として戦争の悲惨さを後世に伝え、平和を願う精神を戦争の知らない世代に受け継いでいくことは大変重要なことであり、今後も施策を継続し、年代を問わず世界平和に対する共通意識を醸成していかなくてはなりません。

○「3. 生き生きと希望を持って活躍できるまちづくり」の分野

3-1. 農林水産業の推進

回答者全体で肯定評価が 47 %にとどまっており、加重平均点も 3.442 で「B」ランクと厳しい結果となっています。

本市の基幹産業である農業をはじめとする第 1 次産業は、担い手の不足や労働力の高齢化、価格の低下による経営面の悪化など様々な問題を抱え、非常に厳しい状況に直面しています。市では様々な支援策を講じ、現状の回復と更なる発展を目指し計画的に施策展開をしているところではありますが、市民は目に見えて効果が表れないことに対し不満を感じているものと考えられます。また、『どちらでもない』には、生産者側の立場ではないため現状や施策展開について把握できておらず、判断できなかった市民が多く含まれているものと考えられます。

そのため、市としては今後のビジョンを明確に示し、生産者の理解を得ながら計画的に施策展開していく必要があります。また、生産者側の立場ではない市民からも本市にとっての農業振興等の重要性を理解してもらえよう努めていかなくてはなりません。

3-2. 商業の充実

評価の構成比は、回答者全体で肯定評価 41 %、否定評価 24 %、『どちらでもない』 33 %であり、加重平均点は、全施策の中で最も低い 3.249 の「B」ランクと厳しい結果になっています。

大曲駅前通りをはじめ、各地域の商店街の活性化を図るべく様々な施策に取り組んでいるものの、その効果が一向に見えず、逆に幹線道路沿いに大型店舗が建ち並ぶことで更に衰退していく現状に、市民は不満を感じているものと考えられます。

商店街の活性化は、地域全体が活性化するための一因にもなるため、大型店舗と共存できる商店街づくりを進めていく必要があります。

3-3. 観光の振興

回答者全体で 63 %の肯定評価を得ており、加重平均点は 3.709 の「A」ランクで、この分野では最も高くなっています。

本市は、多くの観光資源を有していながらも観光誘客が図られていない状況にあります。市民からもPR不足を指摘する意見が多くあり、今後は、優れた観光資源のネットワーク化や観光団体等と連携しながら、観光誘客に繋がるPR活動を行っていかねばなりません。

3-4. 雇用の安定、就労の促進

評価の構成比は、回答者全体で肯定評価 47 %、否定評価 20 %、『どちらでもない』 30 %であり、加重平均点は 3.387 の「B」ランクで、非常に厳しい結果となっています。

若者の県外流出に歯止めをかけるため、市民は企業誘致や雇用形態の改善等、若者が働ける場の整備を強く願っていますが、施策効果による現状改善がほとんど実感できていないことが厳しい結果に繋がっていると考えられます。

市民は本分野の現状に対し非常に危機感を募らせており、早急な改善が必要ですが、景気の停滞等により企業側も厳しい経営状況にあり施策効果が表れにくい状況となっています。しかしながら、本市の将来を担う若者が県外へ流出してしまう事態に一刻も早く歯止めをかけることができるよう、粘り強く施策を推し進めるとともに、現状にあった新たな取り組みについても検討していかなくてはならないと考えます。

○「4. 生活の基盤が整ったまちづくり」の分野

4-1. 道路の整備

評価の構成比は、回答者全体で 56 %が肯定評価、17 %が否定評価、25 %が『どちらでもない』であり、半数以上の肯定評価は得られています。

地域別では、全地域で肯定評価が 50 %以上となっていますが、西仙北、中仙、南外、太田の4地域で否定評価が 20 %以上と高くなっています。

幹線道路等の整備に対しては、概ね評価する意見が多いものの、それ以上に生活道路の整備を優先すべきという意見が多くありました。

幹線道路等の整備を推進し、都市機能に対する交通の利便性を図るとともに、生活に

密着した道路についても市民の目線に立ち、緊急性の高いものから整備を進め、市民の要望に応じていくことが満足度の上昇に繋がると考えます。

4-2. 公共交通の整備

加重平均点が 3.719 の「A」ランクで、評価の構成比は、回答者全体で肯定評価 61 %、否定評価 11 %、『どちらでもない』25 %となっており、市の取り組みに対し概ね理解を得られていると言えます。

バス路線の廃止や高齢者の増加等により市独自の新たな交通ビジョンが求められている中で、市の現状を的確に捉え、高齢者や障害者等の交通弱者にやさしい交通システムや公共交通空白地域に住む市民の要望や不安が解消される交通システムを構築していくことが、今後の課題となります。

4-3. 市街地の整備

評価の構成比は、回答者全体で肯定評価が 48 %にとどまっており、否定評価 20 %、『どちらでもない』は 31 %と高く、加重平均点も 3.357 の「B」ランクと厳しい結果となっています。

事業完了後の完成像や事業に対する市側の目的が明確に見えないことに対する不満と厳しい財政状況の中、目的の見えない事業に対して多額の事業費が投入されていることへの不満が反映された結果であると受け止めることができます。

今後事業を継続していくためには、事業の目的や効果、将来像等を明確に市民に示し理解を得ることが必要であり、また、財政状況の悪化や市街地の空洞化等、事業開始当初とは市を取り巻く環境が大きく変化していることから、計画の見直しや規模の縮小等の検討も必要となってくるかもしれません。

4-4. 上水道の整備

加重平均点は 3.823 の「A」ランクで、この分野では最も高くなっています。

回答者全体の肯定評価は 64 %であり、概ね評価を得ていますが、地域別では、中仙、太田の 2 地域で肯定評価が 40 %台と他地域に比べ大幅に低い結果となっています。

地域間で満足度に大幅な差が出ていることから、整備状況等に格差が生じないように事業を推進し、生活用水に不安を抱えた地域や未普及地域に暮らす市民の不安解消に努めていかなければなりません。

4-5. 下水道の整備

回答者全体の肯定評価は 63 %ですが、地域別では、「4-4.上水道の整備」同様、中仙と太田地域の肯定評価が低く、逆に否定評価が高くなっています。

下水道をはじめとする汚水処理施設は、市民が快適な生活を送るうえで欠かせない施設であり、豊かな自然環境を保全するうえにおいても非常に重要な役割を担っています。そのため、地域間で整備状況等に格差が生じないように、地域特性に合わせた下水道整備を推進していくとともに、下水道が担う役割を市民に啓蒙し、加入率の向上を図っていくことが課題となります。

○「5. 環境と調和し快適で安全に暮らせるまちづくり」の分野

5-3. 公園緑地の整備

評価の構成比は、回答者全体で肯定評価 62 %、否定評価 15 %、『どちらでもない』 21 %となっており、加重平均点は 3.670 の「A」ランクとなっています。

市の顔となるような公園・緑地の整備を評価する一方で、気軽に行ける地元の公園整備を望む声も多くありました。

総合公園等、市民の多様なニーズに対応できる施設の整った公園整備を推進すると同時に、各地域にある既設の公園・緑地については、安心・安全で市民が気軽に利用できるよう保守点検、除草・掃除など維持管理を徹底し、市民の要望に応じていくことが必要です。

5-4. 衛生環境の整備

回答者全体で 65 %の肯定評価を得ており、否定評価は 8 %にすぎません。

ごみに対する市民一人ひとりの意識は高まっていることから、ごみを少なくする取り組みに加え、ごみの資源化に対する取り組みについても意識の高揚を図り、ごみの減量化を推進していくことが必要です。

5-6. 生活の安全、安心

評価の構成比は、回答者全体で肯定評価が 72 %、否定評価が 8 %、加重平均点は 3.969 の「A」ランクでこの分野では最も高く、全体でも 2 番目に高くなっており、平成 18 年度調査同様、高い評価を得られています。

しかしながら、生活及び生命に直結する分野だけに、現状に満足することなく災害や安全対策等、関係機関との連携を密にし、市民の協力を得ながら、より全市民が安心して暮らせるまちづくりを推進していかなくてはなりません。

○「6. 仲間とふれあいともに活躍できるまちづくり」の分野

6-2. 男女共同参画社会の形成

加重平均点は 3.569 で、「A」ランクとなっています。

評価の構成比は、回答者全体で肯定評価 51 %、否定評価は 9 %にすぎませんが、『どちらでもない』が 36 %と高くなっています。年代別では、全年代で非常に似かよった評価の割合となっており、年代間での意識の差はあまり無いと判断できますが、全体では『どちらでもない』の割合が高くなっていることから、まだまだ男女共同参画に対する意識が市民に浸透していないことがわかります。

参画機会の提供等を積極的に行うことはもちろんですが、市民の意識改革を図ることが最優先の課題といえます。

6-4. 国際交流の促進

評価の構成比は、回答者全体で肯定評価 52 %、否定評価は 5 %にすぎませんが、『どちらでもない』が 39 %と非常に高くなっています。また、年代別では、年代が低いほ

ど肯定評価の割合は高くなっています。

国際社会となった現代、学校教育などにより外国語の語学力を高め、国際理解を深めるなどし、国際化に対応できる人材を育成していくとともに、中高年代に対しても外国語指導助手や国際交流員による英語指導や国際理解講座などの機会を提供し、年代を問わず、全市民が国際社会に対する認識を深め、施策への理解を得ることができるように進めていく必要があります。

○「7. 計画の推進にあたって」の分野

7-1. 行政運営の効率化

加重平均点は3.535で、「A」ランクとなっています。

厳しい財政状況の中で、経常的経費の縮減、一般財源の削減やゼロ予算事業等の新たな取り組みにより現状回復に努める市の姿勢に対し、半数以上の肯定評価を得られています。

しかしながら、施策効果への疑問やサービス低下への懸念等、様々な要素により現状を評価することに慎重な市民が3割近くいます。

この分野においては、市民からの協力が不可欠であるため、市の方針や施策の内容、それがもたらす効果を明確に示し、全市民から理解と協力を得ながら計画的に進めていくことが必要となります。

2. 事業別の有効性について

評価の対象とした27の個別事業について点数の高い順（有効性の高い順）に並べると次の表となります。今回のアンケート結果では、Aランク21事業、Bランク6事業となっています。



順位	事業名	加重平均点	判定
1	1-2 母子保健事業	4.195	A
2	7-1 ゼロ予算事業	4.025	A
3	5-6 交通安全対策事業(チャイルドシート購入費補助金)	4.008	A
4	1-4 市単独介護サービス事業	3.989	A
5	5-6 消防団組織活性化対策事業、災害応援協定事業	3.925	A
6	2-2 放課後子ども教室推進事業	3.922	A
7	5-4 廃棄物減量化対策事業	3.895	A
8	1-1 健康づくり推進事業	3.886	A
9	4-4 上水道、簡易水道事業	3.817	A
10	2-1 学習定着度調査事業	3.811	A
11	4-5 公共下水道事業、農業集落排水事業	3.754	A
12	2-5 非核平和都市宣言事業	3.746	A
13	7-1 電子入札システム整備事業	3.734	A
14	2-1 普通建設事業(協和統合小学校建築、市内小学校冷房化工事等)	3.723	A
15	3-3 物産品流通化事業	3.693	A
16	4-2 地域交通対策検討事業	3.688	A
17	1-3 父子手当支給事業	3.642	A
18	4-1 道路新設改良事業	3.624	A
19	3-1 目指せ”元気な担い手”農業夢プラン応援事業	3.598	A
20	3-1 県営土地改良事業(負担金)	3.538	A
21	6-2 男女共同参画推進事業	3.520	A
22	5-3 普通建設事業(総合公園事業、仙北ふれあい公園事業等)	3.461	B
23	1-4 敬老の日事業	3.442	B
24	6-4 韓国青少年ツアー受入事業	3.441	B
25	3-4 大仙市雇用助成金	3.396	B
26	4-3 まちづくり交付金事業	3.366	B
27	3-2 地域商店等活性化支援事業	3.089	B

※事業名の最初の数字は基本構想の分類を意味しています。

「母子保健事業」、「ゼロ予算事業」、「交通安全対策事業（チャイルドシート購入費補助金）」の上位3事業は、加重平均点が4点台と高い評価となっています。

「母子保健事業」は、子どもを産み育てやすい環境整備を推進するため、県内で最も充実した内容の支援となっており、そういった取り組みに対する評価が高かったことは、少子化対策として期待できるものであり、今後も力を入れていく必要があります。

「ゼロ予算事業」は、厳しい財政事情を改善するため特別な事業予算を用いずに、市民に新しいサービスを提供する取り組みであります。既存の設備や人材を積極的に活用し、ボランティア団体等や地域住民とともに作っていく新たな公共サービスの形であり、その取り組みに対し期待感を持っていただけたことから、今後も市民の理解と協力を得ながら、分野を問わず積極的に事業を展開していくことが必要です。

そして「交通安全対策事業（チャイルドシート購入費補助金）」は、チャイルドシートの着用を促進し、乳幼児の尊い命を守るとともに、子育ての支援を目的としており、明確な目的とその効果がわかりやすいことから高い評価に繋がったと考えられます。

逆に、有効性の評価が低かったのは、「地域商店等活性化支援事業」、「まちづくり交付金事業」、「大仙市雇用助成金」などです。

各事業とも、市が抱える重要課題に関係する分野の事業であり、平成18年度調査においても、これらの分野の事業に対する期待度は低いものでした。

地域商店街の活性化や雇用の場の確保については、市民が現状に対し高い危機感を持っているため、状況の改善に繋がる事業かどうか厳しい目線で評価されたものと考えられます。

また、まちづくり交付金による駅前整備については、事業完了後のビジョンが見えないことに対する不満が先行している面があるため、今後も事業を継続していくにあたっては、市民に説明し理解を得る必要があると考えます。

全般としては、福祉、教育及び安全や環境等の生活に関する事業について評価が高く、逆に、農林商工関係の事業については評価が低くなっており、前回の調査結果の特徴と同じく、目的や制度の伝達が複雑な事業ほど評価が低く、成果が実感しやすい事業ほど評価が高くなっているということが言えます。

3. 今後の課題と活用について

平成18年度調査と同様に、今回もそれぞれの施策や事業の受益者に限定せず、無作為抽出の市民と希望者に対して調査を依頼しました。そのため、自分にとって身近ではない分野についての現状や事業内容が把握できなかった市民の多くが「どちらでもない」と回答したことで、全般的にその割合が高くなったことが考えられます。

それぞれの施策や事業の受益者に限定して調査を行うことで、より現状を反映した結果を得ることができるかもしれませんが、市民一人ひとりが全分野についての現状を把握し、施策や事業に対する考えを示し、それを市政に反映していくことが、全市民にとって住みよいまちをつくることへの近道であると考えます。

よって、現調査方法では「どちらでもない」の選択を減少させることが市民の意見を集約するうえで重要な要素であり、事業の目的や趣旨、もたらしたい効果やビジョン等を明示し、判断材料をより多く与えたうえで評価を依頼することはもちろん、情報公開等を積極的に行い、各分野の現状がどうであるのかを随時市民にお知らせするなどして、市民から特定の分野だけではなく市全体を見渡してもらうことができるように努力していくことが必要となります。

また、今回の調査における回収率は、平成18年度第一次調査の時よりも6%下がりました。さらに、第二次調査に同意してくれた方については、前回は回答者の91.5%だったのに対し、今回は67.5%と大幅に減少してしまいました。

平成20年度以降の調査についても同様の方法で継続していきますが、評価票の簡素化やモニター制度の導入等、回収率の上昇に繋がる工夫をする必要があります。

回答をいただいた369人のうち、同意を得られた249人に対しては、翌年度に同じ内容に各事業の実績等を加えたアンケートを行い、満足度や有効性の変化について調査します。

また、今回の調査結果を担当課に中間結果として報告し、より市民が望む事業を執行できるよう事業立案の検討材料として活用していきます。